

Oracle Enterprise Manager

メッセージ・マニュアル

リリース 9.2

2002 年 7 月

部品番号 : J06320-01

ORACLE[®]

Oracle Enterprise Manager メッセージ・マニュアル, リリース 9.2

部品番号 : J06320-01

原本名 : Oracle Enterprise Manager Messages Manual, Release 9.2.0

原本部品番号 : A96671-01

Copyright © 1996, 2002, Oracle Corporation. All rights reserved.

Printed in Japan.

制限付権利の説明

プログラム (ソフトウェアおよびドキュメントを含む) の使用、複製または開示は、オラクル社との契約に記載された制約条件に従うものとします。著作権、特許権およびその他の知的財産権に関する法律により保護されています。

当プログラムのリバース・エンジニアリング等は禁止されています。

このドキュメントの情報は、予告なしに変更されることがあります。オラクル社は本ドキュメントの無謬性を保証しません。

*オラクル社とは、Oracle Corporation (米国オラクル) または日本オラクル株式会社 (日本オラクル) を指します。

危険な用途への使用について

オラクル社製品は、原子力、航空産業、大量輸送、医療あるいはその他の危険が伴うアプリケーションを用途として開発されておりません。オラクル社製品を上述のようなアプリケーションに使用することについての安全確保は、顧客各位の責任と費用により行ってください。万一かかる用途での使用によりクレームや損害が発生いたしましても、日本オラクル株式会社と開発元である Oracle Corporation (米国オラクル) およびその関連会社は一切責任を負いかねます。当プログラムを米国国防総省の米国政府機関に提供する際には、『Restricted Rights』と共に提供してください。この場合次の Notice が適用されます。

Restricted Rights Notice

Programs delivered subject to the DOD FAR Supplement are "commercial computer software" and use, duplication, and disclosure of the Programs, including documentation, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement. Otherwise, Programs delivered subject to the Federal Acquisition Regulations are "restricted computer software" and use, duplication, and disclosure of the Programs shall be subject to the restrictions in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software - Restricted Rights (June, 1987). Oracle Corporation, 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このドキュメントに記載されているその他の会社名および製品名は、あくまでその製品および会社を識別する目的にのみ使用されており、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

目次

はじめに	v
1 エラー・メッセージの解釈	
Oracle Enterprise Manager メッセージの分類	1-2
メッセージの接頭辞	1-2
その他の Oracle メッセージの接頭辞	1-3
オラクル社カスタマ・サポート・センターへの問合せ	1-4
2 Software Developer Kit (SDK) メッセージ	
EmSDK-1000 ~ EmSDK-1999 のメッセージ	2-2
3 Oracle Trace メッセージ	
EPC-00020 ~ EPC-00352 のメッセージ	3-2
EPCW-00001 ~ EPCW-01022 のクライアント・メッセージ	3-9
4 Agent メッセージ	
NMS-00000 ~ NMS-00050: Agent の構成および起動	4-2
NMS-00051 ~ NMS-00055: Agent ログイン・メッセージ	4-6
NMS-00200 ~ NMS-00250: データベース・サブエージェント	4-7
NMS-00250 ~ NMS-00275: サブエージェント・ログイン・メッセージ	4-9
NMS-00301 ~ NMS-00350: Agent 操作メッセージ	4-10
NMS-00351 ~ NMS-00360: Agent ファイルの暗号化	4-12
NMS-00361 ~ NMS-00370: 任意形の実行可能イベント	4-13
NMS-00600 ~ NMS-00799: ジョブおよびイベント	4-14

NMS-00900 ～ NMS-00999: Agent ログイン・メッセージ	4-14
NMS-01000 ～ NMS-01099: Agent エラー・メッセージ	4-16
NMS-01200 ～ NMS-01999: 内部 Agent エラー・メッセージ	4-20
NMS-05000 ～ NMS-05999: コンソールの Agent エラー	4-20
5 Oracle Management Object メッセージ	
OMO-1000 ～ OMO-1999 のメッセージ	5-2
6 Oracle Data Collection Service メッセージ (第 2 層)	
ODG-05001 ～ ODG-05843 のメッセージ	6-2
7 Spatial Index Adviser メッセージ	
SDOA-2000 ～ SDOA-2499 のメッセージ	7-2
SDOX-6000 ～ SDOX-6499 のメッセージ	7-3
8 Oracle Enterprise Manager フレームワーク・メッセージ	
VDE-1000 ～ VDE-1999 のメッセージ	8-2
VDI-0000 ～ VDI-0499 のメッセージ	8-3
VDN-4500 ～ VDN-4999 のメッセージ	8-3
VDOUS-00101 ～ VDOUS-00115 のメッセージ	8-3
VDR-7000 ～ VDR-7499 のメッセージ	8-5
VDU-6000 ～ VDU-6499 のメッセージ	8-6
9 索引チューニング・ウィザード・メッセージ	
VDKBITW-1000 ～ VDKBITW-1008: メッセージ	9-2
10 Oracle TopSessions メッセージ	
VMS-00001 ～ VMS-00004: 重要なエラー・メッセージ	10-2
VMS-01000 ～ VMS-01016: 重要でないエラー・メッセージ	10-2
VMS-02000 ～ VMS-02009: 情報メッセージ	10-4
11 Agent ゲートウェイ・メッセージ	
VNI-2000 ～ VNI-4999 のメッセージ	11-2

12	コンソール・メッセージ	
	VTC-1000 ～ VTC-1127: 一般的なコンソールのメッセージ	12-2
	VTCE-1232 ～ VTCE-1237: イベント管理メッセージ	12-5
	VTCV-1344: ユーザー管理コンポーネント・メッセージ	12-6
	VTCX-1337 ～ VTCX-1350: ジョブおよびイベント管理メッセージ	12-6
	VTCDW-1000 ～ VTCDW-5999 のメッセージ	12-8
13	Oracle Data Collection Service メッセージ (クライアント層)	
	VTD-0001 ～ VTD-0114 のメッセージ	13-2
14	Oracle Management Server メッセージ (クライアント層)	
	VTK-1000 ～ VTK3027 のメッセージ	14-2
15	Oracle Performance Manager メッセージ	
	VTM-0001 ～ VTM-6903 のメッセージ	15-2
16	Oracle Capacity Planner メッセージ	
	VTP-0001 ～ VTP-0154 のメッセージ	16-2
17	Change Management Pack コマンドライン・インタフェース・メッセージ	
	VTZCLI-0000 ～ VTZCLI-2022 のメッセージ	17-2
18	Oracle Management Server メッセージ	
	VXA-1000 ～ VXA-2999 のメッセージ	18-2
19	Oracle Management Server ネーミング・サービス・メッセージ	
	VXN-1000 ～ VXN-1999 のメッセージ	19-2

索引

はじめに

このマニュアルの目的

Oracle Enterprise Manager は、異種環境を管理するための統合ソリューションを提供するシステム管理ツールです。この製品はグラフィカル・コンソール、エージェント、共通サービスおよびツールを組み合わせたもので、Oracle 製品を管理するために統合された、包括的なシステム管理プラットフォームが提供されます。

このマニュアルでは、Oracle Enterprise Manager と、別ライセンスとなる Management Pack を含めた各コンポーネントで発生するエラーについて、考えられる原因とお勧めする解決方法を説明します。

このマニュアルの対象読者

『Oracle Enterprise Manager メッセージ・マニュアル』は、Oracle Enterprise Manager を使用してシステム管理タスクを実行するユーザー、および実行するタスクに精通しているユーザーを対象にしています。データベース管理タスクに習熟していない場合は、Oracle Server ドキュメント・セットを参照してください。

『Oracle9i データベース管理者ガイド』をお読みでない場合は、先にお読みになることをお勧めします。データベース管理者の基本的な義務を説明した章が含まれています。

またこのマニュアルは、読者がオペレーティング・システムに精通していることも前提としています。必要に応じて、ご使用のオペレーティング・システムのドキュメントを参照してください。

注意： Oracle Enterprise Manager の概要は、『Oracle Enterprise Manager 概要』および Oracle Enterprise Manager クイック・ツアーを参照してください。

このマニュアルの構成

このマニュアルで説明するエラー・メッセージは、すべて次の例のように、3 文字以上のアルファベットと数字からなる接頭辞を持っています。

VNI-2002: ファイル操作エラー

エラー・メッセージは、マニュアル全体では接頭辞のアルファベット順に、各章の中ではメッセージの番号順に記載されています。各章には、1 つまたは複数の接頭辞があります。メッセージを見つけるには、マニュアル全体でアルファベット順に検索するか、または「索引」で検索してください。

このマニュアルの使用法

このマニュアルは、他の Oracle Enterprise Manager ドキュメントと同様、Oracle Server ドキュメント・セットと併用するように作成されています。Oracle Enterprise Manager ドキュメントでは、Oracle Enterprise Manager を使用してデータベース管理タスクを実行する方法を説明しています。これに対して、Oracle Server ドキュメント・セットでは、これらのタスクを実行する理由と意味を説明しています。Oracle Enterprise Manager をご使用の際は、Oracle Server ドキュメント・セットも参照することをお勧めします。

ドキュメント

Oracle Enterprise Manager ドキュメントは、次のとおりです。

- 『Oracle Enterprise Manager Readme』では、ソフトウェアの更新やその他の最新情報に関する重要な注意を説明します。
- 『Oracle Enterprise Manager 管理者ガイド』では、Oracle Enterprise Manager コンソール、共通サービスおよびデータベース管理ツールの使用法を説明します。
- 『Oracle Enterprise Manager 概要』では、Oracle Enterprise Manager と、そのアーキテクチャおよびコンポーネントについて、概要を説明します。
- 『Oracle Enterprise Manager 構成ガイド』では、Oracle Enterprise Manager の構成および起動方法を説明します。

Oracle Change Management Pack ドキュメント

- 『Oracle Enterprise Manager Oracle Change Management Pack スタート・ガイド』では、Oracle Change Management Pack アプリケーションの概説および機能の概要を説明します。

Oracle Diagnostics Pack ドキュメント

- 『Oracle Enterprise Manager Oracle Diagnostics Pack スタート・ガイド』では、Oracle Diagnostics Pack の使用にあたっての概要を説明します。

Oracle Tuning Pack ドキュメント

- 『Oracle Enterprise Manager Oracle Tuning Pack によるデータベース・チューニング』では、Oracle Tuning Pack とそのコンポーネントを使用してシステムを最適化するチューニング方法を説明します。

Oracle Standard Management Pack ドキュメント

- 『Oracle Enterprise Manager Oracle Standard Management Pack スタート・ガイド』では、Oracle Standard Management Pack の概説および機能の概要について説明します。

リリース・ノート、インストレーション・マニュアル、ホワイト・ペーパーまたはその他の関連文書は、OTN-J (Oracle Technology Network Japan) の Web サイトから無償でダウンロードできます。OTN-J を使用するには、オンラインでの登録が必要です。次の URL で登録できます。

<http://otn.oracle.co.jp/membership/>

OTN-J のユーザー名とパスワードをすでに取得している場合は、次の OTN-J Web サイトの文書セクションに直接接続できます。

<http://otn.oracle.co.jp/document/>

エラー・メッセージの解釈

この章では、このマニュアルを使用して Oracle Enterprise Manager のエラー・メッセージを解釈する際の、一般的な情報と有効なヒントを解説します。この章では、次の項目について説明しています。

- Oracle Enterprise Manager メッセージの分類
- オラクル社カスタマ・サポート・センターへの問合せ

重要： Oracle Enterprise Manager とそのコンポーネントによってサポートされる特定リリースの Oracle Server の詳細は、『Oracle Enterprise Manager 構成ガイド』を参照してください。

Oracle Enterprise Manager メッセージの分類

このマニュアルでは Oracle Enterprise Manager コンソール、その共通サービス、および統合アプリケーションについて、個々のメッセージを説明します。またこのマニュアルでは、別ライセンスとなる Management Pack のメッセージについても説明しています。

メッセージの接頭辞

このマニュアルでは、接頭辞のアルファベット順にメッセージを並べてあり、各章はその接頭辞の 1 つ以上のタイプを持つメッセージで構成されています。メッセージの接頭辞は、メッセージを生成した Oracle Enterprise Manager の機能を示しています。次の表は、それらの機能を一覧にしたものです。

表 1-1 メッセージの接頭辞

接頭辞の冒頭	機能
EmSDK	Software Developer Kit (SDK) メッセージ
EPC	Oracle Trace メッセージ
OMO	Oracle Management Object メッセージ
ODG	Oracle Data Collection Service メッセージ (第 2 層)
SDO	Spatial Index Adviser メッセージ
VD...	Oracle Enterprise Manager フレームワーク・メッセージ
VDKBITW	索引チューニング・ウィザード・メッセージ
VMS	Oracle TopSessions メッセージ
VNI	Agent ゲートウェイ・メッセージ
VTC...	コンソール・メッセージ
VTD	Oracle Data Collection Service メッセージ (クライアント層)
VTK	Oracle Management Server メッセージ (クライアント層)
VTM	Oracle Performance Manager メッセージ
VTP	Oracle Capacity Planner メッセージ
VTZCLI	Change Management Pack コマンドライン・インタフェース・メッセージ
VXA	Oracle Management Server メッセージ
VXN	Oracle Management Server ネーミング・サービス・メッセージ

その他の Oracle メッセージの接頭辞

Oracle Enterprise Manager を使用中は、他の Oracle メッセージが表示されることもあります。このマニュアルにない接頭辞が表示されている場合は、各接頭辞が説明されている次のマニュアルを参照してください。

表 1-2 その他の Oracle メッセージの接頭辞

接頭辞	マニュアル
TNS	Oracle ネットワーク製品によって生成されるエラー・メッセージです。これらのエラーは、『Oracle9i データベース・エラー・メッセージ』に記載されています。
NMC	Oracle Network Manager によって生成されるエラー・メッセージです。接頭辞「NMO」は、Oracle Network Manager のネットワーク・オブジェクト・レイヤーによって生成されたエラー・メッセージを示しています。接頭辞「NMR」は、Oracle Network Manager の ROS ファイル・レベルから生成されたメッセージに付いています。これらのエラーは、『Oracle9i データベース・エラー・メッセージ』に記載されています。
NNO	Oracle Names Server によって生成されるエラー・メッセージです。接頭辞「NNC」は、Oracle Names クライアントによって生成されたエラー・メッセージを示し、サーバーとクライアントで共通です。接頭辞「NNL」は、Oracle Names 制御ユーティリティによって生成されたエラー・メッセージに付いています。これらのエラーは、『Oracle9i データベース・エラー・メッセージ』に記載されています。
NMP	SNMP 問合せを処理する Oracle Names Server の一部であるネットワーク管理プロトコルによって生成されるエラー・メッセージです。接頭辞「NPL」は、Oracle Names Server のネットワーク・プレゼンテーション・レイヤー・コンポーネントによって生成されたエラー・メッセージの前に付いています。ネットワーク管理プロトコルおよびネットワーク・プレゼンテーション・レイヤーのエラー・メッセージは、通常、表示されません。これらのエラーは、『Oracle9i データベース・エラー・メッセージ』に記載されています。
ORA	すべての Oracle アプリケーションによって返されるメッセージの一般的な接頭辞です。これらのエラーは、『Oracle9i データベース・エラー・メッセージ』に記載されています。

オラクル社カスタマ・サポート・センターへの問合せ

一部のエラー・メッセージの処置では、オラクル社カスタマ・サポート・センターにエラーを報告することを薦めています。オラクル社カスタマ・サポート・センターにお問合せの際には、次の情報のご用意をお願いします。

- アプリケーションを実行しているハードウェア、オペレーティング・システム、およびオペレーティング・システムのリリース番号。
- 現在の問題に関係のあるすべての Oracle Enterprise Manager 製品のリリース番号。
- 1つ以上のエラー・コードまたはエラー・メッセージが表示された場合は、正確なメッセージ接頭辞、メッセージ番号およびメッセージ・テキストを表示された順に控えてください。
- 次のコードに従って、問題の重大度を示す番号を指定してください。
 - 1 = プログラムを実行できません。操作に重大な影響があります。シャットダウンが必要です。
 - 2 = プログラムを実行できません。操作は非常に制限されます。
 - 3 = 限定された機能でプログラムを実行できます。全体の操作ではそれほど重大ではありません。
 - 4 = 問題はユーザーが回避できます。操作に対する影響はきわめて小さいものです。
- 通常とは異なる状態など、問題の説明。
- 次の点についても、お知らせください。

名前

会社名

貴社の Oracle カスタマ・サポート ID (CSI) 番号

電話番号

表 1-3 準備チェックリスト

必要な情報	記入欄
アプリケーション	ハードウェア： オペレーティング・システム： オペレーティング・システムのリリース番号：
Oracle Enterprise Manager	リリース番号：
メッセージ	メッセージの接頭辞： メッセージ番号： 表示された順序：
問題の重大度	重大度を示す数字： 1 = プログラムを実行できません。操作に重大な影響があります。 2 = プログラムを実行できます。操作は非常に制限されます。 3 = 限定された機能でプログラムを実行できます。全体の操作ではそれほど重大ではありません。 4 = 問題はユーザーが回避できます。操作に対する影響はきわめて小さいものです。
問題の説明	
お客様の情報	名前： 会社名： 貴社の Oracle カスタマ・サポート ID (CSI) 番号： 電話番号：

Software Developer Kit (SDK) メッセージ

EmSDK-1000 ~ EmSDK-1999 のメッセージ

EmSDK-1000: クライアント・レジストリ読み中の致命的なエラー。異常終了します。

原因: 「ログイン」ダイアログ・ボックスの初期化に失敗しました。

処置: クライアント・システム上の ClientConfig.properties ファイルが壊れている可能性があります。ClientConfig.properties ファイルの名前を変更してから、コンソールを再起動してください。新しい properties ファイルが作成されます。

EmSDK-1002: Oracle Management Server のシステム・レジストリ。

原因: レジストリ・オブジェクトをバインドできませんでした。

処置: レジストリ・エントリがある Oracle Management Server のリポジトリが破損しています。Enterprise Manager Configuration Assistant を再実行して、リポジトリを再作成してください。

3

Oracle Trace メッセージ

この章では、次の接頭辞が付いたメッセージについて、考えられる原因と解決方法を説明します。

メッセージ	参照ページ
EPC-00020 ~ EPC-00352 のメッセージ	3-2
EPCW-00001 ~ EPCW-01022 のクライアント・メッセージ	3-9

Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ

Oracle Trace についてオラクル社カスタマ・サポート・センターに問い合わせる場合は、次の情報をお知らせください。

- ご使用の Oracle Trace のバージョン。
- データベース収集でエラーが発生した場合は、データベースのバージョン。
- Oracle Intelligent Agent のバージョン。
- クライアントおよびサーバーでご使用のオペレーティング・システムおよびそのバージョン。
- エラーが発生したときに実行していた操作。エラーが何度も発生する場合の操作手順。
- EPC_ERROR.LOG および Oracle Trace Manager ロギング・ウィンドウの情報に記録されているエラーの詳細。
- ORACLE_HOME に、構成情報などの情報が 1 つ以上あるかどうか。データベースが 1 つ以上あるかどうか。
- .cdf ファイルおよび .dat ファイルが作成されているかどうか。作成されている場合は、それらのファイル・サイズ。

EPC-00020 ~ EPC-00352 のメッセージ

次のエラー・メッセージは、Oracle Trace Manager の動作中に表示される可能性がある、Oracle Trace Collection Services メッセージの一部です。Oracle Trace Collection Services メッセージの完全なリストは、『Oracle9i データベース・エラー・メッセージ』を参照してください。

EPC-00020: Oracle Trace がメモリーにアクセスできません。

原因: メモリー・マップで管理された .dat ファイルの1つが一杯になったときに、Oracle Trace は、そのファイルのサイズを拡張できませんでした。これは、Windows NT の場合のみの問題です。その他のプラットフォームでは、ユーザーの処置がなくても、必要に応じてファイルは拡張されます。

処置: 現在実行している Oracle Trace 収集が完了するのを待ち、それから *.dat ファイル上のスペースを解放してください。Oracle Trace 収集が実行されていない（また、Oracle データベース・プロセスがすでにファイルに連結していない）場合には、otrcrcref イメージを実行して空の .dat ファイルを新規に作成できます。必要であれば、otrcrcref を実行する際に、otrcrcref -f200 -c32 -r400 など、より大きいファイル・サイズを指定できます。

EPC-00046: 一般エラー・メッセージです。

原因: このエラーは通常、原因となるエラーの値が、処理できる値の範囲を超えている場合に Oracle Trace Manager を通して返されます。異常な状態では、原因不明のエラーを通知する場合にも、このエラーが返されることがあります。

処置: エラーが存在する場合は、EPC_ERROR.LOG ファイルでエラーの詳細を検索し、それらの原因および解決方法の説明を見つけてください。それでも解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPC-00055: データ・コレクション・ファイルのオープンでエラーが発生しました。

原因: データ収集ファイル (.dcf) をオープンしようとして、Oracle Trace でエラーが発生しました。

処置: 収集ファイルが存在していることを確認し、ファイル保護をチェックしてください。それでも解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPC-00056: コレクション定義ファイルのオープンでエラーが発生しました。

原因: 収集定義ファイル (.cdf) をオープンしようとして、Oracle Trace でエラーが発生しました。

処置: 収集定義ファイル (.cdf) が存在していることを確認し、ファイル保護をチェックしてください。それでも解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPC-00063: 製品定義ファイルの読み込みでエラーが発生しました。

原因: epc_collect コールなどで指定した製品定義ファイル (.fdf) を読み込もうとした際に、エラーが発生しました。

処置: 製品定義ファイルが存在していることを確認し、ファイル保護をチェックしてください。ディレクトリ保護、ORACLE_HOME の定義および Oracle Trace パラメータ設定もチェックしてください。それでも解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPC-00064: データ・コレクション・ファイルの作成でエラーが発生しました。

原因: データ収集ファイル (.dcf) を作成しようとして、エラーが発生しました。

処置: Oracle Trace admin/cdf ディレクトリの保護設定をチェックしてください。ORACLE_HOME の定義と Oracle Trace パラメータ設定もチェックしてください。それでも解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPC-00065: コレクション定義ファイルの作成でエラーが発生しました。

原因: 指定された収集定義ファイル (.cdf) を作成しようとして、エラーが発生しました。

処置: Oracle Trace admin/cdf ディレクトリの保護設定をチェックしてください。ORACLE_HOME の定義と Oracle Trace パラメータ設定もチェックしてください。それでも解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPC-00066: コレクション定義ファイルの書き込みでエラーが発生しました。

原因: 指定された収集定義ファイル (.cdf) に書き込もうとして、エラーが発生しました。

処置: 十分なディスク領域があるかどうか、ファイルの保護が正しいかどうかを確認してください。ディレクトリ保護、ORACLE_HOME の定義および Oracle Trace パラメータ設定もチェックしてください。それでも解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPC-00067: 製品定義ファイルのオープンでエラーが発生しました。

原因: 製品定義ファイルのオープン中にエラーが発生しました。

処置: 製品定義ファイル (.fdf) が存在していることを確認し、ファイル保護をチェックしてください。ディレクトリ保護、ORACLE_HOME の定義および Oracle Trace パラメータ設定もチェックしてください。それでも解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPC-00084: ファイルのメモリー・マッピングに失敗しました。

原因: 通常、Oracle Trace Collection Services と他のコンポーネントの間に不一致（たとえば、データベース・サーバーのバージョン）があることを示します。ローカルにマウントされたディスク・デバイス上にファイルがない場合には、Oracle Trace admin.dat ファイルのメモリー・マッピングが原因でエラーが生成される可能性があります。

処置: Oracle Trace マニュアルを参照するか、またはオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPC-00087: CLI ジョブを開始しています。

原因: この状態は、Oracle Trace CLI ジョブが開始された（すなわち、Oracle Trace のかわりに Oracle Intelligent Agent によって実行された）ことを示すために使用されます。これはエラーではありません。

処置: なし。Oracle Server リリース 7.3.3 の場合、エラー・メッセージは「プロセス・レコードを PRO ファイルに割り当てられません」となります。これは、しばしば EPC-00084 のエラーと同時に発生します。

EPC-00116: コレクションは collect.dat ファイル内にすでに存在しています。

原因: その収集名はすでに使用されており、現在 Oracle Trace admin collect.dat ファイルにあります。収集が非アクティブな場合、この記録は最終的には破棄されます。

処置: 新しい収集名を指定するか、または otrccref イメージを実行して（すべてのプロセスをこれらのファイルから連結解除した後）、Oracle Trace admin.dat ファイルを強制的にクリーン・アップします。

EPC-00133: CLI ジョブを完了しました。

原因: この状態は、Oracle Trace CLI ジョブが完了した（すなわち、Oracle Trace のかわりに Oracle Intelligent Agent によって実行された）ことを示すために使用されます。これはエラーではありません。

処置: なし。

EPC-00146:

原因: Oracle Trace コマンドライン・インタプリタ（CLI）によって使用されます。Oracle Trace における通常の正常な出力の一部です。

処置: 処置は必要ありません。

EPC-00148: コレクション状態: アクティブ

原因: Oracle Trace CLI の「収集のチェック」操作が成功してメッセージが戻された状態で、指定した収集が存在し、アクティブであることを示します。

処置: 処置は必要ありません。

EPC-00149: コレクション状態: アクティブでない

原因: これは成功メッセージです。

処置: 処置は必要ありません。

EPC-00150: コレクション状態: 未定義

原因: これは Oracle Trace の内部エラーです。通常は発生しないエラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPC-00151: コレクション定義ファイルとデータ・コレクション・ファイルが削除されました。

原因: これは成功メッセージです。

処置: 処置は必要ありません。

EPC-00157: コレクションを開始しました。

原因: これは成功メッセージです。

処置: 処置は必要ありません。

EPC-00158: コレクションが完了しました。

原因: これは成功メッセージです。

処置: 処置は必要ありません。

EPC-00159: ユーザー名またはパスワード（またはサービス名）が指定されていません。

原因: Oracle Trace データのフォーマットなどのために、Oracle データベースにアクセスする場合、ユーザーは、有効なデータベース・アカウントのユーザー名、パスワード、データベース・サービス名を指定して、完全な Oracle データベース接続文字列を作成する必要があります。

処置: 欠落している接続文字列の要素を指定してください。

EPC-00169: コレクション定義ファイルの削除でエラーが発生しました。

原因: 収集定義ファイル (.cdf) を削除しようとした際にエラーが発生すると、Oracle Trace CLI によってこのエラーが通知されます。多くの場合、ファイルが存在しない（すでに削除されている）、ファイルが保護されている、または Oracle Trace 収集の一部である 1 つ以上のプロセス、つまりデータベース・プロセスによってファイルが保持されていることが原因です。

処置: ファイルが存在していることを確認し、必要であれば保護を修正してください。データベース・プロセスによってファイルがオープンされている場合は、（各プロセスの次のデータベース操作の際に）プロセスからファイルが解放されるまで待ってください。

EPC-00170: コレクション・データ・ファイルの削除でエラーが発生しました。

原因: 収集の .dat ファイルを削除しようとした際にエラーが発生すると、Oracle Trace CLI によってこのエラーが通知されます。多くの場合、ファイルが存在しない (すでに削除されている)、ファイルが保護されている、または Oracle Trace 収集の一部である 1 つ以上のプロセス、つまりデータベース・プロセスによってファイルが保持されていることが原因です。

処置: ファイルが存在していることを確認し、必要であれば保護を修正してください。データベース・プロセスによってファイルがオープンされている場合は、(各プロセスの次のデータベース操作の際に) プロセスからファイルが解放されるまで待ってください。

EPC-00173: コマンドライン引数リストの解析に失敗しました。

原因: これは Oracle Trace の内部エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPC-00175: Oracle Trace の CLI otrccol イメージが見つからないか、または実行可能ではありません。

原因: Oracle Trace CLI イメージ otrccol が ORACLE_HOME/bin にないか、アクセスが拒否されました。

処置: イメージがある場合には、実行が可能なように保護を設定してください。イメージがない場合には、そのシステム上の Oracle インストールの責任者にお問合せください。複数の ORACLE_HOME 定義がある場合は、正しい ORACLE_HOME が使用されていることを確認してください。それでも解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPC-00176: フォーマットを完了しました。

原因: これは成功メッセージです。

処置: 処置は必要ありません。

EPC-00177: フォーマットを開始しました。

原因: これは成功メッセージです。

処置: 処置は必要ありません。

EPC-00179: ユーザー・アクションまたは最大ファイル・サイズ (またはエラー) により、コレクションが停止しました。

原因: このメッセージは、スケジュールされた終了時よりも前にユーザーが明示的に収集を停止した、または指定された最大ファイル・サイズに達した (ディスクが一杯になった) ために収集が終了した、またはなんらかのエラーによりコレクションが停止されたことを示します。

処置: ユーザーが収集を停止したのではない場合は、ディスクの使用状況をチェックしてください。init.ora ファイルまたは Oracle Trace Manager で、最大ファイル・サイズをチェックしてください。それでも解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPC-00180: フォーマットしたデータの削除を開始しました。

原因: これは成功メッセージです。

処置: 処置は必要ありません。

EPC-00181: フォーマットしたデータの削除を完了しました。

原因: これは成功メッセージです。

処置: 処置は必要ありません。

EPC-00182: OCI データベース・アクセスのエラーが発生しました。

原因: Oracle Trace CLI データベースのアクセス中にエラーが発生しました。

処置: 失敗に関する追加情報およびエラー・メッセージは、EPC_ERROR.LOG ファイルを参照してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPC-00186: コレクションの開始でエラーが発生しました。

原因: collect.dat ファイルで収集状態をアクティブに設定した際に、エラーが発生しました。これは Oracle Trace の内部エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPC-00189: アクティブ・コレクションの制限を超えています。

原因: この製品での収集最大数を超えました。現在の収集最大数は、5 つまでです。

処置: 収集を再試行してください。

EPC-00235: データ・コレクション・ファイル *string.dat* が見つかりません。

原因: データ・ファイルが見つかりません。削除され、すでに存在していない可能性があります。

処置: 処置は必要ありません。

EPC-00236: コレクション定義ファイル *string* が見つかりません。

原因: 収集定義ファイル (.cdf) が見つからなかったか、またはファイル保護のためにアクセスできませんでした。

処置: .cdf ファイルがすでに存在しない場合、処置は必要ありません。.cdf ファイルが存在する場合には、ファイル保護をチェックしてください。

EPC-00308: Oracle 文の実行でエラーが発生しました。

原因: これは Oracle Trace の内部エラーです。通常は発生しないエラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPC-00309: *string* の解析でエラーが発生しました。

原因: このエラーは通常、Oracle Trace データをデータベースにフォーマットする際に発生します。このエラーは、フォーマット表がデータベースにないか、または現行のフォーマット表定義と、フォーマット操作を実行しようとしている Oracle Trace イメージとの同期が取れていないことを示しています。Oracle Trace リリース 7.3.4 と 8.0.4 (およびそれ以上) では、自動的にフォーマット表を説明するメタデータを作成および更新できますが、これより古いリリースではこの機能がありません。

処置: 必要に応じて、Oracle Trace フォーマッタ SQL スクリプトを実行して、ターゲット・データベースの Oracle Trace フォーマット表定義を更新してください。ただし、Oracle Trace の新しいバージョンで、すでにデータをデータベースまたはデータベース・ユーザー・アカウントにフォーマットした場合には、フォーマットされたデータに、別のデータベースまたはデータベース・ユーザー・アカウント (あるいはその両方) を使用する必要がある場合があります。互換性のない古いバージョンの Oracle Trace では、フォーマット表が異なるため、これと同じデータベースまたはデータベース・ユーザー・アカウントにフォーマットすることはできません。otrcfmt イメージの詳細は『Oracle Enterprise Manager Oracle Diagnostics Pack スタート・ガイド』を参照してください。

EPC-00344: フォーマットする新規データはありません。終了します。

原因: 新しいデータを含まないデータ・ファイルをフォーマットしようとしました。

処置: 処置は必要ありません。

EPC-00350: *collection_id number* のフォーマットを強制終了しています。データベースから削除して、再フォーマットしてください。

原因: このエラーには、いくつかの原因が考えられます。ユーザーがフォーマット操作を取り消した場合には、エラー・メッセージではなく、単なる情報メッセージであることもあります。

処置: EPC_ERROR.LOG を調べて、他のエラー・メッセージがないかどうかチェックしてください。例: 「フォーマッタに提供するデータベース・サービス名の解決に失敗しました」 (これは、フォーマット・コードが実行されているローカル・ノード上の TNSNAMES.ORA ファイルに、指定したフォーマット・データベースのエントリが含

まれていないことを示しています。) エラー・メッセージで表示された収集 ID が 0 より小さい場合、フォーマット処理がフォーマット・データベースへのアクセスまで進まなかった可能性があります。Format コマンドを再実行し、-f パラメータを指定して (つまり、部分的なフォーマットではなく、完全なフォーマット)、異常終了の前にすでにフォーマットされたデータを、再度フォーマットしてください。

EPCW-00351: ユーザーがフォーマットを取り消しました。

原因: Oracle Trace のフォーマット操作は停止されました。

処置: 処置は必要ありません。

EPCW-00352: このファイルはすでに存在しています。別の名前を選択してください。

原因: 指定されたファイル名は、すでに存在しています。

処置: 新しいファイル名、すなわち収集名を指定してください。

EPCW-00001 ~ EPCW-01022 のクライアント・メッセージ

Oracle Trace Manager で生成されるエラー・メッセージは、次のとおりです。

EPCW-00001: データベース・エラー。string

原因: データベースへのアクセス中に問題が発生しました。

処置: 解決方法は、エラー・メッセージに伴う補足情報によって異なります。詳細は、Oracle Trace のログ・ウィンドウを実行するか、または Oracle Enterprise Manager のジョブ出力ウィンドウを参照してください。

EPCW-00002: 新規収集の開始中にエラーが発生しました。

原因: Oracle Enterprise Manager にジョブを送ろうとした際に問題が発生しました。

処置: ターゲット・ノードで、Oracle Enterprise Manager と Oracle Intelligent Agent が実行されていることを確認してください。また、ターゲット・ノードに対して Oracle Enterprise Manager の作業環境を設定したかどうかを確認してください。Oracle Enterprise Manager を使用して、問題のノードにテスト・ジョブを送信してみてください。

EPCW-00003: 収集の入力ファイルの作成中にエラーが発生しました。

原因: 収集の入力ファイルの作成中または書込み中に問題が発生しました。

処置: ターゲット・ノードで指定された Oracle Enterprise Manager の作業環境ノード接続に、ORACLE_HOME の Oracle Trace admin/cdf ディレクトリへの書込み許可があることを確認してください。適切な空きディスク領域が使用可能となっていることを確認してください。

EPCW-00004: 収集スクリプト・ファイルのオープン中にエラーが発生しました。string

原因: Oracle Trace ジョブ tcl ファイルを検索しようとした際に問題が発生しました。

処置: ご使用の ORACLE_HOME に対して、ファイル読み込みアクセス権があることを確認してください。ファイル読み込みアクセス権がある場合は、ロギング・オプションで Oracle Trace Manager を実行し、ログ情報を見直してください。記録された情報に問題がない場合は、記録されたテキストを保存してオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPCW-00005: Oracle Enterprise Manager 検出キャッシュへのアクセス中にエラーが発生しました。

原因: Oracle Enterprise Manager 検出キャッシュへのアクセス中に問題が発生しました。

処置: Oracle Enterprise Manager が実行されており、Oracle Trace のバージョンと互換性があるバージョンであることを確認してください。必要に応じて、Oracle Enterprise Manager および Oracle Trace を再起動してください。

EPCW-00006: 状態変更通知に関する Oracle Trace の登録中にエラーが発生しました。

原因: Oracle Trace のアクティブ・オブジェクトを登録しようとした際に問題が発生しました。

処置: Oracle Trace 登録入力が正しいことを確認してください。入力間違っている場合は、Oracle Trace を再インストールしてください。

EPCW-00007: 警告。Oracle Enterprise Manager では、接続先のデータベースを認識できません。

原因: ユーザーが指定したデータベースは、Oracle Enterprise Manager 検出キャッシュにありませんでした。

処置: なし。これは警告メッセージです。

EPCW-00008: データベースを指定してください。

原因: データベース名は必須ですが、指定されていません。

処置: データベース名を入力してください。

EPCW-00009: ユーザー名を入力してください。

原因: ユーザー名は必須ですが、指定されていません。

処置: ユーザー名を入力してください。

EPCW-00010: パスワードを入力してください。

原因: パスワードは必須ですが、指定されていません。

処置: パスワードを入力してください。

EPCW-00011: Oracle Trace の初期化中にエラーが発生しました。Oracle Enterprise Manager は実行中ではありません。

原因: Oracle Enterprise Manager が実行されている必要があります。

処置: Oracle Enterprise Manager を起動し、Oracle Trace を再起動してください。

EPCW-00012: Oracle Trace リポジトリ表への接続中にエラーが発生しました。

原因: Oracle Trace リポジトリ表への接続中にエラーが発生しました。

処置: サーバーが実行中であることを確認してください。Oracle Enterprise Manager と Oracle Trace のバージョンに互換性があることを確認してください。それでも問題が解決しない場合は、Oracle Enterprise Manager と Oracle Trace の両方を再起動して、Oracle Trace をロギング・オプションで実行してください。次に、ログ情報を見直してください。記録された情報に問題がない場合は、記録されたテキストを保存してオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPCW-00013: Oracle Enterprise Manager 検出の実行中にエラーが発生しました。

原因: Oracle Enterprise Manager の検出中に問題が発生しました。

処置: Oracle Enterprise Manager 検出が正しく機能しているかどうかを確認してください。正しく機能している場合は、Oracle Enterprise Manager と Oracle Trace の両方を再起動して、Oracle Trace をロギング・オプションで実行してください。次に、ログ情報を見直してください。記録された情報に問題がない場合は、記録されたテキストを保存してオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPCW-00014: Oracle Enterprise Manager コンソールとの通信中にエラーが発生しました。

原因: OLE を経由した Oracle Enterprise Manager との通信中に、エラーが発生しました。互換性のないバージョンの Oracle Enterprise Manager コンソールがロードされた可能性があります。

処置: Oracle Enterprise Manager と Oracle Trace のバージョンが一致しているかを確認してください。一致している場合は、Oracle Enterprise Manager と Oracle Trace の両方を再起動して、Oracle Trace をロギング・オプションで実行してください。次に、ログ情報を見直してください。記録された情報に問題がない場合は、記録されたテキストを保存してオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPCW-00015: OLE の初期化に失敗しました。OLE ライブラリのバージョンが正しいことを確認してください。

原因: OLE DLL のバージョンが間違っています。

処置: Oracle Trace を再インストールしてください。

EPCW-00016: Oracle Enterprise Manager 検出キャッシュとの通信中にエラーが発生しました。

原因: Oracle Trace の検出に問題が発生しました。

処置: Oracle Enterprise Manager と Oracle Trace のバージョンが一致しているかを確認してください。一致している場合は、Oracle Enterprise Manager と Oracle Trace の両方を再起動して、Oracle Trace をロギング・オプションで実行してください。次に、ログ情報を見直してください。記録された情報に問題がない場合は、記録されたテキストを保存してオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPCW-00017: 「進行」ウィンドウを閉じて「状態」メッセージを廃棄しますか。

原因: Oracle Trace の検出停止を促します。

処置: なし。

EPCW-00018: 収集 *string* の開始に失敗しました。 *string*

原因: コレクションの起動に失敗しました。サーバー側のエラーに伴って発生します。

処置: Oracle Trace のロギング・ウィンドウと Oracle Enterprise Manager のジョブ出力ウィンドウで、他のエラーを調べてください。これらのエラーは、問題の特定に役立つ場合があります。

EPCW-00019: 収集 *string* の開始に失敗しました。 *string*

原因: コレクションの停止中に問題が発生しました。サーバー側のエラーに伴って発生します。

処置: Oracle Trace のロギング・ウィンドウと Oracle Enterprise Manager のジョブ出力ウィンドウで、他のエラーを調べてください。これらのエラーは、問題の特定に役立つ場合があります。

EPCW-00020: ナビゲータ・データの表示中にエラーが発生しました。

原因: ナビゲータに情報を表示する際に問題が発生しました。

処置: スクリーンをリフレッシュするか、Oracle Trace Manager を再起動してください。

EPCW-00021: Oracle Enterprise Manager は実行中ではありません。製品ファイルの編集のみ実行可能となります。

原因: Oracle Enterprise Manager は実行されていませんが、ユーザーがコマンドラインで管理モードを指定しました。

処置: なし。ユーザーが使用できるのは、製品ファイルの作成または編集のみです。

EPCW-00022: Oracle Trace リソース DLL をロードできません。Oracle Trace で、言語固有のリソース DLL が見つかりませんでした。

処置: インストールが正しく行われている場合、これは内部の問題です。オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPCW-00023: ナビゲータ・データの表示中にエラーが発生しました。

原因: Oracle Enterprise Manager 検出エラーです。

処置: Oracle Enterprise Manager 検出が正しく機能しているかどうかを確認してください。正しく機能している場合は、Oracle Enterprise Manager と Oracle Trace の両方を再起動して、Oracle Trace をロギング・オプションで実行してください。次に、ログ情報を見直してください。記録された情報に問題がない場合は、記録されたテキストを保存してオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPCW-00024: 1 つ以上のイベント・セットを指定する必要があります。

原因: 収集ウィザードでは、最低 1 つのイベント・セットを指定する必要があります。

処置: 収集ウィザードで、最低 1 つのイベント・セットを指定してください。

EPCW-00025: 期間を指定しなければなりません。

原因: 収集ウィザードで、期間を指定する必要があります。

処置: 収集ウィザードで、期間を指定してください。

EPCW-00026: Oracle Trace ノードは 1 つも検出されませんでした。Oracle Trace 検出機能を実行しますか？

原因: ノードが見つからないと、製品起動時に検出を実行するようにユーザーにプロンプトが出されます。

処置: 製品検出を実行すると、このメッセージは表示されなくなります。

EPCW-00027: Oracle Trace はすでに実行中です。

原因: クライアントで実行できるのは、1 つの Oracle Trace インスタンスのみです。

処置: クライアントでこれ以上 Oracle Trace のインスタンスを実行しないようにしてください。

EPCW-00028: 収集 string のフォーマットに失敗しました。string

原因: 自動フォーマット中に収集ジョブを失敗したか、またはスタンドアロン・フォーマットのジョブを失敗しました。

処置: フォーマット操作で、有効な優先接続情報リストを指定したことを確認してください。また、収集が発生したサーバーの宛先ノードに、tnsnames エントリがあるかどうかも確認してください。次に、フォーマットを再試行してください。それでも失敗する

場合は、Oracle Enterprise Manager と Oracle Trace の両方を再起動して、Oracle Trace をロギング・オプションで実行してください。Oracle Trace のログ情報と Oracle Enterprise Manager のジョブ出力を見直してください。記録された情報に問題がない場合は、記録されたテキストを保存してオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPCW-00029: 「進行」ウィンドウを閉じて「状態」メッセージを廃棄しますか。

原因: 収集ファイルの削除を、ユーザーが終了しようとしています。

処置: 適切なボタンを押してください。

EPCW-00030: 「進行」ウィンドウを閉じて「状態」メッセージを廃棄しますか。

原因: 収集のフォーマット済データの削除を、ユーザーが終了しようとしています。

処置: 適切なボタンを押してください。

EPCW-00031: Oracle Enterprise Manager バージョンの読み込み中にエラーが発生しました。

原因: Oracle Enterprise Manager から現行のバージョンを取り出すときに、問題が発生しました。

処置: Oracle Enterprise Manager 検出が正しく機能しているかどうかを確認してください。正しく機能している場合は、Oracle Enterprise Manager と Oracle Trace の両方を再起動して、Oracle Trace をロギング・オプションで実行してください。次に、ログ情報を見直してください。記録された情報に問題がない場合は、記録されたテキストを保存してオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPCW-00032: Oracle Trace リポジトリ表からの Oracle Trace バージョンの読み込み中にエラーが発生しました。

原因: Oracle Trace リポジトリ表から現行のバージョンを読み込もうとしているときに問題が発生しました。

処置: Oracle Enterprise Manager リポジトリが含まれたサーバーが正しく機能していることを確認してください。正しく機能している場合は、Oracle Enterprise Manager と Oracle Trace の両方を再起動して、Oracle Trace をロギング・オプションで実行してください。次に、ログ情報を見直してください。記録された情報に問題がない場合は、記録されたテキストを保存してオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPCW-00033: Oracle Trace は、Oracle Enterprise Manager と互換性がありません。

原因: Oracle Trace と Oracle Enterprise Manager のデータベースのバージョンに互換性がありません。

処置: Oracle Trace リポジトリ表をアップグレードしてください。

EPCW-00034: Oracle Trace のこのバージョンは、ご使用の Oracle Trace リポジトリ表と互換性がありません。

原因: Oracle Trace バージョンと Oracle Enterprise Manager リポジトリとの同期が取れていません。

処置: 次の SQL コマンドを実行してください。Select * from epc_cli_version; これによって、Oracle Trace リポジトリ表のバージョンを特定できます。Oracle Trace のバージョンが、ご使用の Oracle Trace リポジトリ表のバージョンよりも新しい場合、Oracle Trace リポジトリ表をアップグレードしてください。Oracle Trace のバージョンが古いと、新しいバージョンで作成されたか、またはアップグレードされたリポジトリでは作動しません。

EPCW-00035: Oracle Trace リポジトリ表へデータを挿入中にエラーが発生しました。

原因: Oracle Trace Manager からは、Oracle Trace リポジトリ表にデータを挿入できません。

処置: Oracle Enterprise Manager リポジトリが含まれたサーバーが正しく機能していることを確認してください。Oracle Trace のバージョンが、ご使用のリポジトリと一致していることを確認してください。Oracle Trace のバージョンがリポジトリと一致している場合は、Oracle Enterprise Manager と Oracle Trace の両方を再起動して、Oracle Trace をロギング・オプションで実行してください。次に、ログ情報を見直してください。記録された情報に問題がない場合は、記録されたテキストを保存してオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPCW-00036: Oracle Trace リポジトリ表のデータを更新中にエラーが発生しました。

原因: Oracle Trace Manager からは、Oracle Trace リポジトリ表にデータを挿入できません。

処置: Oracle Enterprise Manager リポジトリが含まれたサーバーが正しく機能していることを確認してください。Oracle Trace のバージョンが、ご使用のリポジトリと一致していることを確認してください。Oracle Trace のバージョンがリポジトリのバージョンと一致している場合は、エラー・メッセージ・ボックスのテキストを保存して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPCW-00037: Oracle Trace リポジトリ表からデータを削除中にエラーが発生しました。

原因: Oracle Trace Manager は、Oracle Trace リポジトリ表からデータを削除できません。

処置: Oracle Enterprise Manager リポジトリが含まれたサーバーが正しく機能していることを確認してください。Oracle Trace のバージョンが、ご使用のリポジトリと一致していることを確認してください。Oracle Trace のバージョンがリポジトリと一致している場合は、Oracle Enterprise Manager と Oracle Trace の両方を再起動して、Oracle Trace をロギング・オプションで実行してください。次に、ログ情報を見直してください。

い。記録された情報に問題がない場合は、記録されたテキストを保存してオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPCW-00038: Oracle Trace リポジトリ表からデータを選択中にエラーが発生しました。

原因: Oracle Trace Manager は、Oracle Trace リポジトリ表からデータを削除できません。

処置: Oracle Enterprise Manager リポジトリが含まれたサーバーが正しく機能していることを確認してください。Oracle Trace のバージョンが、ご使用のリポジトリと一致していることを確認してください。Oracle Trace のバージョンがリポジトリと一致している場合は、Oracle Enterprise Manager と Oracle Trace の両方を再起動して、Oracle Trace をロギング・オプションで実行してください。次に、ログ情報を見直してください。記録された情報に問題がない場合は、記録されたテキストを保存してオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPCW-00039: 収集名は 16 文字以下でなければなりません。

原因: 収集名は、半角英数字で 16 文字を超えることはできません。

処置: 収集名が 16 文字を超えないように変更してください。

EPCW-00040: 収集名は一意にしなければなりません。

原因: 収集名は、一意である必要があります。

処置: 収集名が一意になるように変更してください。

EPCW-00041: 出力ファイル名は 8 文字以下でなければなりません。

原因: 収集出力ファイル名は、半角英数字で 8 文字を超えることはできません。

処置: 収集出力ファイル名が 8 文字を超えないように変更してください。

EPCW-00042: 出力ファイル名が無効または見つかりません。

原因: 収集出力ファイル名を指定する必要があります。

処置: 収集出力ファイル名を変更してください。

EPCW-00043: 「進行」ウィンドウを閉じて「状態」メッセージを廃棄しますか。

原因: 収集の削除を、ユーザーが終了しようとしています。

処置: 操作を終了するか、または続行させてください。

EPCW-00044: 出力ファイル名が無効または見つかりません。

原因: 有効な収集名が必須です。

処置: 有効な収集名を入力し、続行してください。

EPCW-00045: 説明は 2000 文字以下でなければなりません。

原因: 説明フィールドに、半角英数字で 2000 を超える文字を入力しました。

処置: 説明テキストを短くしてください。

EPCW-00046: 収集の削除がエラーで終了しました。Oracle Trace リポジトリ表から *string* を削除しますか。

原因: 収集の削除中に送ったジョブの 1 つが失敗しました。

処置: Oracle Trace リポジトリ表から削除する収集オブジェクトを指示できます。

EPCW-00047: Oracle Trace リポジトリ表の妥当性チェック中にエラーが発生しました。

原因: Oracle Trace リポジトリ表の更新が必要か、またはリポジトリ・スクリプトが壊れています。

処置: Oracle Trace リポジトリ表を更新してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPCW-00048: スケジューリング情報の入手中にエラーが発生しました。前のスケジュールに戻ります。

原因: スケジュール制御に関して、内部的な問題がある可能性があります。

処置: Oracle Enterprise Manager が実行されていることを確認してください。それでも問題が解決しない場合は、Oracle Enterprise Manager、Oracle Intelligent Agent および Oracle Trace を再起動してください。Oracle Trace は、ロギング・オプションで実行してください。次に、ログ情報を見直してください。記録された情報に問題がない場合は、記録されたテキストを保存してオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPCW-00049: 名前にエラーがあります。名前に特殊記号を入れてはいけません。

原因: 名前に、英数字以外の文字が使用されました。

処置: 名前には英数文字のみ使用してください。

EPCW-00050: ノード *string* およびすべてのその子のアクティブ解除中にエラーが発生しました。

原因: 検出中に、ノードとそのすべての子（すなわち、そのノード上のインストールおよび製品）を非アクティブに設定しようとした際に、エラーが発生しました。データベースのアップデート中に、データベース・エラーが発生した可能性があります。

処置: 予想されるデータベース・エラーの詳細は、Oracle Trace のロギング・ウィンドウを参照してください。この情報を使用して対応方法を決定し、Oracle Trace を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace についてのオラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ](#)」の項を参照してください。

EPCW-00051: Oracle Trace ユーザー *string* をリポジトリ内に配置中にエラーが発生しました。

原因: Oracle Trace リポジトリ・ユーザーおよび ID 表で、Oracle Trace ユーザーの検索中にエラーが発生しました。Oracle Trace リポジトリ表で、このユーザーの ID を作成する際に、スクリプトのアップグレードまたは作成に関するエラーが発生した可能性があります。

処置: `epc_cli_rep_users` リポジトリ表を調べて、指定のユーザーを検索してください。ユーザーが見つからない場合は、このユーザーの Oracle Trace リポジトリ表を削除し、`vobsh` ユーティリティを使用してユーザーを作成し直してください。

EPCW-00052: Oracle Enterprise Manager コンソール・ブリッジ・インスタンスの作成中にエラーが発生しました。

原因: Oracle Trace では、実行中のバージョンの Oracle Enterprise Manager コンソール・ブリッジを検索せず、そのインスタンス化を試行しませんでした。Oracle Trace では、Oracle Enterprise コンソール・ブリッジをインスタンス化できませんでした。

処置: Oracle Enterprise Manager コンソールを手動で起動し、Oracle Trace を再起動してください。

EPCW-00055: サービス名が必要です。8.1.5 以下のサーバー・リリースは、提供されたフォーマットではデータベースに接続できません。検出が必要です。

原因: フォーマット可能なデータベースのリストから選択したデータベースが、サービス名ではなく、`host:port:sid` の形式で指定されています。(リポジトリ・データベースの常駐するノードが Trace で検出されていない場合、リポジトリ・データベースは `host:port:sid` の形式で表示されます。) サービス名が使用できない場合、収集ノードの Trace フォーマット・メカニズムには長いサービス記述子が送られません。Oracle Server リリース 8.1.6 以上の収集サービスでは、長いサービス記述子を処理する必要があります。

処置: (Enterprise Manager コンソールと Trace で) データベースが常駐するノードを検出してください。これにより、フォーマット可能なデータベースのリストに、サービス名が表示されます。Oracle Server のリリースが 8.1.6 以上ではない場合、収集が実行されている Oracle ホームの `TNSNAMES.ORA` ファイルに、サービス名を定義する必要があります。

EPCW-00056: データベース *string* は Trace 収集を実行できません。INIT.ORA 内の ORACLE_TRACE_ENABLE パラメータを TRUE に設定してください。

原因: この収集操作のターゲットとして選択したデータベースの `INIT.ORA` ファイルにある `ORACLE_TRACE_ENABLE` パラメータが、TRUE に設定されていません。

処置: 該当するデータベースの `INIT.ORA` ファイルを編集し、`ORACLE_TRACE_ENABLE` パラメータを TRUE に設定してください。INIT.ORA ファイルを変更した後、データベースを停止し、再起動してください。

EPCW-01000: 選択した項目 *string* はすでに追加されています。

原因: イベントへ項目を追加しようとしたのですが、そのイベントにはすでにその項目が含まれています。

処置: その項目は、イベントに追加しないでください。

EPCW-01001: 同一のイベント番号があります。

原因: ユーザーが追加または変更しようとしているイベントの番号が、製品内で一意ではありません。

処置: 別のイベント番号を選択してください。

EPCW-01002: 同一の項目番号があります。

原因: ユーザーが追加または変更しようとしている項目の番号が、製品内で一意ではありません。

処置: 別の番号を選択してください。

EPCW-01003: 製品定義ファイルの作成中にエラーが発生しました。

原因: 製品作成または編集集中に、.fdf ファイルを書き込もうとしてエラーが発生しました。

処置: パス名が正しいことを確認してください。

EPCW-01004: 製品からこのイベント・セットを完全に削除するには、ファイル *string* を削除してください。

原因: ユーザーがイベント・セットを削除し、対応する .fdf ファイルが自動的に削除されないことを警告されています。

処置: .fdf ファイルを手動で削除してください。

EPCW-01005: 製品定義ファイル *string* の読み込み中にエラーが発生しました。

原因: 製品作成または編集集中に、.fdf ファイルを読み込もうとしてエラーが発生しました。

処置: .fdf ファイルが壊れている可能性があります。他の .fdf ファイルを読み込んでみてください。

EPCW-01006: 製品 *string* (ファイル *string* 内) が、製品 *string* (ファイル *string* 内) と一致しません。

原因: 複数の .fdf ファイルが読み込まれましたが、異なる製品のイベント・セットが記述されていました。

処置: 製品編集時に同時に読み込まれた .fdf ファイルが、同じ製品のものかどうかを確認してください。

EPCW-01007: 項目番号 *string* は、他のファイル *string* に別の定義があります。

原因: 同じ製品に対して、異なる 2 つの .fdf ファイルの項目定義が一致していません。製品の .fdf ファイルすべてで同期が取れている場合には、これらはすべて一致している必要があります。

処置: .fdf ファイルをそれぞれ別個に読み込んで、エラーのある項目の違いを調べてください。エラーのある項目が含まれているファイルを訂正してから、すべての製品ファイルを同時に読み込んでください。

EPCW-01008: 項目番号 *string* は、他のファイル *string* に別の定義があります。

原因: 同じ製品に対して、異なる 2 つの .fdf ファイルの項目定義が一致していません。製品の .fdf ファイルすべてで同期が取れている場合には、これらはすべて一致している必要があります。

処置: .fdf ファイルをそれぞれ別個に読み込んで、エラーのあるイベントの違いを調べてください。エラーのあるイベントが含まれているファイルを訂正してから、すべての製品ファイルを同時に読み込んでください。

EPCW-01009: 「*string*」フィールドを埋めてください。このフィールドは必須です。

原因: ユーザーが、必要な情報をすべて指定せずにダイアログ・ボックスを終了しようとしています。

処置: 指定されたフィールドに入力してから、ダイアログ・ボックスを終了してください。

EPCW-01010: 項目番号が無効です。

原因: 指定された項目番号が、ユーザー定義項目に許可された範囲内にありません。

処置: 別の項目番号を選択してください。

EPCW-01011: 同一の項目名があります。

原因: ユーザーが追加しようとした項目は、名前が一意ではありません。項目名は製品内で一意である必要があります。

処置: 別の項目名を使用してください。

EPCW-01012: 同一のイベント名があります。

原因: ユーザーが追加しようとしたイベントは、イベント名が一意ではありません。イベント名は製品内で一意である必要があります。

処置: 別のイベント名を使用してください。

EPCW-01013: 同一のイベント・セット名があります。

原因: ユーザーが追加しようとしたイベント・セットは、名前が一意ではありません。イベント・セット名は、製品内で一意である必要があります。

処置: 別のイベント・セット名を設定してください。

EPCW-01014: イベントに項目が含まれていません。

原因: ユーザーが作成または編集しようとしたイベントには、項目が含まれていません。イベントには、少なくとも1つの項目が必要です。

処置: イベントに項目を追加してください。

EPCW-01015: イベント・セットにイベントが含まれていません。

原因: ユーザーが作成または編集しようとしたイベント・セットには、イベントが含まれていません。イベント・セットには、少なくとも1つのイベントが必要です。

処置: イベント・セットにイベントを追加してください。

EPCW-01016: 製品の定義には、保存の前に少なくとも1つのイベントが含まれていなければなりません。

原因: イベントが含まれていない製品定義ファイルを保存しようとしてしました。

処置: 製品定義を保存する前に、少なくとも1つのイベントを追加してください。

EPCW-01017: イベント・セット・ファイル *string* は、イベント・セット *string* 用にすでに存在しています。 *string*

原因: イベント・セット・ファイルはすでに存在しています。Oracle Trace では、イベント・セット・ファイルの上書きはできません。

処置: イベント・セット・ファイルのパスを変更して新しいファイルにイベント・セットを保存するか、既存のイベント・セット・ファイルを削除してください。

EPCW-01018: サービスに接続できません。ユーザー名とパスワードが正しいことを確認してください。

原因: 指定されたユーザー名とパスワードでは、サーバーに接続できませんでした。

処置: ユーザー名とパスワードがサーバーに対して正しいことを確認し、再試行してください。

EPCW-01019: 製品 *string* の製品定義ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。必要なすべてのイベント・セットが見つかりません。

原因: 製品作成または編集中に、.fdf ファイルを読み込もうとしてエラーが発生しました。

処置: 編集中のファイルの1つが、ALL クラスを含むことを確認してください。

EPCW-01020: 製品 *string* (ファイル *string* 内) には、ファイル *string* のすべてのイベント・セットに存在しないイベントが含まれています。

原因: 複数の .fdf ファイルが読み込まれ、ALL クラスから失われたイベントを1つのファイルが参照しています。

処置: ALL クラスを含む .fdf ファイルが、読み込まれている .fdf ファイルと一致していることを確認してください。

EPCW-01021: イベント名 '*string*' が無効です。イベント名には 1 ~ 15 文字の英数字が含まれていなければなりません。

原因: イベントを追加しようとしたますが、イベント名が無効です。イベント名には、a ~ z と 0 ~ 9 の英数字をどのように組み合わせても使用できます。最大 15 文字までです。

処置: 有効なイベント名を入力してください。

EPCW-01022: 項目名 '*string*' が無効です。項目名には 1 ~ 15 文字の英数字が含まれていなければなりません。

原因: 項目を追加しようとしたますが、項目名が無効です。項目名には、a ~ z と 0 ~ 9 の英数字をどのように組み合わせても使用できます。最大 15 文字までです。

処置: 有効な名前を入力してください。

4

Agent メッセージ

NMS-00000 ~ NMS-00050: Agent の構成および起動

NMS-00001: 警告: *string* が SNMP マスター・エージェントに接続できません。

原因: SNMP Master Agent は、サード・パーティ製 SNMP 監視コンソールとの通信に使用されます。指定サービスは、SNMP Master Agent に接続できませんでした。Oracle でサポートされるこのプラットフォームの SNMP Master Agent がインストールされていないか、あるいは起動されていません。このプラットフォームに固有のメッセージが続きます。

これは警告であり、Agent のコンソールとの通信を妨げません。Oracle Enterprise Manager がこの Agent にアクセスする唯一の監視コンソールである場合、NMS-00001 エラーは参考程度と考え、無視します。SNMP Master Agent の構成は、Oracle Enterprise Manager コンソールで必須ではありません。

処置: ご使用のプラットフォームの Oracle ドキュメントを参照し、適切な SNMP Master Agent がインストールおよび起動されていることを確認してください。Oracle Intelligent Agent が SNMP を介して Master Agent と通信できるようにするには、SNMP Master Agent および Oracle Intelligent Agent を適切に構成しておきます。

Oracle Intelligent Agent を構成する必要があります。7.3.2.x の Agent では、SNMP.ORA ファイルが必要でした。Oracle Intelligent Agent のその後のバージョンではすべて自動構成を行い、snmp.ora ファイルの作成は必要ありません。

解決策の説明

1. Oracle Intelligent Agent を構成する必要があります。7.3.2.x の Agent では、SNMP.ORA ファイルが必要でした。Oracle Intelligent Agent のその後のバージョンではすべて自動構成を行い、snmp.ora ファイルの作成は必要ありません。
2. SNMP Master Agent を構成および起動する必要があります。

SNMP Master Agent の構成

Oracle Intelligent Agent のインストール後、一般的な UNIX プラットフォームでは次のタスクを実行してください。詳細は、『Oracle SNMP サポート・リファレンスガイド』およびご使用のプラットフォーム固有のインストールまたは構成ガイドを参照してください。

次のファイルを検証します。

- \$ORACLE_HOME/network/snmp/peer/CONFIG.master
 - \$ORACLE_HOME/network/snmp/peer/CONFIG.encap
 - \$ORACLE_HOME/network/snmp/peer/start_peer
 - /etc/snmpd.config (プラットフォームによっては snmpd.conf の場合もあります。)
1. PEER MASTER AGENT ファイルを編集します。(CONFIG.master)
\$ORACLE_HOME/network/snmp/peer/CONFIG.master ファイルを編集します。

"MANAGER" で始まる行を検索し、この行の IP アドレス・コードを変更して SNMP トラップが送信されたマシンの IP アドレスと一致させます。

2. PEER Encapsulator ファイルを編集します。(CONFIG.encap)

\$ORACLE_HOME/network/snmp/peer/CONFIG.encap ファイルを編集します。

"AGENT AT PORT" の行を検索します。通常は、"AGENT AT PORT 1161 WITH COMMUNITY public" です。ポート番号を 1161 から別の番号に変更する場合は、start_peer スクリプトも変更する必要があります。

3. start_peer スクリプトを編集します。(start_peer)

"NEW_SNMPD_PORT=" の行を検索し、前述した番号と同じポート番号が CONFIG.encap ファイルで使用されていることを確認します。"NEW_TRAPD_PORT=" の行を検索し、ポート番号が "NEW_SNMPD_PORT=" のポート番号と異なることを確認します。

例:

```
NEW_SNMPD_PORT=1161
NEW_TRAPD_PORT=1162
```

4. /etc/snmpd.config ファイルを編集します。(snmpd.config)

ファイルに次の行を追加します。

```
trap <hostname or ipaddress>
```

注意: 山カッコ内の情報を、実際のホスト名またはファイルの置かれているローカル・ホストの IP アドレスに置き換えてください。

SNMP Agent の起動

1. SNMP コンポーネントが実行されていないことを確認してください。主要コンポーネントは、master_peer、encap_peer および snmpd です。これらのプロセスのいずれかが実行されている場合、ps および kill を使用してプロセスを終了させます。

2. PEER Master Agent、PEER Encapsulator およびシステム固有の SNMP Agent を起動します。

```
cd $ORACLE_HOME/network/snmp/peer
su root          ( logon as root          )
./start_peer -a  ( ./ means to execute in that directory)
```

3つのプロセスとも、このコマンドで起動する必要があります。ps コマンドで、3つのプロセスが起動したかどうかを判断します。

```
ps -aux |grep peer
ps -aux |grep snmpd
```

SNMP Agent の詳細

start_peer スクリプトにより、dbsnmp 以外の Agent がすべて起動します。Master Agent は、SNMP の特権ポートを使用し、ルートとして実行される必要があります。

オリジナルの snmpd は、システム・ブート時に起動され、/etc/services ファイルで定義された 161 および 162 のポートを使用します。

トラブルシューティング

Master Agent が起動しない場合、\$ORACLE_HOME/network/peer ディレクトリの master_peer.out ファイルを確認してください。

プロセスの強制終了から実際にプロセスが終了するまで数分かかることがあります。しばらく待つてから、Agent を再起動してください。

NMS-00002: string が snmp.ora パラメータのメモリーの割当てに失敗しました。

原因: 指定サービスは、snmp.ora パラメータをすべて保持するのに十分なメモリーを割り当てることができませんでした。パラメータが大きすぎることも考えられますが、システム・エラーを示している場合がほとんどです。

処置: システム構成を確認し、可能であれば実行中のプロセス数を減らします。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターにご報告ください。

NMS-00003: string が snmp.ora ファイルを検出できなかったか、または snmp.ora ファイルが壊れています。

原因: snmp.ora ファイルは、指定のサービスからオープンおよび読み込みできませんでした。このファイルの場所はプラットフォームによって異なりますが、通常は他の Oracle Net Services パラメータ・ファイルと同じディレクトリ内にあるはずですが、問題が特定のパラメータまで追跡可能な場合は、詳細なエラー・メッセージがこの後に続きます。

処置: ご使用のプラットフォームのドキュメントを参照し、適切な場所にファイルを作成してプログラムを再起動してください。

NMS-00004: string が MIB または MIB 列を登録できませんでした。

原因: 指定サービスでは、MIB または MIB 列を Master Agent に登録できませんでした。プラットフォーム固有の詳細メッセージが続きます。

処置: ご使用のプラットフォームの SNMP ドキュメントを参照してください。メッセージに、他のプログラムですでに MIB または MIB 列が登録されたことが示されている場合、プログラムを終了して再試行することも可能です。

サーバーの /etc/snmpd.conf で次の設定をすることもできます。

```
smux 0.0 "" <ipaddress of server>
```

それでも NMS-00004 エラーが解決しない場合は、次のパラメータを `snmpd.conf` ファイルに指定し、ログを取得してください。

```
logging file=/usr/tmp/snmpd.log enabled
```

詳細は、ログ・ファイルを確認してください。

NMS-00005: `snmp.ora` の `snmp.visibleServices` パラメータがないか、または空です。

原因: `snmp.ora` ファイルに構成済の `snmp.visibleServices` パラメータが含まれていないか、あるいは `snmp.ora` ファイルが空です。

処置: `snmp.ora` ファイルを編集または作成し、再実行してください。

NMS-00006: 必須パラメータ `string` が `snmp.ora` にありません。

原因: `snmp.ora` ファイルに、指定パラメータが含まれていませんでした。このパラメータが必要です。このエラーは通常、`snmp.visibleServices` で示されたサービスの 1 つで、このパラメータ等詳細パラメータを 1 つ以上必要としたために発生します。

処置: パラメータを含むように `snmp.ora` ファイルを編集し、Agent を再起動してください。

NMS-00007: `string` はメモリーの割当てに失敗しました。

原因: 指定サービスでは、メモリーを割り当てられませんでした。

処置: システム構成を確認し、可能であれば実行中のプロセス数を減らします。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターにご報告ください。

NMS-00008: 環境変数 `string` は設定されていません。

原因: 指定環境変数が見つかりません。

処置: この環境変数を Agent で使用可能にしてください。

NMS-00051 ~ NMS-00055: Agent ロギング・メッセージ

NMS-00051: *string* がマスター・エージェントへ正常に接続しました。

原因: サブエージェントは、マスター・エージェントへの接続に成功しました。

処置: なし。このメッセージはエラーを示すわけではありません。

NMS-00052: マスター・エージェントから正常に切り離しました。

原因: サブエージェントは、マスター・エージェントからのログオフに成功しました。通常、停止プロセスの一部です。

処置: なし。このメッセージはエラーを示すわけではありません。

NMS-00053: すべての MIB を正常に登録しました。

原因: サブエージェントでは、MIB または MIB 列の登録を完了しました。

処置: なし。このメッセージはエラーを示すわけではありません。

NMS-00054: すべての MIB を正常に登録解除しました。

原因: サブエージェントでは、MIB または MIB 列の登録解除を完了しました。通常、停止プロセスの一部です。

処置: なし。このメッセージはエラーを示すわけではありません。

NMS-00055: オプションのパラメータ *string* が *snmp.ora* にありません。デフォルトを使用します。

原因: オプションの *snmp.ora* ファイルに、指定パラメータが含まれていませんでした。サービスでは、かわりにパラメータのデフォルト値を使用しました。

処置: デフォルト以外の値を使用する場合は、*snmp.ora* ファイルを編集または作成して再試行してください。

NMS-00200 ~ NMS-00250: データベース・サブエージェント

NMS-00202: データベースへの接続が失敗しました。

原因: データベース・サブエージェントは、データベースに接続できませんでした。詳細エラー・メッセージが続きます。

処置: エラー・メッセージの詳細は、『Oracle9i データベース・エラー・メッセージ』を参照してください。

NMS-00203: エラー *string* がデータベースから *string* を切断中に発生しました。

原因: データベース・サブエージェントは、データベースに接続できませんでした。特定のエラー番号およびテキスト・メッセージを受け取りました。詳細エラー・メッセージが続きます。

処置: エラー・メッセージの詳細は、『Oracle9i データベース・エラー・メッセージ』を参照してください。

NMS-00204: アドレス *string* でリスニングに失敗しました。

原因: データベース・サブエージェントは、おそらく他のデータベース・エージェントがアドレスを要求しているため、指定 TNS アドレスでリスニングできませんでした。他に有効な情報がある場合は、このエラーの下に表示されます。

処置: 他のデータベース・エージェントをすでに実行している場合、このエージェントの実行を続けるか、あるいは停止して再試行します。

NMS-00205: データベース *string* にエージェント・ユーザー *string* として接続できませんでした。

原因: DBSNMP アカウントが作成されていないか、DBSNMP アカウントのパスワードを変更後、その情報が snmp-rw.ora に反映されていない場合に発生します。

処置: DBSNMP アカウントが作成されているか確認し、作成されていない場合 SYS アカウントで CATSNMP.SQL を実行し作成します。DBSNMP アカウントのパスワードが変更されている場合は、snmp-rw.ora に次のパラメータが指定されているか確認します。

```
SNMP.CONNECT.<service_name>.PASSWORD=<password>
```

SYS アカウントで CATSNMP.SQL を実行できます。CATSNMP.SQL スクリプトは、SNMP.ORA の SNMP.VISIBLESERVICES パラメータに示されているすべてのデータベースに対して実行する必要があります。

Intelligent Agent を起動する際、プロセスでは SNMP.ORA ファイルを読み込み、初期化パラメータを取得します。プロセスでは、SNMP.ORA ファイルの SNMP.VISIBLESERVICES 行に示されている各データベース別名に、DBSNMP/DBSNMP としてログインを試行します。CATSNMP.SQL スクリプトで DBSNMP アカウントを作成するため、このスクリプトは Intelligent Agent プロセスを開始する前に実行する必要があります。

スクリプトを実行するには、サーバーで SQL*PLUS を使用します。

```
SQLPLUS> connect SYS/CHANGE_ON_INSTALL AS SYSDBA
SQLPLUS> @catsnmp
```

SNMP.ORA ファイルで参照されている各データベースについて、このプロセスを繰り返します。

次に、Intelligent Agent プロセスを開始します。

```
agentctl start agent
```

NMS-00206: データベース *string* からのキャラクタ・セット情報の取出しに失敗しました。

原因: キャラクタ・セット情報が使用できません。

処置: nls_database_parameters 表が存在するかどうかを確認してください。

NMS-00250 ~ NMS-00275: サブエージェント・ロギング・メッセージ

NMS-00250: データベース・サブエージェントが起動しています。

原因: データベース・サブエージェントの起動に成功しました。

処置: なし。このメッセージは情報を提供するのみで、エラーを示すわけではありません。

NMS-00251: データベース・サブエージェントが停止プロセスを開始します。

原因: データベース・サブエージェントでは停止コマンドを受け取り、その処理を開始しています。

処置: なし。このメッセージは情報を提供するのみで、エラーを示すわけではありません。

NMS-00252: データベース・サブエージェントは現在停止処理中です。

原因: 停止プロセスが完了しました。これは、最後のメッセージ出力です。

処置: なし。このメッセージは情報を提供するのみで、エラーを示すわけではありません。

NMS-00253: データベース *string* へ正常に接続しました。

原因: サブエージェントは、指定データベースへのログインに成功しました。このメッセージは、データベースが停止後、再度開始された場合にも表示される場合があります。

処置: なし。このメッセージは情報を提供するのみで、エラーを示すわけではありません。

NMS-00254: データベース *string* から正常に切り離しました。

原因: サブエージェントは、指定データベースからのログオフに成功しました。通常、停止プロセスの一部です。

処置: なし。このメッセージは情報を提供するのみで、エラーを示すわけではありません。

NMS-00255: データベース *string* に到達できなくなりました。トラップが送信されました。

原因: 指定データベースへのアクセスが不能になり、サブエージェントでは SNMP トラップを送信しました。データベースが故意に停止された場合もあるため、必ずしも問題があるとはかぎりません (サブエージェントでは、アクセス不能になった原因の判別ができません)。トラップの宛先は、通常マスター・エージェント構成の一部として設定されます。

処置: 故意に停止された場合以外については、『Oracle9i データベース・エラー・メッセージ』を参照してください。トラップが管理局で受け取られない場合、ご使用のプラットフォームの SNMP ドキュメントを参照し、管理マシンのアドレスがマスター・エージェントに対して適切に構成されていることを確認してください。

NMS-00301 ~ NMS-00350: Agent 操作メッセージ

NMS-00301: MIB ファイルの初期化に失敗しました。

原因: SNMP MIB を説明するテキスト・ファイルが適切な場所に見つかりませんでした。

処置: Agent のインストールを確認し、適切なファイルをインストールしてください。

NMS-00302: ユーザー待ち行列の初期化に失敗しました。

原因: Agent が、ユーザーに関するデータを保有するファイルを初期化できませんでした。続くメッセージに詳細が示される場合もあります。

処置: 解決策が見つからない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡して、状況およびエラーに関する一連のメッセージをお知らせください。

NMS-00303: イベント登録待ち行列の初期化に失敗しました。

原因: Agent が、イベント登録に関するデータを保有するファイルを初期化できませんでした。続くメッセージに詳細が示される場合もあります。

処置: 解決策が見つからない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡して、状況およびエラーに関する一連のメッセージをお知らせください。

NMS-00304: ジョブ待ち行列の初期化に失敗しました。

原因: Agent が、ジョブに関するデータを保有するファイルを初期化できませんでした。続くメッセージに詳細が示される場合もあります。

処置: 解決策が見つからない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡して、状況およびエラーに関する一連のメッセージをお知らせください。

NMS-00305: イベント出現の待ち行列の初期化に失敗しました。

原因: Agent が、イベント発生に関するデータを保有するファイルを初期化できませんでした。続くメッセージに詳細が示される場合もあります。

処置: 解決策が見つからない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡して、状況およびエラーに関する一連のメッセージをお知らせください。

NMS-00306: ジョブ・ステータス待ち行列の初期化に失敗しました。

原因: Agent が、ジョブ・ステータスに関するデータを保有するファイルを初期化できませんでした。続くメッセージに詳細が示される場合もあります。

処置: 解決策が見つからない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡して、状況およびエラーに関する一連のメッセージをお知らせください。

NMS-00307: RPC レイヤーの初期化に失敗しました。

原因: リモート・プロシージャ・コール・レイヤーを初期化できませんでした。続くメッセージに詳細が示される場合もあります。

処置: 解決策が見つからない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡して、状況およびエラーに関する一連のメッセージをお知らせください。

NMS-00308: アドレスのリスニングに失敗しました:別のエージェントが実行されている可能性があります。

原因: Agent の接続キャッシュを初期化できませんでした。このメッセージは通常、他の Agent が実行されている場合に表示されます。コピーは一度に1回だけ実行できません。

処置: 他の Agent を実行中の場合は、当該 Agent を実行する前に停止してください。

NMS-00309: 内部アドレスの初期化に失敗しました。

原因: Agent の内部 RPC アドレスを初期化できませんでした。別の Agent がすでに実行されていることが原因と考えられます。

処置: Agent を実行中の場合、Agent を停止した後、再試行してください。

NMS-00310: 補助アドレスの初期化に失敗しました。

原因: Agent のファイル転送 RPC アドレスを初期化できませんでした。別の Agent がすでに実行されていることが原因と考えられます。

処置: Agent を実行中の場合、Agent を停止した後、再試行してください。

NMS-00311: 言語 ID の初期化に失敗しました。

原因: Agent の言語 ID を初期化できませんでした。

処置: Agent の言語 ID 環境変数が正しいことを確認してください。

NMS-00312: ファイル *string* のオープンのエラー。

原因: Agent が、指定ファイルをオープンできませんでした。

処置: 当該ディレクトリが存在し、Agent にディレクトリに対する必要な書込み権限があることを確認してください。

NMS-00313: ディレクトリ *string* にアクセスできません。

原因: Agent が、指定ディレクトリにアクセスできなかったか、あるいはディレクトリが存在しません。

処置: 当該ディレクトリが存在し、Agent にディレクトリに対する必要な書込み権限があることを確認してください。

NMS-00314: snmp.ora に dbsnmp.spawnaddress パラメータがありません。

原因: dbsnmp.spawnaddress パラメータは、7.3.2.1 以上のリリースで必須です。dbsnmp.address とは異なるアドレスとし、ファイル転送および Oracle Software Manager で使用されます。

処置: snmp.ora に dbsnmp.spawnaddress パラメータを追加してください。

NMS-00315: Tcl パッケージ索引の作成に失敗しました。

原因: tcl パッケージ索引を作成できませんでした。

処置: \$ORACLE_HOME/network/agent/library ディレクトリ内のすべての共有ライブラリが適切であることを確認してください。

NMS-00316: Init.tcl の初期化に失敗しました。

原因: init.tcl ファイルを初期化できませんでした。

処置: \$ORACLE_HOME/network/agent/tcl にある init.tcl のバージョンが正しいことを確認してください。

NMS-00351 ~ NMS-00360: Agent ファイルの暗号化

NMS-00351: 指定した暗号キーは、暗号ファイルで使用されているキーではありません。

原因: 起動時にキーが与えられた場合、このキーは前回使用したキーとは一致しません。起動時にキーが与えられていない場合、ファイルは非デフォルト・キーで暗号化され、そのキーは提供される必要があります。キーは隠されていないため、Oracle ではこのキーをリカバリする方法がありません。

処置: キーを覚えておくことができない場合、後でキーを確認するためにファイルを保存する必要があります。

NMS-00352: パスワードは見つからないか、読めません。

原因: "password_file=" 引数がコマンドラインに入力されており、指定ファイルが見つからなかったか、読み込みできなかったか、あるいはテキスト行を含んでいなかった場合、起動時にこのメッセージが表示されます。(セキュリティ上の理由により、パスワード・ファイル名はエコーされません。)

処置: 適切なファイル名を入力し、そのファイルに少なくとも 6 文字のテキスト行が、最低 1 行含まれていることを確認してください。

NMS-00355: パスワードは、6 文字以上指定してください。

原因: ユーザーの入力したキーは短すぎます。メッセージ 00352 を参照してください。

処置: 6 ~ 8 文字で入力してください。

NMS-00361 ~ NMS-00370: 任意形の実行可能イベント

NMS-00361: oemevent の起動時の引数が不十分でした。

原因: oemevent をコールする引数が少なすぎます。

処置: oemevent は、次のようにコールされる必要があります。

```
oemevent eventname object severity message [result...]
```

ここで

eventname は、正当な Oracle Enterprise Manager イベント名です。

object は、イベントで適用するサービスまたはリソース名です。

severity は、alert、warning または clear のいずれかです。

message は、Oracle Enterprise Manager コンソールへ送られるエラー・メッセージのテキストです。

result は、イベントの結果として返される 0 文字以上の *string* です。

NMS-00362: イベント名が有効ではありません。

原因: oemevent に渡された最初の引数が、有効な Oracle Enterprise Manager イベント名ではありません。

処置: 有効な Oracle Enterprise Manager イベント名で oemevent を起動してください。

NMS-00363: 重大レベルが有効ではありません。

原因: oemevent に渡された 3 番目の引数が、有効な Oracle Enterprise Manager イベント重大度レベル (alert、warning または clear) ではありません。

処置: 有効な Oracle Enterprise Manager イベント重大度レベルで oemevent を起動してください。

NMS-00364: oemevent がエージェントとの連絡に失敗しました。

原因: oemevent は、エージェント・プロセスとの接続を確立できませんでした。

処置: エージェント・プロセスが実行中であり、プロセスで接続を受け入れ、snmp.ora ファイルのエージェント・アドレスが正しいことを確認してください。

NMS-00365: エージェントに対する ReportEvent RPC が失敗しました。

原因: oemevent は、エージェント・プロセスに ReportEvent RPC を送信できませんでした。

処置: Agent が起動されていることを確認してください。oemevent を再試行してください。

NMS-00600 ~ NMS-00799: ジョブおよびイベント

これらのメッセージは、ユーザーによるジョブの実行、またはイベントの登録時にコンソールに返されます。

NMS-00600: 引数は足りないか、正しくありません。

原因: 事前定義のイベントまたはジョブが、必要数よりも少ない引数、あるいは間違っただ引数で起動されました。

処置: ドキュメントを確認して、再試行してください。問題が解決しない場合は、インストールした Agent とコンソールのバージョンが一致することを確認してください。

NMS-00900 ~ NMS-00999: Agent ロギング・メッセージ

これらのメッセージは、Agent ログ・ファイルにのみ表示され、必ずしもエラーを示すものではありません。

NMS-00900: 登録されたイベント *string* (*string* 用、*string* 上) ; *id= string*

原因: Agent では、サービスのユーザーに指定イベントを登録しました。イベントの内部 ID 番号、ユーザーおよびサービスがメッセージに表示されます。

処置: なし。

NMS-00901: イベント *string* は、既存の登録と重複しているので、拒否されました。

原因: 既存の登録と同一であるため、登録が拒否されました。

処置: なし。

NMS-00902: イベント登録 (*id string*) を取り消しています。

原因: Agent では、イベント登録を取り消そうとしています。

処置: なし。

NMS-00903: イベント *string* から *string* への状態変化を行いました。

原因: Agent は、指定ユーザーが登録したイベントの発生レポートを転送しました。

処置: なし。

NMS-00904: ジョブ *string* は期限切れです。

原因: 指定ジョブ番号のスケジュールが無効になりました。

処置: なし。

NMS-00905: ジョブ *string* を実行しています。

原因: 指定ジョブ番号が、Agent により実行中です。

処置: なし。

NMS-00906: ジョブ *string* を取り消しています。

原因: コンソール要求により、指定ジョブを取消中です。

処置: なし。

NMS-00907: ジョブ *string* (イベント *string* 用) を実行しています。

原因: イベントが発生したため、指定の修正ジョブが実行中です。

処置: なし。

NMS-00908: 正常にシャットダウンします。

原因: stop コマンドを agentctl から受け取りました。

処置: なし。

NMS-00909: 共有プロセスを再起動しています。

原因: Worker プロセスでは、タイムアウト周期に Comm プロセスからの応答を検知できず、再起動しました。これは、エラーを示している場合もあります。このエラーが繰り返し発生する場合、コンソールとの通信上の問題を示していると考えられます。

処置: トレースを実行している場合は、Comm プロセスのトレース・ファイルを検証してください。トレースを実行しておらず、エラーが繰り返し発生する場合、Agent を停止してトレースを実行し、再起動してください。

NMS-00910: ジョブ *string* は、*string* 用に *string* のスケジュールでスケジュールされています。(id= *string*)

原因: 指定ジョブのスケジュール要求をコンソールから受け取り、ジョブがスケジュールされました。内部 ID 番号がメッセージに表示されます。

処置: なし。

NMS-00911: ジョブ *string* (ユーザー *string*) を取り消しています。

原因: 指定ジョブ番号が、コンソールにより取り消されました。

処置: なし。

NMS-00912: ジョブ *string* のステータスをユーザー *string* に伝達しました。

原因: 完了ジョブのステータスが、コンソールに送られました。

処置: なし。

NMS-00913: ユーザー *string* は、アドレス *string*、言語 *string* で登録されました。(id= *string*)

原因: ユーザーが指定パラメータで登録されました。ユーザーの内部 ID もメッセージに表示されます。

処置: なし。

NMS-00914: ジョブ *string* は成功しました。

原因: 指定ジョブ番号が実行され、正常に実行されたことがレポートされました。

処置: なし。

NMS-00915: ジョブは、エラー・コード = *string* で失敗しました。

原因: 示されているエラー・コードで、指定のジョブ ID が失敗しました。コンソールに完全な出力が返されます。

処置: なし。

NMS-00916: *string* のファイル転送要求 (*string* から)

原因: 指定アドレスから、指定ファイルがフェッチされました。

処置: なし。

NMS-01000 ~ NMS-01099: Agent エラー・メッセージ

これらのエラー・メッセージはコンソールに表示されます。ソフトウェアの問題を示している場合もありますが、そうでない場合もあります。場合によっては、ユーザーの処理によって問題を解決できます。

NMS-01001: イベント・ファイルが存在しません。

原因: イベントを実装する .tcl ファイルが Agent に存在しないため、指定イベントを登録できませんでした。

処置: Agent のインストールを確認し、必要な場合、適切なバージョンを再インストールしてください。

NMS-01002: サービス名は無効です。

原因: イベント登録時に、Agent が監視しないデータベースあるいはサービス名が指定されました。

処置: コンソールでファイル構成を、Agent で snmp.ora ファイルを確認してください。

NMS-01003: ユーザー・データの検索に失敗しました。

原因: イベントで、Agent に登録されていないユーザーが指定されました。おそらく、ユーザー登録ファイルが不注意により削除されたと考えられます。

処置: コンソールからログオフし、再度ログインすると問題を解決できる場合があります。

NMS-01004: ユーザー言語は無効です。

原因: イベント登録で、ユーザーに登録された言語 *string* が無効でした。言語は、コンソール上の NLS_LANG 環境変数によります。

処置: NLS_LANG 環境変数の設定を確認してください。必要な場合、設定を修正し、コンソールからログオフした後、再度ログインしてください。

NMS-01005: イベント・スクリプト *string* の評価に失敗しました。

原因: 指定イベントの Tcl スクリプトの評価に失敗しました。Tcl で見つかった固有のエラーがコンソールに返されます。不適切な引数がイベントに渡されたか、あるいは、事前定義イベントを実行する Agent 許可を認める `catsnmp.sql` スクリプトが実行されていないと考えられます。

処置: コンソールに返された結果を確認してください。必要な場合、Tcl スクリプトを修正してください。

NMS-01006: ジョブ・ファイル *string* は存在していません。

原因: ジョブを実装する .tcl ファイルが Agent に存在しないため、指定ジョブを登録できませんでした。

処置: Agent のインストールを確認し、必要な場合、適切なバージョンをインストールしてください。

NMS-01007: 指定したイベント・パラメータの条件を満たすセグメントがありません。

原因: データベースに指定セグメントが見つかりませんでした。

処置: SQL 文、特にジョブあるいはイベントのパラメータが正しいことを確認してください。

NMS-01008: パラメータが存在しません。

原因: V\$SYSSTAT 表に指定パラメータが見つかりませんでした。

処置: SQL 文、特にジョブあるいはイベントのパラメータが正しいことを確認してください。

NMS-01009: ユーザー定義プログラムの実行に失敗しました。

原因: 指定のユーザー定義プログラムを Agent 上で実行できませんでした。

処置: 当該ユーザー定義プログラムが存在し、Agent で実行可能であることを確認してください。

NMS-01010: svrmgrl または sqldba は存在していません。

原因: ユーザー定義プログラムが存在しないか、あるいは Agent でそのプログラムを実行できません。コンソールと Agent との同期が取れていない場合もあります。

処置: Agent で svrmgrl あるいは sqldba が起動可能であることを確認してください。コンソールのナビゲータ画面から、特定ノードを削除し、ジョブの再検出および再発行を試行してください。

NMS-01011: 日付書式は無効です。

原因: 日付書式が、mm/dd/yy の書式ではありません。

処置: 日付書式を修正してください。

NMS-01012: データベースは NOARCHIVELOG モードで稼働しています。したがって、このイベントは実行されません。

原因: データベースは NOARCHIVELOG モードです。

処置: データベース・アーカイブ・ログ・モードをオンに変更してください。

NMS-01013: sqlplus は存在しません。

原因: 実行可能な sqlplus が存在しません。

処置: Agent を起動したユーザーで sqldba が起動可能であることを確認してください。

NMS-01014: 表領域が存在しないか、または使用可能エクステンツがありません。

原因: 指定の表領域に空き領域拡張が見つかりませんでした。

処置: SQL 文を確認し、必要な場合、イベントまたはジョブのパラメータを修正してください。

NMS-01015: Select 文が予期通りの行を戻しませんでした。

原因: SQL 文で行が返されませんでした。

処置: SQL 文を確認してください。

NMS-01016: DML_LOCKS は 0 (ゼロ) に設定されています。したがって、このイベントは実行されません。

原因: DML_LOCKS が 0 です。

処置: SQL 文を確認してください。

NMS-01017: 自動アーカイブは使用禁止になっています。したがって、このイベントは実行されません。

原因: LOG_ARCHIVE_START が FALSE です。

処置: SQL 文を確認してください。

NMS-01018: ビュー sys.dba_blockers は存在しません。catblock.sql が実行されたことを確認してください。

原因: VIEW SYS.DBA_BLOCKERS が存在しません。

処置: \$ORACLE_HOME/sysman/admin/smptsixx.sql が実行されていることを検証してください。

NMS-01019: 索引 string.string のパーティションが見つかりません。

原因: 特定の索引パーティションに関連付けられた索引パーティションが見つかりませんでした。

処置: SQL 文を確認してください。

NMS-01020: 表領域が存在しないか、またはそのデータ・ファイルの1つ以上で自動エクステン트가使用可能に定義されています。

原因: 表領域が存在しないか、あるいはデータファイルの少なくとも1つが自動拡張可能で定義されています。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

NMS-01075: getcpuutil に失敗しました。

原因: getcpuutil のコールが、予期せず失敗しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

NMS-01076: getpaging に失敗しました。

原因: getpaging のコールが、予期せず失敗しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

NMS-01077: ディスク名が無効です。

原因: イベント登録時に、"*"などの無効なディスク名が指定されました。

処置: イベントに対して、明示的ディスク名が指定されていることを確認してください。

NMS-01078: diskusage に失敗しました。

原因: diskusage のコールが、予期せず失敗しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

NMS-01079: getlsnrstatus に失敗しました。

原因: getlsnrstatus のコールが、予期せず失敗しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

NMS-01080: ORA-01578 には string 個ありました。

原因: 予想よりも多くの番号がエラー・メッセージに検出されました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

NMS-01081: 期間が0(ゼロ)以下です。

原因: 期間が0以下です。

処置: 期間が0より大きいことを確認してください。

NMS-01082: エージェントの SERVICES.ORA に、このサービスはありません。

原因: コンソールと Agent サービスとの同期が取れていません。

処置: ナビゲータ画面から Agent ノードを削除し、ノードを再検出してください。

NMS-01200 ~ NMS-01999: 内部 Agent エラー・メッセージ

NMS-01200: Failed to locate user *string*. Deleting an occurrence of event *string*.

原因: ファイルの同期が取れていません。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

NMS-01201: Could not create Tcl interpreter.

原因: イベント登録時に、Agent ではイベントを処理する Tcl インタプリタを作成できませんでした。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

NMS-05000 ~ NMS-05999: コンソールの Agent エラー

NMS-05001: ホット・バックアップを開始できません。

原因: Enterprise Manager 内からのバックアップ・ジョブの実行を試みた場合に、次のエラーが発生します。 "call to alter tablespace backup failed
NMS-5001 : unable to start Hot backup"

処置: データベースをアーカイブ・ログ・モードをオンに設定してください。アーカイブ・ログ・モードをオンに設定するには、次のようにします。

1. STARTUP MOUNT
2. ALTER DATABASE ARCHIVELOG
3. ALTER DATABASE OPEN
4. ARCHIVE LOG LIST
5. バックアップの続行

NMS-05002: オフライン・バックアップが進行中です。

原因: オフラインのバックアップが進行中です。

処置: オフライン・バックアップの詳細は、『Oracle9i Recovery Manager ユーザーズ・ガイド』を参照してください。

NMS-05003: 表領域がオフラインです。

原因: 表領域がオフラインです。

処置: オフライン・バックアップの詳細は、『Oracle9i Recovery Manager ユーザーズ・ガイド』を参照してください。

NMS-05004: ホット・バックアップを終了できません。

原因: SQL 文のコールが失敗しました。

処置: オンライン・バックアップの詳細は、『Oracle9i Recovery Manager ユーザーズ・ガイド』を参照してください。

NMS-05005: コールド・バックアップを開始できません。

原因: SQL 文のコールが失敗しました。

処置: オフライン・バックアップの詳細は、『Oracle9i Recovery Manager ユーザーズ・ガイド』を参照してください。

NMS-05006: オフライン・バックアップを実行しようとしています。

原因: オフライン・バックアップを実行しようとしています。

処置: オフライン・バックアップの詳細は、『Oracle9i Recovery Manager ユーザーズ・ガイド』を参照してください。

NMS-05007: コールド・バックアップを終了できません。

原因: SQL 文のコールが失敗しました。

処置: オフライン・バックアップの詳細は、『Oracle9i Recovery Manager ユーザーズ・ガイド』を参照してください。

NMS-05008: データベースが起動されていません。

原因: データベースが起動されていません。

処置: データベースの状態およびデータベースの起動や停止の詳細は、『Oracle9i データベース管理者ガイド』を参照してください。

NMS-05009: ログオンに失敗しました。

原因: ログインできません。

処置: 再度ログインを試行してください。

NMS-05010: データベースが実行中です - 停止してください。

原因: データベースが実行中であり、停止する必要があります。

処置: データベースの停止手順の詳細は、『Oracle9i データベース管理者ガイド』を参照してください。

NMS-05011: データベースは実行されていません - 起動してください。

原因: データベースを実行しておらず、起動する必要があります。

処置: データベースの起動手順の詳細は、『Oracle9i データベース管理者ガイド』を参照してください。

5

Oracle Management Object メッセージ

OMO-1000 ~ OMO-1999 のメッセージ

OMO-1001: オブジェクトはすでに初期化されています。

原因: すでに初期化されているオブジェクトに対して、create または edit 初期化メソッドをコールしようとした。

処置: 重複しているコールをすべて削除してください。

OMO-1002: データベースが設定されていませんでした。

原因: オブジェクトにデータベースを設定する前に、create、edit、drop のいずれかのメソッドがコールされました。

処置: コード内で前述のメソッドのいずれかがコールされる前に、メソッド setDatabase のコールを追加してください。

OMO-1003: データベースが接続されていませんでした。

原因: データベースが接続されていません。

処置: メソッド connect がコールされ、正しく接続されていることを確認してください。

OMO-1004: サーバー・オブジェクトの作成に失敗しました。

原因: 必要なオブジェクトを作成できませんでした。インストール内容が壊れている可能性があります。

処置: サンプルを実行し、インストール内容を検証してください。

OMO-1005: オブジェクトの名前が設定されていませんでした。

原因: オブジェクトの名前を設定する前に、オブジェクトを編集または削除しようとした。

処置: メソッド set name のコールを追加してください。

OMO-1006: オブジェクトが正しく初期化されていませんでした。

原因: 必要な初期化が行われていません。

処置: オブジェクトで特定のタスクを実行するための正しい初期化手順は、開発者ガイドまたはサンプルを参照してください。

OMO-1007: データベースはすでに接続されています。

原因: すでに接続されているデータベースに接続しようとした。

処置: データベースを切断し、再接続してください。

6

Oracle Data Collection Service メッセージ (第2層)

ODG-05001 ~ ODG-05843 のメッセージ

ODG-05001: エラー: データ・カートリッジのレジストリ・ファイルをオープンできません。

原因: カートリッジ・レジストリ・ファイル (svppcart.dat) を開こうとしてエラーが発生しました。

処置: \$ORACLE_HOME/network/agent のディレクトリにファイルが存在し、それに読み込みアクセス権があることを確認してください。

ODG-05002: エラー: データ・カートリッジのレジストリ・ファイルから行を読み込めません。

原因: カートリッジ・レジストリ・ファイル (svppcart.dat) から情報を読み込もうとしてエラーが発生しました。

処置: ファイルが存在し、読み込み可能であることを確認してください。

ODG-05003: エラー: メモリーの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05004: エラー: カートリッジのレジストリ・ファイルの行形式が正しくありません。

原因: カートリッジ・レジストリ・ファイルで、要求されたフォーマットに対応しないエントリが見つかりました。

処置: ファイル (\$ORACLE_HOME/network/agent/svppcart.dat) が、オリジナル・キットで提供されたものであることを確認してください。

ODG-05005: エラー: メモリーの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05006: エラー: メッセージ・カタログの初期化に失敗しました。

原因: メッセージ・カタログを開こうとした際にエラーが発生しました。このエラーには通常、補足情報が含まれます。

処置: 補足情報またはエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05007: エラー: メモリーの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05008: エラー: メモリーの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05009: エラー: データ・カートリッジ共有ライブラリをオープンできません。

原因: 収集カートリッジのコード・モジュールをロードしようとした際にエラーが発生しました。

処置: 要求されたファイルが存在し、それに読み込みおよび実行の権限があることを確認してください。

ODG-05010: エラー: データ・カートリッジ DLL をオープンできません。

原因: 収集カートリッジのコード・モジュールをロードしようとした際にエラーが発生しました。

処置: 要求されたファイルが存在し、それに読み込みおよび実行の権限があることを確認してください。

ODG-05011: エラー: メモリーの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05013: エラー: データ・コレクション・カートリッジ機能が見つかりません。

原因: Data Gatherer がコールしようとした関数を、収集カートリッジで実装していませんでした。

処置: 関数の多くはオプションであり、ほとんどの場合これは致命的なエラーではありません。致命的なエラーがある場合には、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05014: エラー: コレクション・カートリッジの呼出しに失敗しました。

原因: これは、1つの収集カートリッジ関数へのコールでエラーが返されたことを示す、一般的なエラー・メッセージです。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置: 他のエラーを確認してください。他のエラーがない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05016: エラー: ファイルをオープンできません。

原因: Data Gatherer ファイルをオープンしようとしてエラーが発生しました。

処置: ファイルおよびディレクトリが存在し、それらにアクセス可能であることを確認してください。

ODG-05017: エラー: ソケットの作成に失敗しました。

原因: ソケット (1808) をオープンしようとした際にエラーが発生しました。

処置: 他のプロセスでこのソケットが使用中でないことを確認し、操作を再試行してください。

ODG-05018: エラー: ソケット・オプションの設定に失敗しました。

原因: ソケット (1808) をオープンしようとした際にエラーが発生しました。

処置: 他のプロセスでこのソケットが使用中でないことを確認し、操作を再試行してください。

ODG-05019: エラー: ソケットのバインドに失敗しました。

原因: ソケット (1808) をオープンしようとした際にエラーが発生しました。

処置: 他のプロセスでこのソケットが使用中でないことを確認し、操作を再試行してください。

ODG-05020: エラー: ソケット名の取得に失敗しました。

原因: ソケット (1808) をオープンしようとした際にエラーが発生しました。

処置: 他のプロセスでこのソケットが使用中でないことを確認し、操作を再試行してください。

ODG-05021: エラー: ソケットのリスニングに失敗しました。

原因: ソケット (1808) をオープンしようとした際にエラーが発生しました。

処置: 他のプロセスでこのソケットが使用中でないことを確認し、操作を再試行してください。

ODG-05022: エラー: ソケットでのアクセプトに失敗しました。

原因: ソケット (1808) をオープンしようとした際にエラーが発生しました。

処置: 他のプロセスでこのソケットが使用中でないことを確認し、操作を再試行してください。

ODG-05023: エラー: 索引からのソケット記述子の取得に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05024: エラー: ソケット索引の削除に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05025: エラー: 索引からのソケット記述子の取得に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05026: エラー: ソケット索引の削除に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05027: エラー: ソケットへの書込みに失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05028: エラー: ソケット索引の削除に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05029: エラー: ソケットへの書込みができません。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05030: エラー: 索引からのソケット記述子の取得に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05031: エラー: ソケット索引の削除に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05032: エラー: ソケットでの選択に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05033: エラー: ソケット索引の削除に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05034: 警告: ソケットから読み取れません。

原因: クライアントがソケット接続を切断したことを示す警告です。

処置: 通常は無視できます。

ODG-05035: エラー: ソケット索引の削除に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05036: 警告: ソケットからの読み取りに失敗しました。

原因: クライアントがソケット接続を切断したことを示す警告です。

処置: 通常は無視できます。

ODG-05037: エラー: ソケット索引の削除に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05038: 警告: ソケットからの読み取りは 0 (ゼロ) バイトです。

原因: クライアントがソケット接続を切断したことを示す警告です。

処置: 通常は無視できます。

ODG-05039: エラー: ソケット索引の削除に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05040: エラー: ソケットからの読み取りが不完全です。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05041: エラー: ソケット索引の削除に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05042: エラー: 索引からのソケット記述子の取得に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05043: エラー: ソケット索引の削除に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05044: 警告: クライアントが見つかりません。

原因: クライアントがソケット接続を切断したことを示す警告です。

処置: 通常は無視できます。

ODG-05045: エラー: ソケット索引の削除に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05046: エラー: 索引からのソケット値の取得に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05047: エラー: 索引からのソケット値の変更に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05048: エラー: 索引からのソケット値の取得に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05049: エラー: 索引からのソケット値の取得に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05050: エラー: 新規クライアントの接続の待機に失敗しました。

原因: クライアントがソケット接続を切断したことを示す警告です。

処置: 通常は無視できます。

ODG-05051: エラー: 索引からのソケット値の変更に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05052: 警告: クライアント・スレッドが見つかりません。

原因: クライアントがソケット接続を切断したことを示す警告です。

処置: 通常は無視できます。

ODG-05053: エラー: ソケット索引の削除に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05054: エラー: 索引からのソケット値の取得に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05055: エラー: 索引からのソケット値の変更に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05056: エラー: セグメント化されたメッセージはサポートされません。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05057: エラー: ソケット索引の削除に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05058: エラー: メモリーの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05059: エラー: ソケット索引の削除に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05060: 警告: クライアントが見つかりません。

原因: クライアントがソケット接続を切断したことを示す警告です。

処置: 通常は無視できます。

ODG-05061: エラー: ソケット索引の削除に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05062: エラー: メッセージ長が無効です。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05063: エラー: ソケット索引の削除に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05064: エラー: ソケットからの読み込みができません。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05065: エラー: ソケット索引の削除に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05066: エラー：ソケットの作成に失敗しました。

原因：内部エラーが発生しました。

処置：操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05067: エラー：ローカル・ホストの取得に失敗しました。

原因：リカバリ中にローカル・ホスト名を取得しようとした際にエラーが発生しました。

処置：Data Gatherer はリカバリを行わずに実行できる可能性があります。ただし、履歴データ収集はリカバリできません。オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05068: エラー：ローカル DG への接続に失敗しました。

原因：リカバリ中にローカルの Data Gatherer に接続しようとした際に、エラーが発生しました。

処置：Data Gatherer はリカバリを行わずに実行できる可能性があります。ただし、履歴データ収集はリカバリできません。オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05069: エラー：ソケットのクローズに失敗しました。

原因：内部エラーが発生しました。

処置：操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05070: エラー：現在時間を取得できません。

原因：内部エラーが発生しました。

処置：操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05071: エラー：メモリーを割当てできません。

原因：実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置：操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05072: エラー：メモリーを割当てできません。

原因：実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置：操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05073: エラー: LPM の初期化に失敗しました。

原因: CORE ライブラリを初期化しようとした際に内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05074: エラー: クライアントのコールバック構造体の初期化に失敗しました。

原因: CORE ライブラリを初期化しようとした際に内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05075: エラー: NLS データ・ロードの初期化に失敗しました。

原因: NLS ライブラリを初期化しようとした際に内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05076: エラー: LSF 文字列の書式パッケージのロードに失敗しました。

原因: NLS ライブラリを初期化しようとした際に内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05077: エラー: LSF の初期化に失敗しました。

原因: NLS ライブラリを初期化しようとした際に内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05078: エラー: ORACLE_HOME が見つかりません。

原因: Data Gatherer が実行されている Oracle ホーム・ディレクトリを検索しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer が正しくインストールされており、Oracle ホーム・ディレクトリが存在しアクセス可能であることを確認してください。

ODG-05079: エラー: 作業ディレクトリの設定ができません。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05080: エラー: マルチスレッド用に初期化できません。

原因: Data Gatherer で使用されるスレッド化ライブラリを初期化しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05081: エラー: DG Mutex に対する初期化ができません。

原因: Data Gatherer で使用されるロック構造を取得しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05082: エラー: 環境変数のフェッチ・エラーです。

原因: 環境変数の値を取得しようとしてエラーが発生しました。

処置: Data Gatherer のインストールを検証し、環境変数があることを確認してください。

ODG-05083: エラー: リスニング用ポート/ソケットの割当てに失敗しました。

原因: ソケット (1808) をオープンしようとした際にエラーが発生しました。

処置: 他のプロセスでこのソケットが使用中でないことを確認し、操作を再実行してください。

ODG-05084: エラー: BB 構造体のメモリの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05085: エラー: DG カートリッジ情報の取得に失敗しました。

原因: Data Gatherer レジストリ (\$ORACLE_HOME/network/agent/svppcart.dat) から、収集カートリッジのための情報を読み込もうとした際に、エラーが発生しました。

処置: ファイルが存在しアクセス可能であることを確認してから、操作を再実行してください。

ODG-05086: 警告: メッセージ・カタログの初期化に失敗しました。

原因: 収集カートリッジのためのメッセージ・カタログを検索しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: メッセージ・カタログの実装に収集カートリッジは必要ないため、ほとんどの場合このエラーは無視できます。

ODG-05087: エラー: ローカル時間の取得に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05088: エラー: リカバリ・スレッドの作成に失敗しました。

原因: 履歴収集をリカバリするスレッドを作成しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer は、リカバリを行わずに使用できます。ただし、履歴収集はリカバリできません。オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05089: エラー: 新規クライアントの接続に失敗しました。

原因: クライアントがソケット接続を切断したことを示す警告です。

処置: 通常は無視できます。

ODG-05090: エラー: クライアント ID の割当てに失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05091: エラー: ソケット索引の取得に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05092: エラー: 最初のクライアント・メッセージをデコードできません。

原因: クライアント接続により Data Gatherer へ送られたデータを解釈しようとして、内部エラーが発生しました。

処置: クライアントが有効な Data Gatherer クライアントであれば、操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05093: エラー: スレッドのソケット索引の削除に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05094: エラー: CP ソケット索引の取得に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05095: エラー: 未使用のクライアント ID を削除できません。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05096: エラー: DG スレッドの作成に失敗しました。

原因: クライアント要求を処理するスレッドを作成しようとした際に、エラーが発生しました。これは、システム・リソースの消費が激しいため、あるいは Data Gatherer で使用可能なスレッドまたはソケットの制限に達したためかもしれません。

処置: 操作を再試行してください。

ODG-05097: エラー: DG Mutex の破棄に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05098: エラー: NLS データ・ロードの終了に失敗しました。

原因: NLS ライブラリを解放しようとした際に内部エラーが発生しました。

処置: 無視できます。

ODG-05099: エラー: コールバック構造体の解放に失敗しました。

原因: NLS ライブラリを解放しようとした際に内部エラーが発生しました。

処置: 無視できます。

ODG-05100: エラー: SLTS が正常に終了できません。

原因: スレッド化ライブラリを解放しようとした際に内部エラーが発生しました。

処置: 無視できます。

ODG-05101: エラー: CP ローダーが失敗しました。

原因: 履歴データをロードしようとした際にエラーが発生しました。このエラーには通常、失敗の性質を説明する詳細エラーが伴います。

処置: 解決方法は、詳細エラーで確認してください。

ODG-05104: エラー: 状態ファイルの LSFPPF が失敗しました。

原因: Data Gatherer 履歴データ・ローダーのためのリカバリ・ファイルを検索しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: \$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリが存在し、アクセス可能であることを確認してください。

ODG-05105: エラー: データ・ファイルのクローズに失敗しました。

原因: 履歴データのロード中にエラーが発生しました。ローダーはデータ・ファイルをクローズできませんでした。

処置: 無視できますが、ローダーではその時点で処理済のファイルを削除できないため、今後エラーが発生する可能性があります。

ODG-05106: エラー: 記憶領域の割当て / コピーに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05107: エラー: ローダー・データ・ファイルの名前の変更失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを改名しようとした際にエラーが発生しました。データ・ファイルは、Data Gatherer によるアクセスに対してクローズされるまで、処理できません。

処置: このエラーは通常、他の Data Gatherer エラーと同時に発生します。そのエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05108: エラー: データ・ファイルのオープンに失敗しました。

原因: Capacity Planner リポジトリにロードする履歴データ・ファイルをオープンしようとした際に、エラーが発生しました。

処置: ファイルが存在しアクセス可能であることを確認してから、他のエラーを調べてください。

ODG-05109: エラー: CP 状態ファイルの再編成に失敗しました。

原因: ターゲット (データベースまたはホスト) に何を収集するかについての情報を含むファイルを読み込もうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: このファイルが壊れているため、このターゲットに関する履歴データは収集されません。参照されているファイルを保存し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。Data Gatherer の使用を続行し、そのターゲットに関連付けられたファイル (ターゲット名を含むファイル) を \$ORACLE_HOME/network/agent/reco ディレクトリから削除して、代替の収集を設定できます。

ODG-05110: エラー: send_labels コマンドが失敗しました。

原因: 統計セットに関連するラベルを、リアルタイム・クライアントまたは履歴データ・ファイルのいずれかへ送ろうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05111: エラー: リカバリ・ディレクトリ内のデータ・ファイルの検索 / 取得に失敗しました。

原因: Data Gatherer の起動および履歴収集のリカバリ中に、履歴データ・ファイルを検索しようとしてエラーが発生しました。

処置: \$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリが存在し、アクセス可能であることを確認してください。

ODG-05112: エラー: ローダー・データ・ファイルのオープンに失敗しました。

原因: Data Gatherer の起動および履歴収集のリカバリ中に、履歴データ・ファイルを検索しようとしてエラーが発生しました。

処置: \$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリが存在し、アクセス可能であることを確認してください。

ODG-05113: エラー: CP ローダーが失敗しました。

原因: 履歴データをロードしようとした際にエラーが発生しました。このエラーには通常、失敗の性質を説明する詳細エラーが伴います。

処置: 解決方法は、詳細エラーで確認してください。

ODG-05114: エラー: ローダー・データ・ファイルのクローズに失敗しました。

原因: 処理済のローダー・ファイルをクローズしようとした際に、エラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、ファイル・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05115: エラー: ローダー・データ・ファイルの削除に失敗しました。

原因: 処理済のローダー・ファイルを削除しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、ファイル・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05116: エラー: ローダー・データ・ファイルのメモリの解放に失敗しました。

原因: 処理済のローダー・ファイルをクローズしようとした際に、エラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、ファイル・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05117: エラー: ローダー・ディレクトリのメモリの解放に失敗しました。

原因: 処理済のローダー・ファイルをクローズしようとした際に、エラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、ファイル・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05118: エラー: リカバリ・ディレクトリ内の状態ファイルの検索 / 使用に失敗しました。

原因: Data Gatherer の起動および履歴収集のリカバリ中に、履歴状態ファイルを検索しようとしてエラーが発生しました。

処置: \$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリが存在し、アクセス可能であることを確認してください。

ODG-05119: エラー: ローダー状態ファイルのオープンに失敗しました。

原因: Data Gatherer の起動および履歴収集のリカバリ中に、履歴状態ファイルを検索しようとしてエラーが発生しました。

処置: \$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリが存在し、アクセス可能であることを確認してください。

ODG-05120: エラー: 状態ファイルの再編成に失敗しました。

原因: ターゲット (データベースまたはホスト) に何を収集中かについての情報を含むファイルを読み込もうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: このファイルが壊れているため、このターゲットに関する履歴データは収集されません。参照されているファイルを保存し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。Data Gatherer の使用を続行し、そのターゲットに関連付けられたファイル (ターゲット名を含むファイル) を \$ORACLE_HOME/network/agent/reco ディレクトリから削除して、代替の収集を設定できます。

ODG-05121: エラー: 状態ファイルからリカバリ中に障害が発生しました。

原因: ターゲット (データベースまたはホスト) に何を収集中かについての情報を含むファイルを読み込もうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: このファイルが壊れているため、このターゲットに関する履歴データは収集されません。参照されているファイルを保存し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。Data Gatherer の使用を続行し、そのターゲットに関連付けられたファイル (ターゲット名を含むファイル) を \$ORACLE_HOME/network/agent/reco ディレクトリから削除して、代替の収集を設定できます。

ODG-05122: エラー: リカバリ・データ・ファイルのクローズに失敗しました。

原因: 処理済のローダー・ファイルをクローズしようとした際に、エラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、ファイル・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05123: エラー: リカバリ・データ・ファイルの削除に失敗しました。

原因: 処理済のローダー・ファイルを削除しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、ファイル・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05124: エラー: リカバリ・データ・ファイルのメモリの解放に失敗しました。

原因: 処理済のローダー・ファイルをクローズしようとした際に、エラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、ファイル・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05125: エラー : 状態ファイル・ディレクトリのメモリの解放に失敗しました。

原因: 処理済の状態ファイルをクローズしようとした際に、エラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、ファイル・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05126: エラー : vppdgth: dg.clmsg のメモリの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05127: エラー : vppdgth: dg.clmsg->msg のメモリの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05128: エラー : vppdgth: クライアント CONNECT_REQ のデコードに失敗しました。

原因: クライアント・アプリケーションによって送られた接続要求を解釈しようとして、内部エラーが発生しました。

処置: クライアント・アプリケーションが有効な Data Gatherer クライアントである場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05129: エラー : vppdgth: dg.clmsg->msg の記憶領域の解放に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05130: エラー : vppdgth: dg.clmsg の記憶領域の解放に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05131: エラー : vppdgth: CP ソケットのデコードに失敗しました。

原因: 履歴収集スレッドに対して試行された初期化接続を切断しようとして、エラーが発生しました。Capacity Planner クライアントは、Data Gatherer に接続できなくなります。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05132: エラー : vppdgth: CP ソケットのクローズに失敗しました。

原因: 履歴収集スレッドに対して試行された初期化接続を切断しようとして、エラーが発生しました。Capacity Planner クライアントは、Data Gatherer に接続できなくなります。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05133: エラー : vppdgth: 新規 CP ソケットのデコードに失敗しました。

原因: 履歴収集スレッドに対して試行された初期化接続を切断しようとして、エラーが発生しました。Capacity Planner クライアントは、Data Gatherer に接続できなくなります。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05134: エラー : vppdgth: 新規 CP クライアント接続に失敗しました。

原因: 履歴収集スレッドに対して試行された初期化接続を切断しようとして、エラーが発生しました。Capacity Planner クライアントは、Data Gatherer に接続できなくなります。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05135: エラー : vppdgth: CP ソケット値の変更に失敗しました。

原因: 履歴収集スレッドに対して試行された初期化接続を切断しようとして、エラーが発生しました。Capacity Planner クライアントは、Data Gatherer に接続できなくなります。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05136: エラー : vppdgth: タイム・スタンプの取得に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05137: エラー : vppdgth: CP ローダーが起動時に失敗しました。

原因: 履歴データをロードしようとした際にエラーが発生しました。このエラーには通常、失敗の性質を説明する詳細エラーが伴います。

処置: 解決方法は、詳細エラーで確認してください。

ODG-05138: エラー : RT スレッドでデータのコレクションに失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05139: エラー : vppdgth: クライアント間隔超過メッセージの送信に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05140: エラー : vppdgth: クライアント索引が破損しています。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05141: エラー : vppdgth: 入力待ち中に障害が発生しました。

原因: クライアントがソケット接続を切断したことを示す警告です。

処置: 通常は無視できます。

ODG-05142: エラー : vppdgth: デコード中のクライアント索引は破損しています。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05143: エラー : vppdgth: メッセージのデコード中に障害が発生しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05144: エラー : vppdgth: ロード情報のタイム・スタンプを取得できません。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05145: エラー : vppdgth: CP ローダーでコレクション中に障害が発生しました。

原因: 履歴データをロードしようとした際にエラーが発生しました。このエラーには通常、失敗の性質を説明する詳細エラーが伴います。

処置: 解決方法は、詳細エラーで確認してください。

ODG-05146: エラー : vppdgth: クライアント・メッセージ解放時にクライアント索引が破損しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

- ODG-05147: エラー : vppdgth: dg.clmsg 2 の記憶領域の解放に失敗しました。**
原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。
処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。
- ODG-05148: エラー : vppdgth: コレクションがオフの間にクライアント索引が破損しました。**
原因: 内部エラーが発生しました。
処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。
- ODG-05149: エラー : vppdgth: コレクションがオフのとき入力待機中に障害が発生しました。**
原因: クライアントがソケット接続を切断したことを示す警告です。
処置: 通常は無視できます。
- ODG-05150: エラー : vppdgth: クライアント・メッセージのデコード時にクライアント索引が破損しました。**
原因: 内部エラーが発生しました。
処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。
- ODG-05151: エラー : vppdgth: コレクション中でないときにメッセージのデコードで障害が発生しました。**
原因: クライアント要求を解釈または処理しようとした際に、エラーが発生しました。このエラーには通常、関連する他のエラーが伴います。
処置: 他のエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。
- ODG-05152: エラー : vppdgth: クライアント・メッセージのデコード後にクライアント索引が破損しました。**
原因: 内部エラーが発生しました。
処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。
- ODG-05153: エラー : vppdgth: clmsg.msg の記憶領域の解放に失敗しました。**
原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。
処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05154: エラー : vppdgth: 終了中の状態情報が NULL です。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05155: エラー : vppdgth: 終了中に clean_up で障害が発生しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05156: エラー : vppdgth: グローバル状態の記憶領域の解放に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05157: エラー : vppclid: クライアント索引が制限を超えています。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05158: エラー : vppdclid: クライアント索引が制限を超えています。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05159: エラー : vppdclid: このクライアント用カートリッジの消去に失敗しました。

原因: 収集カートリッジへのクライアント接続を切断しようとした際に、エラーが発生しました。これには通常、ターゲット・サービス（データベースなど）への接続の切断も含まれます。

処置: このエラーは無視できます。ただしターゲット接続リソースが解放されずに、このエラーが再発生する場合は、Data Gatherer を再起動してリソースを解放する必要があります。

ODG-05160: エラー : メッセージ・デコード : VP_GET_UDS_COLUMNS_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05161: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_UDS_COLUMNS_REQ: vppcallbb に失敗しました。

原因: クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置: 他のエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05162: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_UDS_COLUMNS_REQ: vppfreparams に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05163: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_CALLBACKS_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05164: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_CALLBACKS_REQ: vppcallbb に失敗しました。

原因: クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置: 他のエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05165: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_CALLBACKS_REQ: vppfreparams に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05166: エラー: メッセージ・デコード: VP_EXECUTE_CALLBACK_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05167: エラー: メッセージ・デコード: VP_EXECUTE_CALLBACK_REQ: vppcallbb に失敗しました。

原因: クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置: 他のエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05168: エラー: メッセージ・デコード: VP_EXECUTE_CALLBACK_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05169: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_LOCALTIME_REQ: vpptimeget に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05170: エラー: メッセージ・デコード: vpp_msg_addparam VP_GET_LOCALTIME_REQ: 失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05171: エラー: メッセージ・デコード: vpp_msg_send VP_GET_LOCALTIME_ACK に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05172: エラー: メッセージ・デコード: VP_SET_INTERVAL_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05173: エラー: メッセージ・デコード: VP_SET_INTERVAL_REQ: グローバル状態の情報が NULL です。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05174: エラー: メッセージ・デコード: VP_SET_INTERVAL_REQ: vppstrtonum に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05175: エラー: メッセージ・デコード: VP_SET_INTERVAL_REQ: vppsclmsg に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05176: エラー: メッセージ・デコード: VP_SET_INTERVAL_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05177: エラー: メッセージ・デコード: VP_SET_INTERVAL_REQ: vppsndack VP_SET_INTERVAL_REQ_ACK に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05178: エラー: メッセージ・デコード: VP_END_COLLECT_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05179: エラー: メッセージ・デコード: VP_END_COLLECT_REQ: vppcallbb に失敗しました。

原因: クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置: 他のエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05180: エラー: メッセージ・デコード: VP_END_COLLECT_REQ: グローバル状態が NULL です。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05181: エラー: メッセージ・デコード: VP_END_COLLECT_REQ: vppsclmsg に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05182: エラー: メッセージ・デコード: VP_END_COLLECT_REQ: vppsclmsg に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05183: 警告: CP ローダーに失敗しました。

原因: 履歴データをロードしようとした際にエラーが発生しました。このエラーには通常、失敗の性質を説明する詳細エラーが伴います。

処置: 解決方法は、詳細エラーで確認してください。

ODG-05184: エラー: メッセージ・デコード: VP_START_COLLECT_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05185: エラー: メッセージ・デコード: VP_START_COLLECT_REQ: vppcallbb に失敗しました。

原因: クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置: 他のエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05186: エラー: メッセージ・デコード: VP_START_COLLECT_REQ: グローバル状態が NULL です。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05187: エラー: メッセージ・デコード: VP_START_COLLECT_REQ: vpacpy に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05188: エラー: メッセージ・デコード: VP_START_COLLECT_REQ: vppsclmsg に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05189: エラー: メッセージ・デコード: VP_START_COLLECT_REQ: vppsclmsg に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05190: エラー: メッセージ・デコード: VP_START_COLLECT_REQ: vptimeget に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05191: エラー: メッセージ・デコード: VP_START_COLLECT_REQ: vppfreparams に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05192: エラー: メッセージ・デコード: VP_SEND_LOADER_INFO: vppgetparams に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05193: エラー: メッセージ・デコード: VP_SEND_LOADER_INFO: グローバル状態が NULL です。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05194: エラー: メッセージ・デコード: VP_SEND_LOADER_INFO: CP_CLIENT: vppsclmsg

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05195: エラー: メッセージ・デコード: VP_SEND_LOADER_INFO: CP_CLIENT: vppsclmsg

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05196: エラー: メッセージ・デコード: VP_SEND_LOADER_INFO: CP_CLIENT: vppgetldparam INTERVAL に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05197: エラー: メッセージ・デコード: VP_SEND_LOADER_INFO: CP_CLIENT: vppstrtonum に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05198: エラー: メッセージ・デコード: VP_SEND_LOADER_INFO: CP_CLIENT: vppgetfldparam NEXTLOAD

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05199: エラー: メッセージ・デコード: VP_SEND_LOADER_INFO: CP_CLIENT: vppstrtonum

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05200: エラー: メッセージ・デコード: VP_SEND_LOADER_INFO: CP_CLIENT: vpcapy に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05201: エラー: メッセージ・デコード: VP_SEND_LOADER_INFO: vppfreparams に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05202: エラー: メッセージ・デコード: VP_SEND_LOADER_INFO: vppsndack に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05203: エラー: メッセージ・デコード: VP_SEND_CRED: vppgetparams に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05204: エラー: メッセージ・デコード: VP_SEND_CRED: グローバル状態が NULL です。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05205: エラー: メッセージ・デコード: VP_SEND_CRED: vppsclmsg に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05206: エラー: メッセージ・デコード: VP_SEND_CRED: vpacpy に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05207: エラー: メッセージ・デコード: VP_SEND_CRED: vppfreeparams に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05208: エラー: メッセージ・デコード: VP_SEND_CRED: vppsndack に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

- ODG-05209: エラー: メッセージ・デコード: VP_RECOVER_DONE: vppsndack に失敗しました。**
原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。
処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。
- ODG-05210: エラー: メッセージ・デコード: VP_CP_STATE_REQ: vppgetparams に失敗しました。**
原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。
処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。
- ODG-05211: エラー: メッセージ・デコード: VP_CP_STATE_REQ: グローバル状態が NULL です。**
原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。
処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。
- ODG-05212: エラー: メッセージ・デコード: VP_CP_STATE_REQ: DG cpstate が NULL です。**
原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。
処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。
- ODG-05213: エラー: メッセージ・デコード: VP_CP_STATE_REQ: vppsndack に失敗しました。**
原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。
処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。
- ODG-05214: エラー: メッセージ・デコード: VP_CP_STATE_REQ: vppfilereorg に失敗しました。**
原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。
処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05215: エラー: メッセージ・デコード: VP_CP_STATE_REQ: vppsndtld に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05216: エラー: メッセージ・デコード: VP_CP_STATE_REQ: vppsndack: VP_CP_STATE_REQ_ACK に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05217: エラー: メッセージ・デコード: VP_CP_STATE_REQ: 非 CP クライアントが CPSTATE を要求しています。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05218: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05219: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: vppdecid に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05220: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05221: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: vppgetservice に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05222: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: LSFPF 状態ファイルに障害があります。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05223: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: vppfileo に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05224: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: LSFPF データ・ファイルに障害があります。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05225: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: vppfileo に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05226: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: vpp_msg_addparam VP_CLIENT_ID に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05227: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: portno の LSFPF に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05228: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: vpp_msg_addparam VP_CP_PORTNO に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05229: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: client_hostname の LSFPF に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05230: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: VP_CLIENT_HOSTNAME の vpp_msg_addparam に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05231: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: VP_LANG の vpp_msg_addparam に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05232: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: vpx_get_catmsg で VPMSG_CHARENCODING が見つかりませんでした。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05233: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: VP_CHAR_ENCODING の vpp_msg_addparam に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05234: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: vppaddcred に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05235: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: vpp_msg_send VP_CONNECT_REQ_ACK に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05236: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05237: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: glob の vppalloc に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05238: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: vppdecid client_id に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05239: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: vppdclid dg->clid に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05240: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: vppiclid dg->clid に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05241: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: vppdecid のクライアント型に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05242: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: vppsclmsg fi_state に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05243: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: vppsclmsg fi_data に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05244: エラー: send_analysis コマンドに失敗しました。

原因: 事前定義の履歴データ分析の詳細を、後で処理するために履歴データ・ファイルへ送ろうとした際に、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置: 他のエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05245: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: vpp_msg_addparam VP_CLIENT_ID に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05246: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: portno 2 の LSFPPF に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05247: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: vpp_msg_addparam VP_CP_PORTNO 2 に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05248: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: vpp_msg_addparam VP_CLIENT_HOSTNAME に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05249: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: VP_LANG の vpp_msg_addparam に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05250: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: vpx_get_catmsg で VPMMSG_CHARENCODING が見つかりませんでした。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05251: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: VP_CHAR_ENCODING の vpp_msg_addparam に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05252: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: vppaddcred に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05253: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: vpp_msg_send VP_CONNECT_REQ_ACK に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05254: エラー: メッセージ・デコード: VP_CONNECT_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05255: エラー: メッセージ・デコード: VP_DISCONNECT_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05256: エラー: メッセージ・デコード: VP_DISCONNECT_REQ: vppdecid client_id に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05257: エラー: メッセージ・デコード: VP_DISCONNECT_REQ: vppsndack に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05258: エラー: メッセージ・デコード: VP_DISCONNECT_REQ: グローバル状態が NULL です。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05259: エラー: メッセージ・デコード: VP_DISCONNECT_REQ: クライアントから送信されたクライアント ID と一致しません。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05260: エラー: メッセージ・デコード: VP_DISCONNECT_REQ: vppallbbs clean_up に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05261: エラー: メッセージ・デコード: VP_DISCONNECT_REQ: vppfree glob に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05262: エラー: メッセージ・デコード: VP_DISCONNECT_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05263: エラー: メッセージ・デコード: VP_DISCONNECT_REQ: vppfreparams に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05264: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_MODULES_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05265: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_MODULES_REQ: vppcallbb に失敗しました。

原因: クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置: 他のエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05266: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_MODULES_REQ: vppsndack に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05267: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_MODULES_REQ: vppfreparams に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05268: エラー: メッセージ・デコード: VP_INITIALIZE_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05269: エラー: メッセージ・デコード: VP_INITIALIZE_REQ: グローバル状態が NULL です。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05270: 警告: PM クライアント用コレクション・カートリッジはすでに初期化されています。

原因: 特定の 1 クライアントについて、収集カートリッジを 2 度以上初期化しようとした。

処置: このエラーは無視できますが、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05271: エラー: メッセージ・デコード: VP_INITIALIZE_REQ: vppcallbb に失敗しました。

原因: クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置: 他のエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05272: エラー: メッセージ・デコード: VP_START_COLLECT_REQ: vpacpy に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05273: エラー: send_analysis コマンドに失敗しました。

原因: 事前定義の履歴データ分析の詳細を、後で処理するために履歴データ・ファイルへ送ろうとした際に、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置: 他のエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05274: エラー: メッセージ・デコード: VP_INITIALIZE_REQ: vppsndack VP_INITIALIZE_REQ_ACK に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05275: エラー: メッセージ・デコード: VP_INITIALIZE_REQ: vppsclmsg fi_state に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05276: エラー: メッセージ・デコード: VP_INITIALIZE_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05277: エラー: メッセージ・デコード: VP_DEINITIALIZE_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05278: エラー: メッセージ・デコード: VP_DEINITIALIZE_REQ: vppcallbb に失敗しました。

原因: クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置: 他のエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05279: エラー: メッセージ・デコード: VP_DEINITIALIZE_REQ: vppsndack に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05280: エラー: メッセージ・デコード: VP_DEINITIALIZE_REQ: グローバル状態が NULL です。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05281: エラー: メッセージ・デコード: VP_DEINITIALIZE_REQ: vppsclmsg に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05282: エラー: メッセージ・デコード: VP_DEINITIALIZE_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05283: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_CLASS_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05284: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_CLASS_REQ: vppcallbb に失敗しました。

原因: クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置: 他のエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05285: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_CLASS_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05286: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_CLASSES_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05287: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_CLASSES_REQ: vppcallbb に失敗しました。

原因: クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置: 他のエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05288: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_CLASSES_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05289: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_INSTANCES_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05290: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_INSTANCES_REQ: vppcallbb に失敗しました。

原因: クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置: 他のエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05291: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_INSTANCES_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05292: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_CHARTS_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

- ODG-05293: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_CHARTS_REQ: vppnls_atoi() のクラス ID に障害があります。**
原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。
処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。
- ODG-05294: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_CHARTS_REQ: vppcallbb に失敗しました。**
原因: クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。
処置: 他のエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。
- ODG-05295: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_CHARTS_REQ: vppfreeparams に失敗しました。**
原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。
処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。
- ODG-05296: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_CHART_INFO_REQ: vppgetparams に失敗しました。**
原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。
処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。
- ODG-05297: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_CHART_INFO_REQ: vppnls_atoi() のクラス ID に障害があります。**
原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。
処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。
- ODG-05298: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_CHART_INFO_REQ: vppcallbb に失敗しました。**
原因: クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。
処置: 他のエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05299: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_CHART_INFO_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05300: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_CHART_LABEL: vppgetparams に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05301: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_CHART_LABEL: vppcallbb に失敗しました。

原因: クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置: 他のエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05302: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_CHART_LABEL: vppfreeparams に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05303: エラー: メッセージ・デコード: VP_CHART_DRILLDOWN_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05304: エラー: メッセージ・デコード: VP_CHART_DRILLDOWN_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05305: エラー: メッセージ・デコード: VP_CHART_FILTER_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05306: エラー: メッセージ・デコード: VP_CHART_FILTER_REQ: vppcallbb に失敗しました。

原因: クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置: 他のエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05307: エラー: メッセージ・デコード: VP_CHART_FILTER_REQ: vppfreparams に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05308: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_RESOURCES_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05309: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_RESOURCES_REQ: vppcallbb に失敗しました。

原因: クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置: 他のエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05310: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_RESOURCES_REQ: vppfreparams に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05311: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_EXT_HELP_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05312: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_EXT_HELP_REQ: vppcallbb に失敗しました。

原因: クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置: 他のエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05313: エラー: メッセージ・デコード: VP_GET_EXT_HELP_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05314: エラー: メッセージ・バッファの解放に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05315: エラー: vppgethandle: 状態の情報が NULL です。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05316: エラー: メッセージのデコードに失敗しました。

原因: クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05317: エラー: パラメータ・メモリーの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05318: エラー: オプション・パラメータ・メモリーの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05319: エラー: メッセージ内のパラメータが多すぎます。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05320: エラー: パラメータ・オブジェクトの記憶領域の解放に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05321: エラー: パラメータの記憶領域の解放に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05322: エラー: オプション・パラメータ・オブジェクトの記憶領域の解放に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05323: エラー: オプション・パラメータの記憶領域の解放に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05324: エラー: セグメント化されたメッセージはサポートされません。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05325: エラー: メッセージの記憶領域の割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05326: エラー: メッセージ長がマイナスです。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05327: エラー: クライアントへのコレクション ACK 停止の送信に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05328: エラー: クライアントへのコレクション ACK 開始の送信に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05329: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CHART_ID の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05330: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CHART_LABEL の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05331: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CHART_DESCRIPTION の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05332: エラー: メッセージ・バッファへの VP_INST_SEL_FLAG の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05333: エラー: メッセージ・バッファへの VP_RESOURCE_SELECT_FLAG の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05334: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CHART_GROUP の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05335: エラー: クライアントへの VP_GET_CHARTS_ACK の送信に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05336: エラー: メッセージ・バッファへの VP_MODULE_ID の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05337: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CLASS_ID の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05338: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CHART_ID の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05339: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CHART_INSTPROMPT の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05340: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CHART_RESPROMPT の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05341: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CHART_REUSEINST の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05342: エラー: クライアントへの VP_CHART_DRILLDOWN_ACK の送信に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05343: エラー: メッセージ・バッファへの VP_FILTER_LABEL の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05344: エラー: メッセージ・バッファへの VP_RESOURCE_ID の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05345: エラー: メッセージ・バッファへの VP_FILTER_OPERATION の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05346: エラー: メッセージ・バッファへのフィルタ型の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05347: エラー: クライアントへの VP_CHART_FILTER_ACK の送信に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05348: エラー: メッセージ・バッファへの VP_ANAL_NAME の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05349: エラー: メッセージ・バッファへの VP_ANAL_DESCR の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05350: エラー: メッセージ・バッファへの VP_MODULE_ID の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05351: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CLASS_ID の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05352: エラー: メッセージ・バッファへの VP_RESOURCE_ID の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05353: エラー: メッセージ・バッファへの VP_MODULE の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05354: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CLASS の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05355: エラー: メッセージ・バッファへの VP_RESOURCE の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05356: エラー: メッセージ・バッファへの VP_ANAL_SHOWSUMMARY の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05357: エラー: メッセージ・バッファへの VP_ANAL_SORTORDER の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05358: エラー: メッセージ・バッファへの VP_ANAL_TIMEGRAN の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05359: エラー: メッセージ・バッファへの VP_ANAL_STARTDATE の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05360: エラー: メッセージ・バッファへの VP_ANAL_NUMSAMPLES の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05361: エラー: メッセージ・バッファへの VP_ANAL_ANALTYPE の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05362: エラー: メッセージ・バッファへの VP_ANAL_HELPID の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05363: エラー: メッセージ・バッファへの VP_ANAL_RESPFLAG の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05364: エラー: メッセージ・バッファへの VP_ANAL_SUMARYPFLAG の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05365: エラー: メッセージ・バッファへの VP_ANAL_SORTPFLAG の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05366: エラー: メッセージ・バッファへの VP_ANAL_TIMEGRANPFLAG の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05367: エラー: メッセージ・バッファへの VP_ANAL_STARTDATEPFLAG の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05368: エラー: メッセージ・バッファへの VP_ANAL_NSAMPLEPFLAG の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05369: エラー: ポインタが NULL です。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05370: エラー: メッセージ・バッファへの VP_EXTR_GOALTYPE の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05371: エラー: メッセージ・バッファへの VP_EXTR_TIMEGOAL の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05372: エラー: メッセージ・バッファへの VP_EXTR_VALGOAL の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05373: エラー: メッセージ・バッファへの VP_EXTR_FITTYPE の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05374: エラー: メッセージ・バッファへの VP_EXTR_INSTCOUNT の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05375: エラー: インスタンス・パラメータが NULL です。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05376: エラー: メッセージ・バッファへの VP_INSTANCE の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05377: エラー: メッセージ・バッファへの VP_EXTR_GOALTYPEPFLAG の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05378: エラー: メッセージ・バッファへの VP_EXTR_GOALPFLAG の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05379: エラー: メッセージ・バッファへの VP_EXTR_FITTYPEPFLAG の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05380: エラー: メッセージ・バッファへの VP_EXTR_INSTANCEPFLAG の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05381: エラー: ポインタが NULL です。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05382: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CORR_CORRTYPE の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05383: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CORR_INSTANCE の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05384: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CORR_COUNT の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05385: エラー: 関連パラメータが NULL です。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05386: エラー: モジュール ID が NULL です。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05387: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CORR_MODID の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05388: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CORR_CLASSID の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05389: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CORR_RESOURCEID の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05390: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CORR_CORRTYPEPFLAG の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05391: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CORR_INSTANCEPFLAG の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05392: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CORR_CORRPFLAG の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05393: エラー: 分析タイプが無効です。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05394: エラー: 状態ファイルへの VP_SEND_ANALYSIS_ACK の書き込みに失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05395: エラー: メッセージ・バッファへの VP_HELP_FORMAT の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05396: エラー: メッセージ・バッファへの VP_HELP_COUNT の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05397: エラー: ヘルプの helptxt が NULL です。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05398: エラー: メッセージ・バッファへの VP_HELP_TEXT の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05399: エラー: クライアントへの VP_GET_EXT_HELP_ACK の送信に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05400: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CALLBACK_ID の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05401: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CALLBACK_LABEL の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05402: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CALLBACK_DESC の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05403: エラー: メッセージ・バッファへの VP_RESOURCE_COUNT の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05404: エラー: メッセージ・バッファへの VP_RESOURCE_ID の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05405: エラー: クライアントへの VP_GET_CALLBACKS_ACK の送信に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05406: エラー: メッセージ・バッファへの VP_ERROR_TEXT の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05407: エラー: メッセージ・バッファへの VP_ERROR_TEXT の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05408: エラー: メッセージ・バッファへの VP_ERROR_TEXT の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05409: エラー: クライアントへの VP_EXECUTE_CALLBACK_ACK の送信に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05410: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CHART_ID の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05411: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CHART_LABEL の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05412: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CHART_DESCRIPTION の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05413: エラー: メッセージ・バッファへの VP_INST_SEL_FLAG の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05414: エラー: メッセージ・バッファへの VP_RESOURCE_SELECT_FLAG の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05415: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CHART_GROUP の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05416: エラー: クライアントへの VP_GET_CHART_LABEL_ACK の送信に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05417: エラー: メッセージ・バッファへの VP_PARENT_FLAG の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05418: エラー: メッセージ・バッファへの VP_RESOURCE_COUNT の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05419: エラー: メッセージ・バッファへの VP_RESOURCE_ID の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05420: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CHART_PROP_COUNT の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05421: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CHART_PROP_NAME の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05422: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CHART_PROP_VALUE の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05423: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CHART_PROP_COUNT の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05424: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CHART_PROP_NAME の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05425: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CHART_PROP_VALUE の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05426: エラー: メッセージ・バッファへの VP_COLL_PARM_CNT の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05427: エラー: メッセージ・バッファへの VP_COLL_PARM の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05428: エラー: メッセージ・バッファへの VP_COLL_PARM_CNTL_CNT の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05429: エラー: メッセージ・バッファへの VP_COLL_PARM_CNTL の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05430: エラー: メッセージ・バッファへの VP_SDATA の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05431: エラー: クライアントへの VP_GET_CHART_INFO_ACK の送信に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05432: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CLASS の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05433: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CLASS_DESCRIPTION の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05434: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CLASS_ID の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05435: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CLASS_END_NODE の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05436: エラー: メッセージ・バッファへの VP_INST_SEL_FLAG の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05437: エラー: メッセージ・バッファへの VP_PARENT_MODULE_ID の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05438: エラー: メッセージ・バッファへの VP_PARENT_CLASS_ID の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05439: エラー: メッセージ・バッファへの VP_CLASS_IS_ACTIVE の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05440: エラー: クライアントへの VP_GET_CLASSES_ACK の送信に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05441: エラー: メッセージ・バッファへの VP_INSTANCE の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05442: エラー: クライアントへの VP_GET_INSTANCES_ACK の送信に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05443: エラー: メッセージ・バッファへの VP_RESOURCE_ID の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05444: エラー: メッセージ・バッファへの VP_RESOURCE の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05445: エラー: メッセージ・バッファへの VP_RESOURCE の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05446: エラー: クライアントへの VP_GET_RESOURCES_ACK の送信に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05447: エラー: UDS 列の件数がマイナスです。

原因: ユーザー定義スクリプト列に対する要求を解釈しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05448: エラー: UDS 列の件数が無効です。

原因: ユーザー定義スクリプト列に対する要求を解釈しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05449: エラー: メッセージ・バッファへの VP_RESOURCE_COUNT の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05450: エラー: メッセージ・バッファへの VP_RESOURCE の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05451: エラー: メッセージ・バッファへの VP_RESOURCE_TYPE の追加に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05452: エラー: クライアントへの VP_GET_UDS_COLUMNS_ACK の送信に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05453: エラー: vpp_msg_addparam VP_MODULE_ID で障害が発生しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05454: エラー : vpp_msg_addparam VP_MODULE で障害が発生しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05455: エラー : vpp_msg_addparam VP_MODULE_DESCRIPTION で障害が発生しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05456: エラー : vpp_msg_addparam VP_SERVICE_TYPE で障害が発生しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05457: エラー : vpp_msg_addparam VP_MODULE_VERSION で障害が発生しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05458: エラー : vpp_msg_addparam VP_CLIENT_TYPE で障害が発生しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05459: エラー : vpp_msg_addparam VP_SCRIPT_ENABLED で障害が発生しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05460: エラー : vpp_msg_addparam VP_SCRIPT_ACRONYM で障害が発生しました。

原因 : クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置 : 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05461: エラー : vpp_msg_addparam VP_SCRIPT_DESC で障害が発生しました。

原因 : クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置 : 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05462: エラー : vpp_msg_send VP_GET_MODULES_ACK で障害が発生しました。

原因 : クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置 : 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05463: エラー : vpp_msg_addparam VP_SCRIPT_DESC で障害が発生しました。

原因 : クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置 : 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05464: エラー : vpp_msg_send VP_INTERVAL_EXCEEDED で障害が発生しました。

原因 : クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置 : 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05465: エラー : ソケット索引が無効です。

原因 : クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置 : 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05466: エラー : vppinetws に失敗しました。

原因 : クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置 : 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05467: エラー: DG TLD 要素の長さが VP_MAX_MSGELEM_SIZE を超えています。

原因: クライアント要求を処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。現在のクライアント要求は、クライアント要求の入力に関する内部記憶域の最大制限を超えています。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05468: エラー: パラメータのデータ型が認識できません。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05469: エラー: クライアント・メッセージが長すぎます。

原因: クライアント要求を処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。現在のクライアント要求は、クライアント要求の入力に関する内部記憶域の最大制限を超えています。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05470: エラー: ソケット索引が無効です。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05471: エラー: クライアントへのデータの送信に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05472: エラー: DG 状態が NULL です。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05473: エラー: DG データ・ファイルへの書込みに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルに履歴データを保存しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: \$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリが存在しアクセス可能であること、そして十分なディスク領域が使用可能であることを確認してください。

ODG-05474: エラー: ソケット索引が無効です。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05475: エラー: DG 状態が NULL です。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05476: エラー: データ・ファイルへの書込みに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルに履歴データを保存しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: \$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリが存在しアクセス可能であること、そして十分なディスク領域が使用可能であることを確認してください。

ODG-05477: エラー: クライアント・ソケットへの書込みに失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05478: エラー: データ・ファイルへの書込みに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルに履歴データを保存しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: \$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリが存在しアクセス可能であること、そして十分なディスク領域が使用可能であることを確認してください。

ODG-05479: エラー: DG TLD 要素の長さが VP_MAX_MSGELEM_SIZE を超えています。

原因: クライアント要求を処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。現在のクライアント要求は、クライアント要求の入力に関する内部記憶域の最大制限を超えています。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05480: エラー: パラメータのデータ型が認識できません。

原因: クライアント要求を解釈しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05481: エラー: クライアント・メッセージが長すぎます。

原因: クライアント要求を処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。現在のクライアント要求は、クライアント要求の入力に関する内部記憶域の最大制限を超えています。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05482: エラー: ソケット索引が無効です。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05483: エラー: DG 状態が NULL です。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05484: エラー: データ・ファイルへの書込みに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルに履歴データを保存しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: \$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリが存在しアクセス可能であること、そして十分なディスク領域が使用可能であることを確認してください。

ODG-05485: エラー: メッセージ・バッファの解放に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05486: エラー: クライアントへのメッセージの送信に失敗しました。

原因: クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05487: エラー: 配列リストが NULL で終了していません。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05488: エラー: 引数が無効です。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05489: エラー: ソケット索引表が一杯です。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05490: エラー: クライアントのソケット記述子のクローズに失敗しました。

原因: クライアントがソケット接続を切断したことを示す警告です。

処置: 通常は無視できます。

ODG-05491: エラー: クライアント ID が無効です。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05492: エラー: サービス・タイプの変換に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05493: エラー: メモリーの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05494: エラー: サービスが NULL です。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05495: エラー: サービス・ポート/ソケットの割当てに失敗しました。

原因: ソケット (1808) をオープンしようとした際にエラーが発生しました。

処置: 他のプロセスでこのソケットが使用中でないことを確認し、操作を再試行してください。

ODG-05496: エラー: メモリーの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05497: エラー: VP_NUM の作成に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05498: エラー: VP_NUM の作成に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05499: エラー: VP_NUM の作成に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05500: エラー: 状態ファイルが無効です。

原因: ターゲット (データベースまたはホスト) に何を収集するかについての情報を含むファイルを読み込もうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: このファイルが壊れているため、このターゲットに関する履歴データは収集されません。参照されているファイルを保存し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。Data Gatherer の使用を続行し、そのターゲットに関連付けられたファイル (ターゲット名を含むファイル) を \$ORACLE_HOME/network/agent/reco ディレクトリから削除して、代替の収集を設定できます。

ODG-05501: エラー: 状態ファイルへの書き込みに失敗しました。

原因: ターゲット (データベースまたはホスト) に何を収集するかについての情報を含むファイルを読み込もうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: このファイルが壊れているため、このターゲットに関する履歴データは収集されません。参照されているファイルを保存し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。Data Gatherer の使用を続行し、そのターゲットに関連付けられたファイル (ターゲット名を含むファイル) を \$ORACLE_HOME/network/agent/reco ディレクトリから削除して、代替の収集を設定できます。

ODG-05502: エラー: リカバリ・ファイルが無効です。

原因: ターゲット (データベースまたはホスト) に何を収集するかについての情報を含むファイルを読み込もうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: このファイルが壊れているため、このターゲットに関する履歴データは収集されません。参照されているファイルを保存し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。Data Gatherer の使用を続行し、そのターゲットに関連付けられたファイル (ターゲット名を含むファイル) を \$ORACLE_HOME/network/agent/reco ディレクトリから削除して、代替の収集を設定できます。

ODG-05503: エラー: CPSTATE が無効です。

原因: ターゲット (データベースまたはホスト) に何を収集するかについての情報を含むファイルを読み込もうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: このファイルが壊れているため、このターゲットに関する履歴データは収集されません。参照されているファイルを保存し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。Data Gatherer の使用を続行し、そのターゲットに関連付けられたファイル (ターゲット名を含むファイル) を \$ORACLE_HOME/network/agent/reco ディレクトリから削除して、代替の収集を設定できます。

ODG-05504: エラー: ファイルの巻戻しに失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05505: エラー: 状態ファイルが空です。

原因: ターゲット (データベースまたはホスト) に何を収集するかについての情報を含むファイルを読み込もうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: このファイルが壊れているため、このターゲットに関する履歴データは収集されません。参照されているファイルを保存し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。Data Gatherer の使用を続行し、そのターゲットに関連付けられたファイル (ターゲット名を含むファイル) を \$ORACLE_HOME/network/agent/reco ディレクトリから削除して、代替の収集を設定できます。

ODG-05506: エラー: 状態ファイルの読み込みに失敗しました。

原因: ターゲット (データベースまたはホスト) に何を収集するかについての情報を含むファイルを読み込もうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: このファイルが壊れているため、このターゲットに関する履歴データは収集されません。参照されているファイルを保存し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。Data Gatherer の使用を続行し、そのターゲットに関連付けられたファイル (ターゲット名を含むファイル) を \$ORACLE_HOME/network/agent/reco ディレクトリから削除して、代替の収集を設定できます。

ODG-05507: エラー: メモリーの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05508: エラー: メモリーの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05509: エラー: メモリーの解放に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05510: エラー: メモリーの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05511: エラー: メモリーの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05512: エラー: メモリーの解放に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05513: エラー: メモリーの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05514: エラー: メモリーの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05515: エラー: メモリーの解放に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05516: エラー: メモリーの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05517: エラー: メモリーの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05518: エラー: 次のローダー・タイムアウトの設定に失敗しました。

原因: 次の履歴ロード操作をスケジュールしようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: このエラーが発生しても Data Gatherer の使用は続行できますが、履歴の収集およびロードができなくなる可能性があります。オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05519: エラー: メモリーの解放に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05520: エラー: メモリーの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05521: エラー: メモリーの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05522: エラー: メモリーの解放に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05523: エラー: メモリーの解放に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05524: エラー: メッセージが無効です。

原因: クライアント要求を解釈または処理しようとした際に、エラーが発生しました。このエラーには通常、関連する他のエラーが伴います。

処置: 他のエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05525: エラー: メモリーの解放に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05526: エラー: メッセージが順不同です。

原因: クライアント要求を解釈または処理しようとした際に、エラーが発生しました。このエラーには通常、関連する他のエラーが伴います。

処置: 他のエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05527: エラー: メモリーの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05528: エラー: メモリーの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05529: エラー: メッセージが無効です。

原因: クライアント要求を解釈または処理しようとした際に、エラーが発生しました。このエラーには通常、関連する他のエラーが伴います。

処置: 他のエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05530: エラー: メモリーの解放に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05531: エラー: メッセージが順不同です。

原因: クライアント要求を解釈または処理しようとした際に、エラーが発生しました。このエラーには通常、関連する他のエラーが伴います。

処置: 他のエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05532: エラー: ファイルの切捨てに失敗しました。

原因: 履歴データの収集を中断して、履歴データのロードを開始しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05533: エラー: ファイルの巻戻しに失敗しました。

原因: 履歴データの収集を中断して、履歴データのロードを開始しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05534: エラー: 接続情報の書込みに失敗しました。

原因: 履歴データの収集を中断して、履歴データのロードを開始しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05535: エラー: 接続情報の書込みに失敗しました。

原因: 履歴データの収集を中断して、履歴データのロードを開始しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05536: エラー: メモリーの解放に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05537: エラー: 資格証明情報の書込みに失敗しました。

原因: 履歴データの収集を中断して、履歴データのロードを開始しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05538: エラー: 資格証明情報の書込みに失敗しました。

原因: 履歴データの収集を中断して、履歴データのロードを開始しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05539: エラー: メモリーの解放に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05540: エラー: 間隔情報の書込みに失敗しました。

原因: 履歴データの収集を中断して、履歴データのロードを開始しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05541: エラー: 間隔情報の書込みに失敗しました。

原因: 履歴データの収集を中断して、履歴データのロードを開始しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05542: エラー: メモリーの解放に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05543: エラー: ローダー情報の書込みに失敗しました。

原因: 履歴データの収集を中断して、履歴データのロードを開始しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05544: エラー: ローダー情報の書込みに失敗しました。

原因: 履歴データの収集を中断して、履歴データのロードを開始しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05545: エラー: メモリーの解放に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05546: エラー: 情報の書込みに失敗しました。

原因: 履歴データの収集を中断して、履歴データのロードを開始しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05547: エラー: 情報の書込みに失敗しました。

原因: 履歴データの収集を中断して、履歴データのロードを開始しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05548: エラー: メモリーの解放に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05549: エラー: ファイル内の接続要求が NULL です。

原因: 履歴データの収集を中断して、履歴データのロードを開始しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05550: エラー: 状態ファイルの同期化に失敗しました。

原因: 履歴データの収集を中断して、履歴データのロードを開始しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05551: エラー: データ・ファイルの同期化に失敗しました。

原因: 履歴データの収集を中断して、履歴データのロードを開始しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05552: エラー: 状態情報が無効です。

原因: ターゲット (データベースまたはホスト) に何を収集中かについての情報を含むファイルを読み込もうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: このファイルが壊れているため、このターゲットに関する履歴データは収集されません。参照されているファイルを保存し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。Data Gatherer の使用を続行し、そのターゲットに関連付けられたファイル (ターゲット名を含むファイル) を \$ORACLE_HOME/network/agent/reco ディレクトリから削除して、代替の収集を設定できます。

ODG-05553: エラー: 状態ファイルの巻戻しに失敗しました。

原因: ターゲット (データベースまたはホスト) に何を収集中かについての情報を含むファイルを読み込もうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: このファイルが壊れているため、このターゲットに関する履歴データは収集されません。参照されているファイルを保存し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。Data Gatherer の使用を続行し、そのターゲットに関連付けられたファイル (ターゲット名を含むファイル) を \$ORACLE_HOME/network/agent/reco ディレクトリから削除して、代替の収集を設定できます。

ODG-05554: エラー: 状態ファイルが空です。

原因: ターゲット (データベースまたはホスト) に何を収集中かについての情報を含むファイルを読み込もうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: このファイルが壊れているため、このターゲットに関する履歴データは収集されません。参照されているファイルを保存し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。Data Gatherer の使用を続行し、そのターゲットに関連付けられたファイル (ターゲット名を含むファイル) を \$ORACLE_HOME/network/agent/reco ディレクトリから削除して、代替の収集を設定できます。

ODG-05555: エラー: 状態ファイルの読込みに失敗しました。

原因: ターゲット (データベースまたはホスト) に何を収集中かについての情報を含むファイルを読み込もうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: このファイルが壊れているため、このターゲットに関する履歴データは収集されません。参照されているファイルを保存し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。Data Gatherer の使用を続行し、そのターゲットに関連付けられたファイル (ターゲット名を含むファイル) を \$ORACLE_HOME/network/agent/reco ディレクトリから削除して、代替の収集を設定できます。

ODG-05556: エラー: ソケットへの書込みに失敗しました。

原因: 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケットへの書込みに失敗しました。

処置: Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05557: エラー: VP_NUM の作成に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05558: エラー: コレクション・カートリッジのコールに失敗しました。

原因: クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置: 他のエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05559: エラー: VP_NUM の作成に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05560: エラー: コレクション・カートリッジのコールに失敗しました。

原因: クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置: 他のエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05561: エラー: VP_NUM の作成に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05562: 警告: コレクション・カートリッジは send_analysis を実装していません。

原因: クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置: 他のエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05563: エラー: ソケット索引が NULL です。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05564: エラー: グローバル状態が NULL です。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05565: エラー: ローダーを実行できません。

原因: 履歴データ・ローダーを実行しようとした際にエラーが発生しました。このエラーには通常、関連する他のエラーが伴います。

処置: 他のエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05566: エラー: ソケット索引が無効です。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05567: エラー: DG 状態が NULL です。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05568: 警告: パラメータが NULL です。

原因: 内部警告が発生しました。

処置: 無視してください。

ODG-05569: 警告: このモジュールのメッセージ・カタログ情報が見つかりません。

原因: メッセージ・カタログをオープンしようとした際に、エラーが発生しました。このエラーには通常、補足情報が伴います。

処置: 補足情報またはエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05570: 警告: ORACLE_HOME の環境変数が正しく設定されていません。

原因: Data Gatherer が実行されている Oracle ホーム・ディレクトリを検索しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer が正しくインストールされており、Oracle ホーム・ディレクトリが存在しアクセス可能であることを確認してください。

ODG-05571: 警告: ORACLE_HOME が見つかりません。

原因: Data Gatherer が実行されている Oracle ホーム・ディレクトリを検索しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer が正しくインストールされており、Oracle ホーム・ディレクトリが存在しアクセス可能であることを確認してください。

ODG-05572: 警告: alert_dg.log ファイルのオープンに失敗しました。

原因: Data Gatherer に対するアラート・ログをオープンしようとした際に、エラーが発生しました。

処置: \$ORACLE_HOME/network/agent/log のディレクトリが存在し、アクセス可能であることを確認してください。

ODG-05573: エラー: ファイル情報構造が NULL です。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05574: エラー: ファイル情報が NULL です。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05575: エラー: ローダー・データ・ファイルのオープンに失敗しました。

原因: CP リポジトリにロードする履歴データ・ファイルをオープンしようとした際に、エラーが発生しました。

処置: ファイルが存在しアクセス可能であることを確認してから、他のエラーを調べてください。

ODG-05576: エラー: ローダーで分析メッセージの処理に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05577: エラー: ローダーで接続メッセージの処理に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05578: エラー: ローダーでローダー情報メッセージの処理に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05579: エラー: ローダーでメッセージ・コレクション開始の処理に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

- ODG-05580: エラー: ローダーで変数データ・ラベル・メッセージの処理に失敗しました。**
原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。
処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。
- ODG-05581: エラー: ローダーで変数データ・メッセージの処理に失敗しました。**
原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。
処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。
- ODG-05582: エラー: ローダーでコレクション終了メッセージの処理に失敗しました。**
原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。
処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。
- ODG-05583: エラー: メモリーの解放に失敗しました。**
原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。
処置: このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。
- ODG-05584: エラー: ローダーで障害が発生しました。**
原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。
処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。
- ODG-05585: エラー: コレクション・データが見つかりません。**
原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。
処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。
- ODG-05586: エラー: パラメータの検索に失敗しました。**
原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。
処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05587: エラー: インスタンス・パラメータが正しくありません。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05588: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05589: エラー: タイム・スタンプ・パラメータのフォーマットに失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05590: エラー: 現行時刻の取得に失敗しました。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05591: エラー: データの読み込みに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05592: エラー: データ型を認識できません。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05593: エラー: データをロード中に障害が発生しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05594: エラー: コレクション・データが見つかりません。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05595: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05596: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05597: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05598: エラー: データをロード中に障害が発生しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05599: エラー: 記憶域の解放に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05600: エラー: データベース接続のクローズに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05601: エラー : データベースからのログオフに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05602: エラー : パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05603: エラー : パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05604: エラー : コレクション開始メッセージが見つかりません。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05605: エラー : データをロード中に障害が発生しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05606: エラー : 記憶域の解放に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05607: エラー : コレクション開始要求の処理に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05608: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05609: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05610: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05611: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05612: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05613: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05614: エラー: インスタンスの数が無効です。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05615: エラー: メモリーの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05616: エラー: メモリーの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05617: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05618: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05619: エラー: リソースの数が無効です。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05620: エラー: メモリーの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05621: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05622: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05623: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05624: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05625: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05626: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05627: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05628: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05629: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05630: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05631: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05632: エラー: 分析の割当てに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05633: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05634: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05635: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05636: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05637: エラー: 記憶域の割当てに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05638: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05639: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05640: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05641: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05642: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05643: エラー: パラメータの検索に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05644: INFO: ローダーでファイルの処理が終了しました。

原因: 履歴データ・ローダーで、履歴データ・ファイルの処理が正常に完了しました。

処置: なし。

ODG-05645: エラー: メモリーの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05646: エラー: ローダー・ファイルが切り捨てられました。

原因: ローダー・ファイルに、部分的な記録が書き込まれました。

処置: 保存できない場合は、障害になっているローダー・ファイルを削除してください。もしこの問題が何度も起こる場合には、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05647: エラー: メモリーの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05648: エラー: メモリーの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05649: エラー: コレクション開始の要求で、要求 ID が重複しています。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05650: エラー: コレクション・データが NULL です。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05651: エラー: コレクションの開始が見つかりません。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05652: エラー: リポジトリへの接続に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05653: エラー: 表の作成に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05654: エラー: 分析の書込みに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05655: エラー: サービス ID の取出しに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05656: エラー: モジュール ID の取出しに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05657: エラー: クラス ID の取出しに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05658: エラー: 表の作成に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05659: エラー: 索引の作成に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05660: エラー: 文の解析に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05661: エラー: 変数のバインドに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05662: エラー: 変数のバインドに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05663: エラー: 変数のバインドに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05664: エラー: 変数のバインドに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05665: エラー: 変数のバインドに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05666: エラー: 無効なデータ型です。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05667: エラー: 文の実行に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05668: エラー: 文のコミットに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05669: エラー: データのロールアップに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05670: エラー: 環境変数の取得に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05671: エラー: リポジトリへの接続に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05672: エラー: リポジトリへの接続に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05673: エラー: カーソルのオープンに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05674: エラー: 表の更新に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05675: エラー: 文の実行に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05676: エラー: 文のコミットに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05677: エラー: 表の作成に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05678: エラー: 表の作成に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05679: エラー: 表の作成に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05680: エラー: 表の作成に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05681: エラー: 表の作成に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05682: エラー: 表の作成に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05683: エラー: 文の解析に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05684: エラー: 文の実行に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05685: エラー: 文の解析に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05686: エラー: 変数のバインドに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05687: エラー: 変数のバインドに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05688: エラー: 変数のバインドに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05689: エラー: 変数のバインドに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05690: エラー: 変数のバインドに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05691: エラー: 変数のバインドに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05692: エラー: 変数のバインドに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05693: エラー: 変数のバインドに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05694: エラー: 文の実行に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05695: エラー: 文のコミットに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05696: エラー: メモリーの解放に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05697: エラー: 文の解析に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05698: エラー: 出力変数の定義に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05699: エラー: 文の解析に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05700: エラー: 出力変数の定義に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05701: エラー: 行のフェッチに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05702: エラー: 文の解析に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05703: エラー: 変数のバインドに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05704: エラー: 変数のバインドに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05705: エラー: 変数のバインドに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05706: エラー: 変数のバインドに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05707: エラー: 文の実行に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05708: エラー: 文のコミットに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05709: エラー: 文の解析に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05710: エラー: 変数のバインドに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05711: エラー: 文の実行に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05712: エラー: 文のコミットに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05713: エラー: 行のフェッチに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05714: エラー: メモリーの解放に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05715: エラー: 文の解析に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05716: エラー: 出力変数の定義に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05717: エラー: 文の解析に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05718: エラー: 出力変数の定義に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05719: エラー: 行のフェッチに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05720: エラー: 文の解析に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05721: エラー: 変数のバインドに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05722: エラー: 変数のバインドに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05723: エラー: 変数のバインドに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05724: エラー: 変数のバインドに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05725: エラー: 変数のバインドに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05726: エラー: 変数のバインドに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05727: エラー: 文の実行に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05728: エラー: 文のコミットに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05729: エラー: 文の解析に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05730: エラー: 変数のバインドに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05731: エラー: 文の実行に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05732: エラー: 文のコミットに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05733: エラー: 行のフェッチに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05734: エラー: メモリーの解放に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05735: エラー: 文の解析に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05736: エラー: 出力変数の定義に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05737: エラー: 文の解析に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05738: エラー: 出力変数の定義に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05739: エラー: 行のフェッチに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05740: エラー: 文の解析に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05741: エラー: 変数のバインドに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05742: エラー: 変数のバインドに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05743: エラー: 変数のバインドに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05744: エラー: 変数のバインドに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05745: エラー: 文の実行に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05746: エラー: 文のコミットに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05747: エラー: 文の解析に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05748: エラー: 変数のバインドに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05749: エラー: 文の実行に失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05750: エラー: 文のコミットに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05751: エラー: 行のフェッチに失敗しました。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05752: エラー: メモリーの解放に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05753: エラー: ロールアップ索引が無効です。

原因: 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。\$ORACLE_HOME/network/agent/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にオラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05754: 警告: ORACLE_HOME の環境変数が正しく設定されていません。

原因: Data Gatherer が実行されている Oracle ホーム・ディレクトリを検索しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer が正しくインストールされており、Oracle ホーム・ディレクトリが存在しアクセス可能であることを確認してください。

ODG-05755: 警告 : ORACLE_HOME が見つかりません。

原因 : Data Gatherer が実行されている Oracle ホーム・ディレクトリを検索しようとした際に、エラーが発生しました。

処置 : Data Gatherer が正しくインストールされており、Oracle ホーム・ディレクトリが存在しアクセス可能であることを確認してください。

ODG-05756: 警告 : 言語ハンドルをテキストに変換できません。

原因 : Data Gatherer が実行されている Oracle ホーム・ディレクトリを検索しようとした際に、エラーが発生しました。

処置 : Data Gatherer が正しくインストールされており、Oracle ホーム・ディレクトリが存在しアクセス可能であることを確認してください。

ODG-05757: エラー : メッセージ・バッファのメモリの割当てに失敗しました。

原因 : 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置 : 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05758: エラー : メッセージ・バッファのメモリの再割当てに失敗しました。

原因 : 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置 : 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05759: エラー : メッセージの送信に失敗しました。

原因 : Data Gatherer が実行されている Oracle ホーム・ディレクトリを検索しようとした際に、エラーが発生しました。

処置 : Data Gatherer が正しくインストールされており、Oracle ホーム・ディレクトリが存在しアクセス可能であることを確認してください。

ODG-05760: エラー : メッセージ・バッファの解放に失敗しました。

原因 : 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置 : このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05761: エラー : メモリーの割当てに失敗しました。

原因 : 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置 : 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05762: エラー: メモリーの解放に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05763: エラー: データ型が不明です。

原因: Data Gatherer が実行されている Oracle ホーム・ディレクトリを検索しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer が正しくインストールされており、Oracle ホーム・ディレクトリが存在しアクセス可能であることを確認してください。

ODG-05764: エラー: メッセージ・バッファが NULL です。

原因: Data Gatherer が実行されている Oracle ホーム・ディレクトリを検索しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer が正しくインストールされており、Oracle ホーム・ディレクトリが存在しアクセス可能であることを確認してください。

ODG-05765: エラー: 62912 バイトを超える割当てではできません。

原因: Data Gatherer が実行されている Oracle ホーム・ディレクトリを検索しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer が正しくインストールされており、Oracle ホーム・ディレクトリが存在しアクセス可能であることを確認してください。

ODG-05766: エラー: メモリーの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05767: 警告: NULL のポインタを解放しようとしてしました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05768: エラー: 62912 バイトを超える割当てではできません。

原因: Data Gatherer が実行されている Oracle ホーム・ディレクトリを検索しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer が正しくインストールされており、Oracle ホーム・ディレクトリが存在しアクセス可能であることを確認してください。

ODG-05769: エラー: メモリーの割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05770: エラー: データ・ソースが NULL です。

原因: Data Gatherer が実行されている Oracle ホーム・ディレクトリを検索しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer が正しくインストールされており、Oracle ホーム・ディレクトリが存在しアクセス可能であることを確認してください。

ODG-05771: エラー: データの割当てに失敗しました。

原因: Data Gatherer が実行されている Oracle ホーム・ディレクトリを検索しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer が正しくインストールされており、Oracle ホーム・ディレクトリが存在しアクセス可能であることを確認してください。

ODG-05772: エラー: メッセージ・デコード: vppfreparams に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05773: エラー: 起動中に状態情報の初期化に失敗しました。

原因: ターゲット (データベースまたはホスト) に何を収集中かについての情報を含むファイルを読み込もうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: このファイルが壊れているため、このターゲットに関する履歴データは収集されません。参照されているファイルを保存し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。Data Gatherer の使用を続行し、そのターゲットに関連付けられたファイル (ターゲット名を含むファイル) を \$ORACLE_HOME/network/agent/reco ディレクトリから削除して、代替の収集を設定できます。

ODG-05774: クライアントの最大数を超えました: 少し待ってから再度接続を試みてください。

原因: 一度に Data Gatherer に接続できるクライアント数の最大に達しました。

処置: 接続が空くのを待ってから、操作を再実行してください。

ODG-05775: エラー: スレッド情報構造体の割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05776: エラー: クライアントの待機に失敗しました。

原因: クライアントが、Data Gatherer への初期ソケット接続を確立しましたが、接続要求に応答しませんでした。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05777: エラー: クライアント・メッセージ用領域の割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05778: エラー: 環境からのディレクトリ/ファイル情報の取得に失敗しました。

原因: 環境変数の値を取得しようとしてエラーが発生しました。

処置: Data Gatherer のインストールを検証し、環境変数があることを確認してください。

ODG-05779: 警告: ローダーは現在実行中です。次の間隔時に再実行されます。

原因: Data Gatherer 履歴ローダーは、ローダー受渡しの間の間隔で、保留中のデータ・ファイルをすべて処理することはできませんでした。そのため、ローダーはデータ・ファイルの処理を続行し、次の間隔で実行するようにスケジュールされます。

処置: 処理するデータ数を減らすために、ローダー受渡しの間の間隔を短縮することを検討し、データのロードが可能ながざり速くなるようにリポジトリのパフォーマンスを検証してください。

ODG-05782: エラー: リカバリ中のメモリー割当てに失敗しました。

原因: 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05783: エラー: スレッド索引が無効です。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05784: エラー: パラメータの解放に失敗しました。

原因: 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置: このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05785: エラー: データのコレクション中にエラーが発生しました。

原因: 現在要求されているデータを収集するために、収集カートリッジをコールしようとした際に、エラーが発生しました。このエラーには普通、補足のエラー情報が含まれます。

処置: 他のエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05786: 警告: データ・コレクションの間隔を超えました。

原因: 要求されたデータの収集に必要な総時間が、サンプル間の間隔を超えているため、Data Gatherer ではスケジュールどおりの時間に次のサンプルを収集することができません。

処置: データの収集に十分な時間をとるように、収集するデータ数を減らすか、またはサンプル間の間隔を増やすことを検討してください。

ODG-05787: エラー: スレッド索引が無効です。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05788: 警告: メッセージの最大サイズを超えました。インスタンスは切り捨てられます。

原因: クライアントまたは履歴データ・ファイルにデータを送ろうとした結果、データ・メッセージが許容最大サイズより大きくなります。この場合、サイズ制限に達する前の最後の収集クラスのインスタンスで、データが切り捨てられます。

処置: なし。

ODG-05789: エラー: CP スレッドでデータのコレクションに失敗しました。

原因: 現在要求されているデータを収集するために、収集カートリッジをコールしようとした際に、エラーが発生しました。このエラーには普通、補足のエラー情報が含まれます。

処置: 他のエラーを確認して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05790: エラー: コレクション・カートリッジがデータ・ラベルの送信に失敗しました。

原因: 統計セットに関連するラベルを、リアルタイム・クライアントまたは履歴データ・ファイルのいずれかへ送ろうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再実行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05791: エラー: NLS 機能に障害があります。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05792: エラー: SEND_LOADER_INFO_ACK メッセージを組み立てようとした。

原因: 内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行し、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05793: エラー: 履歴データベース接続を検証できません。

原因: Capacity Planner 製品は、指定された履歴データベースに接続できません。

処置: 履歴データベースの場所として使用されるサービス名を含むように、tnsnames.ora ファイルを変更してください。

ODG-05794: エラー: データベース・カートリッジの再初期化に失敗しました。付与された資格証明をチェックしてください。

原因: Capacity Planner ユーザーが、モニター中のデータベース上の接続情報を、正しくない接続情報セットに変更しました。

処置: データベースへの接続に使用されている接続情報が正しいことを確認してください。

ODG-05795: エラー: サービス名にある正しいファイル名の文字を置き換えようとしています。

原因: Data Gatherer が処理しようとしているサービス名が無効です。内部エラー。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05796: エラー: CP データベース /DG のバージョンが一致しません。

原因: Data Gatherer が、互換性のない新しいバージョンに変換された Capacity Planner データベースに、データを書き込もうとしています。

処置: このバージョンの Data Gatherer については、別のユーザーを使用するか、または別のデータベースを使用してデータを格納するように、Capacity Planner データベースを変更してください。

ODG-05797 OCI 機能の処理でエラーが発生しました。

原因: 表領域が領域不足になった可能性があります。問題点を特定する機能とエラーは、このメッセージに続くメッセージによって明確にされます。

処置: 領域の問題であれば、表領域を拡大するか、またはデータファイルを追加する必要があります。機能と関連エラーによって、問題解決に十分な情報が得られない場合には、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05798: エラー: 状態ファイルの再編成 (VP_DEINITIALIZE_REQ) 要求が見つかりません。

原因: 状態ファイルが壊れています。

処置: 状態ファイルを削除する必要があります。コピーを保存してから、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。また、Capacity Planner を介してサービスに再接続し、収集を再度セットアップできます。

ODG-05799: エラー: 状態ファイルの再編成 (VP_END_COLLECT_REQ) 要求が見つかりません。

原因: 状態ファイルが壊れています。

処置: 状態ファイルを削除する必要があります。コピーを保存してから、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。また、Capacity Planner を介してサービスに再接続し、収集を再度セットアップできます。

ODG-05800: エラー: リカバリ・ソケットをオープンできません。

原因: 前の状態情報をリカバリする際に、Data Gatherer の起動に失敗しました。

処置: 再度、Data Gatherer の再起動を試行してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05801: エラー: ファイルの開始をシークできません。

原因: ディスク障害の可能性があります。オープンしたファイルが多すぎます。Data Gatherer の内部エラーです。

処置: Data Gatherer を停止して、再起動してください。それでも問題が解決されない場合、状態ファイルを削除する必要があります。コピーを保存してから、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。また、Capacity Planner を介してサービスに再接続し、収集を再度セットアップできます。

ODG-05802: エラー: 最初の TLD で読み込みエラーが発生しました。

原因: 状態ファイルの第 1 レコードが壊れています。

処置: 状態ファイルを削除する必要があります。コピーを保存してから、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。また、Capacity Planner を介してサービスに再接続し、収集を再度セットアップできます。

ODG-05803: エラー: 最初のレコード本体で読み込みエラーが発生しました。

原因: 状態ファイルの第 1 レコードが壊れています。

処置: 状態ファイルを削除する必要があります。コピーを保存してから、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。また、Capacity Planner を介してサービスに再接続し、収集を再度セットアップできます。

ODG-05804: エラー: ファイルの読み込みには connect_req が必要です。

原因: 状態ファイルが壊れています。

処置: 状態ファイルを削除する必要があります。コピーを保存してから、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。また、Capacity Planner を介してサービスに再接続し、収集を再度セットアップできます。

ODG-05805: エラー: メモリーの割当てに失敗しました。

原因: コンピュータ上で実行中のアプリケーションまたはプログラムが、多すぎる可能性があります。

処置: Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05806: エラー: VP_RECOVERY レコードの書き込みに失敗しました。

原因: Data Gatherer は、状態ファイルに記録を書き込めませんでした。

処置: 状態ファイルが置かれているデバイスで、ディスク領域をチェックしてください。Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05807: エラー: 接続承認メッセージの読み込みに失敗しました。

原因: Data Gatherer で、ソケットからの読み込みエラーが発生しました。

処置: Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05808: エラー: vppinetrs には connect_req_ack が入ります。

原因: 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。メッセージが同期していません。

処置: Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05809: エラー: vppinetrs connect_req の本体が読み込まれました。

原因: 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。

処置: Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05810: エラー: ファイル・メッセージ・ヘッダーの読み込みに失敗しました。

原因: 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。

処置: Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05811: エラー : 状態ファイルの読み込みでエラーが発生しました。

原因 : 状態ファイルのリカバリ中の読み込みエラーです。

処置 : Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05812: エラー : new_connect の書き込みに失敗しました。

原因 : 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。

処置 : 状態ファイルが置かれているデバイスをチェックしてください。Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05813: エラー : save_connect の書き込みに失敗しました。

原因 : 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。

処置 : 状態ファイルが置かれているデバイスをチェックしてください。Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05814: エラー : vppinetr HDR に失敗しました。

原因 : 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケット読み込みに失敗しました。

処置 : Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05815: エラー : connect_req ack または connect_service ack のはずです。

原因 : 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。メッセージが同期していません。

処置 : Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05816: エラー : vppinetr connect_req ack に失敗しました。

原因 : 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケットからの読み込みに失敗しました。

処置 : Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05817: エラー : vppinetws connect_service_req に失敗しました。

原因 : 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケットへの書き込みに失敗しました。

処置 : Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05818: エラー : vppinetr が service ack に接続中。

原因 : 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケット読み込みに失敗しました。

処置 : Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05819: エラー : connect_service_ack のはずです。

原因 : 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケット読み込みエラーのメッセージが同期していません。

処置 : Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05820: エラー : vppinetr connect_service_ack の長さが正しくありません。

原因 : 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケット読み込みに失敗しました。

処置 : Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05821: エラー : ポート番号のデコードに失敗しました。

原因 : 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。メッセージ内容が正しくありません。

処置 : Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05822: エラー : vppstrtonum に失敗しました。

原因 : 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。文字列から数字への変換に失敗しました。

処置 : Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05823: エラー : CP ポート番号が無効です。

原因 : 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。無効なポート番号が渡されました。

処置 : Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05824: エラー : 最初のソケットに対する vppsclose に失敗しました。

原因 : 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケットのクローズに失敗しました。

処置 : Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05825: エラー : vpprecogetsock に失敗しました。

原因 : 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケットの割当てに失敗しました。

処置 : Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05826: エラー : new_connect の vppinetws に失敗しました。

原因: 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。メッセージのソケット書き込みに失敗しました。

処置: Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05827: エラー : save_connect の vppinetws に失敗しました。

原因: 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。メッセージのソケット書き込みに失敗しました。

処置: Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05828: エラー : vppinetr HDR に失敗しました。

原因: 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケットからの読み込みに失敗しました。

処置: Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05829: エラー : slen の vppinetr に失敗しました。

原因: 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケットからの読み込みに失敗しました。

処置: Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05830: エラー : vppinetws に失敗しました。

原因: 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケットへの書き込みに失敗しました。

処置: Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05831: エラー : vppinetr HDR に失敗しました。

原因: 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケットからの読み込みに失敗しました。

処置: Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05832: エラー : slen の vppinetr に失敗しました。

原因: 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケットからの読み込みに失敗しました。

処置: Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05833: エラー：HDR のファイル読み込みに失敗しました。

原因：状態ファイルが壊れています。

処置：状態ファイルを削除する必要があります。コピーを保存してから、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。また、Capacity Planner を介してサービスに再接続し、収集を再度セットアップできます。

ODG-05834: エラー：blen のファイル読み込みに失敗しました。

原因：状態ファイルが壊れています。

処置：状態ファイルを削除する必要があります。コピーを保存してから、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。また、Capacity Planner を介してサービスに再接続し、収集を再度セットアップできます。

ODG-05835: エラー：get_modules または initialize_req の送信に失敗しました。

原因：状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケット書き込みに失敗しました。

処置：Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05836: エラー：vppinetr HDR に失敗しました。

原因：状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケットからの読み込みに失敗しました。

処置：Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05837: エラー：カートリッジの準備が整っていません。再試行されます。

原因：カートリッジが使用できません。通常、データベースまたはノードが停止しています。

処置：いずれも停止していない場合、Data Gatherer は1分に1度、再試行します。

ODG-05838: エラー：vppinetr slen に失敗しました。

原因：状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケットからの読み込みに失敗しました。

処置：Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05839: エラー：ファイル本体の読み込みに失敗しました。

原因：状態ファイルが壊れています。

処置：状態ファイルを削除する必要があります。コピーを保存してから、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。また、Capacity Planner を介してサービスに再接続し、収集を再度セットアップできます。

ODG-05840: エラー : vppinetws に失敗しました。

原因 : 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケットへの書込みに失敗しました。

処置 : Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05841: エラー : vpprecoveredone() ルーチンでエラーが発生しました。

原因 : 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ファイルの改名に失敗しました。

処置 : Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05842: エラー : リカバリ・ファイルのクローズに失敗しました。

原因 : 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ファイルが閉じています。

処置 : Data Gatherer を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

ODG-05843: エラー : このパスでローダーによるデータのロードはありませんでした。

原因 : ローダーでは、履歴データベースにロードするデータ・サンプルが見つかりませんでした。

処置 : ローダーが最後に正しく実行されてから発生したエラーがないかどうか、ファイル dbsnmp.log を確認してください。

Spatial Index Adviser メッセージ

この章では、次の接頭辞が付いたメッセージについて、考えられる原因とお薦めする解決方法を説明します。

メッセージ	参照ページ
SDOA-2000 ～ SDOA-2499 のメッセージ	7-2
SDOX-6000 ～ SDOX-6499 のメッセージ	7-3

SDOA-2000 ~ SDOA-2499 のメッセージ

SDOA-2001: このレイヤーはすでに表示されています

原因: すでに表示されているレイヤーを追加しようとしてしました。

処置: 別のレイヤーを選択してください。

SDOA-2002: データベースが見つかりません。アプリケーションを起動する前に、Enterprise Manager コンソールを使用して、1つ以上のデータベースを検出してください

原因: Oracle Management Server でデータベースが検出されていません。

処置: データベースに直接ログインするか、まず Enterprise Manager コンソールを使用してデータベースを検出してください。

SDOA-2003: ジオメトリを処理できません。ジオメトリには2つ以上のディメンションが必要です

原因: ジオメトリに指定されたディメンションの数が少なすぎるため、ジオメトリを処理できませんでした。

処置: ジオメトリには少なくとも2つのディメンションを指定してください。

SDOA-2004: この別名は他のオブジェクトですすでに使用されています

原因: すでに使用されている別名を選択しました。

処置: 別の別名を選択してください。

SDOA-2005: この別名は無効です。索引の説明と同一です

原因: Adviser で索引として使用される別名と同じ別名を選択しました。

処置: 別の別名を選択してください。

SDOA-2006: 選択された四角形には高さが必要で

原因: ズームまたは問合せ操作を行うために四角形の領域を選択しましたが、四角形に高さがありませ

処置: 四角形を再度選択してください。

SDOA-2007: 選択された円には直径が必要で

原因: 問合せ操作を行うために円形の領域を選択しましたが、領域が空です。

処置: 円を再度選択してください。

SDOA-2008: 選択された多角形には面積が必要で

原因: 問合せ操作を行うために多角形を選択しましたが、領域が空です。

処置: 多角形を再度選択してください。

SDOA-2009: 選択された多角形の辺を互いに交差させることはできません

原因: 問合せ操作を行うために多角形を選択しましたが、多角形の辺のいくつかが交差しています。

処置: 多角形を再度選択してください。

SDOA-2010: 指定した基準を満たすジオメトリがありません

原因: 指定した列の指定した値を持つ表に行がありません。

処置: 別の値または別の列を選択してください。

SDOX-6000 ~ SDOX-6499 のメッセージ

SDOX-6000: 内部エラーが発生しました

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6001: 内部エラー: レイヤーを選択してください

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6002: 内部エラー: 選択されたイメージの色が見つかりません

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6003: 内部エラー: スピン・ボックスを不明な色に設定しようとした

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6004: 内部エラー: スピン・ボックスを不明な色イメージに設定しようとした

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6005: 内部エラー: 四分木分割行が見つかりませんでした

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6006: 内部エラー: レイヤーが凡例表内にありません

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6007: 内部エラー: レイヤーなしで問合せを行うことはできません

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6008: 内部エラー: 問合せタイプが不明です

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6009: 内部エラー: SDO_RELATE 問合せの一部として関係を指定してください

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6010: 内部エラー: SDO_WITHIN_DISTANCE 問合せを指定してください

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6011: 内部エラー: ジオメトリに対する問合せを行ってください

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6012: 内部エラー: ターゲット・サイズが矛盾しています

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6013: 内部エラー: 凡例表のソースに色が見つかりません

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6014: 内部エラー: コピーするオブジェクトに名前がありません

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6015: 内部エラー: サーバーから取得するオブジェクトに名前がありません

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6016: 内部エラー: 表名にスキーマ名が含まれていません

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6017: 内部エラー: レイヤー名にスキーマ、表および列が含まれていません

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6018: 内部エラー: 8i レイヤー・オブジェクトはコミットをサポートしていません

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6019: 内部エラー: 8i レイヤー・オブジェクトは削除をサポートしていません

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6020: 内部エラー: キャンパス用のグラフィックス・オブジェクトを取得できませんでした

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6021: 内部エラー: キャンパス・オブジェクトが初期化されていませんでした

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6022: 内部エラー: キャンパス・オブジェクトを複数回にわたって初期化しようとしました

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6023: 内部エラー: イメージ・オブジェクトが初期化されていませんでした

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6024: 内部エラー: イメージ・オブジェクトを複数回にわたって初期化しようとしました

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6025: 内部エラー: 無効な索引タイプが指定されました

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6026: 内部エラー: 中間層オブジェクトの初期化が不十分です

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6027: 内部エラー: 索引を持たないレイヤーの索引にアクセスしようとした

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6028: 内部エラー: ハイブリッド索引を持たないレイヤーのハイブリッド索引にアクセスしようとした

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6029: 内部エラー: 無効なタイル・タイプが指定されました

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6030: 内部エラー: 索引オブジェクトが初期化されていませんでした

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6031: 内部エラー: 無効な領域タイプが指定されました

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6032: 内部エラー: 指定されたディメンション数が不十分です

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6033: 内部エラー: オブジェクトを追加できません。そのオブジェクトはすでにリストにあります。

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6034: 内部エラー: 指定されたレイヤーを操作できません。そのレイヤーはリストにありません

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6035: 内部エラー: 不明なタイル・タイプが指定されました

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6036: 内部エラー: 索引に別名を設定できません

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6037: 内部エラー: 初期化前に色を読み込もうとしました

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6038: 内部エラー: レイヤーの状態が不明です

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6039: 内部エラー: 現行レイヤーを操作しようとしたが、現行レイヤーがありません

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6040: 内部エラー: タイルを再描画しようとしたが、現在タイルが表示されていません

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6041: 内部エラー: 表示されていないオブジェクトを操作しようとした

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6042: 内部エラー: 全描画を指定できるのはレイヤーに対してのみです

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6043: 内部エラー: イベントに対して無効な操作を実行しようとした

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6044: 内部エラー: 無効なディメンションが指定されました

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6045: 内部エラー: 描画情報に対して無効な操作を実行しようとした

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6046: 内部エラー: すでに停止リスナーを監視しています。複数の停止リスナーの監視はできません。

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6047: 内部エラー: このリスナーを停止できません。現在監視中のリスナーと一致しません。

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6048: 内部エラー: 初期化されていないデータにアクセスしようとした

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6049: 内部エラー: ジオメトリ問合せを指定してください

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6050: 内部エラー: ジオメトリ問合せが指定されました

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6051: 内部エラー: 描画テーブルにこのイメージが見つかりません

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

SDOX-6052: 内部エラー: 停止できません。停止リスナーが登録されていません

原因: これは、通常の状態では発生しないはずの内部開発エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

Oracle Enterprise Manager フレームワーク・メッセージ

この章では、次の接頭辞が付いたメッセージについて、考えられる原因と解決方法を説明します。

メッセージ	参照ページ
VDE-1000 ~ VDE-1999 のメッセージ	8-2
VDI-0000 ~ VDI-0499 のメッセージ	8-3
VDN-4500 ~ VDN-4999 のメッセージ	8-3
VDOUS-00101 ~ VDOUS-00115 のメッセージ	8-3
VDR-7000 ~ VDR-7499 のメッセージ	8-5
VDU-6000 ~ VDU-6499 のメッセージ	8-6

VDE-1000 ~ VDE-1999 のメッセージ

VDE-1003: イベントが不完全です。

原因: 不完全なイベントを登録しようとしてしました。

処置: 登録する前に、イベントを完成してください。

VDE-1004: エージェントとの接続中にシステム・エラーが発生しました。

原因: ターゲットのネーミング・サービスで、Agent との接続中に、リカバリ不可能なエラーが発生しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VDE-1523: ノード<ノード名>に Agent がありません。

原因: リポジトリが破損しているか、そのノードで前回行われた検出に問題がありません。

処置: 再度そのノードで自動検出を開始してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VDE-1524: ライブラリを削除するには権限が不十分です。

原因: 権限がないため、選択したイベント・ライブラリの一部を削除できません。

処置: 必要な権限のあるライブラリのみ、再試行してください。

VD-1525: ユーザーの権限が不十分であるか、他のユーザーが現在そのイベントを操作中であるために、1つ以上のイベントを削除できません。

原因: 権限がないため、削除のために選択したイベント発生の一部を削除できません。

処置: 正しい権限があるイベント発生は、すべて削除されています。ただし、残りのイベント発生を削除するには、適切な権限が必要です。

VD-1527: 権限が不十分であるため、1つ以上のイベント発生を移動できません。

原因: 権限がないため、イベント履歴に移動するために選択した1つ以上のイベント発生を移動できません。

処置: 正しい権限があるイベント発生は、すべてイベント履歴に移動されています。ただし、残りのイベント発生を移動するには、適切な権限が必要です。

VD-1528: 権限が不十分であるため、1つ以上のイベント発生を削除できません。

原因: 権限がないか、別のユーザーが現在操作中であるため、選択した1つ以上のイベントを削除できません。

処置: イベントを削除するには、イベントの所有者から権限を取得するか、スーパー・ユーザーから完全なイベント権限を取得してください。

VDI-0000 ~ VDI-0499 のメッセージ

VDI-0001: 内部エラー - <パラメータ> からの状態変更が無効です。

原因: Oracle Enterprise Manager で、内部エラーが発生しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VDI-0002: システム・エラーが発生しました。

原因: リポジトリ接続が失われたかリポジトリが破損しているため、またはインストールが適切ではないために、内部エラーが発生した可能性があります。

処置: リポジトリに接続できるかどうかを確認してください。リポジトリに接続できる場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。Oracle Enterprise Manager のトレース・ファイルを提出していただいても構いません。

VDN-4500 ~ VDN-4999 のメッセージ

VDN-4510: グループ <グループ名> は存在しません。

原因: グループが別のユーザーによって削除されました。

処置: なし。

VDN-4564: ホスト <ホスト名> を解決できません

原因: Oracle Management Server では、指定した名前のホストがネットワーク上に見つかりませんでした。

処置: ホスト名のスペルを確認してください。ホスト名は、ドメイン名で完全に修飾してください (たとえば、*production* ではなく *production.uk.oracle.com*)。こうすると、別のドメインのノードを検出する際に役立ちます。

VDOUS-00101 ~ VDOUS-00115 のメッセージ

VDOUS-00101: Java VM 作成中のエラーです。

原因: Oracle Management Server のインストールが正しくありません。

処置: Management Pack を再インストールしてください。インストールできない場合には、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VDOUS-00102: CLASSPATH<パス> で、クラス<名前> を検出できません。

原因: 必要なコンポーネントがインストールされていません。

処置: 足りないコンポーネントを再インストールしてください。

VDOUS-00103: クラス<クラス>で、メソッドを検出できません:<メソッド>

原因: CLASSPATH にあるクラス /ZIP ファイルのバージョンが、正しくありません。

処置: 古いバージョンのクラス /ZIP ファイルを削除して、Management Pack を再インストールしてください。

VDOUS-00104: <メソッド>に、新規の Java オブジェクト<名前>を割り当てられません。

原因: Java VM が、メモリー不足です。

処置: すべての Management Pack アプリケーションを終了し、再起動してください。

VDOUS-00106: 割当てを実行するためのメモリーが不足しています。

原因: ブリッジ起動中に問題が発生しました。

処置: 他のアプリケーションをいくつか閉じてから、再試行してください。

VDOUS-00107: <名前>に対する GetDispatchDriver で、CoInitialize に失敗しました。

原因: OLE の初期化において問題が発生しました。

処置: Management Pack を再インストールしてください。

VDOUS-00108: <名前>に対する CLSIDFromProgID に失敗しました。

原因: OLE の初期化において問題が発生しました。

処置: Management Pack を再インストールしてください。

VDOUS-00109: <名前>に対する GetActiveObject/CoCreateInstance に失敗しました。

原因: OLE の初期化において問題が発生しました。

処置: Management Pack を再インストールしてください。

VDOUS-00110: <名前>に対する QueryInterface に失敗しました。

原因: OLE の初期化において問題が発生しました。

処置: Management Pack を再インストールしてください。

VDOUS-00111: <名前>に対する CoInitialize に失敗しました。

原因: OLE の初期化において問題が発生しました。

処置: Management Pack を再インストールしてください。

VDOUS-00112: <名前>に対する CLSIDFromProgID に失敗しました。

原因: OLE の初期化において問題が発生しました。

処置: Management Pack を再インストールしてください。

VDOUS-00113: インタフェース <名前> に対するアクティブ・オブジェクトの取得に失敗しました。

原因: OLE の初期化において問題が発生しました。

処置: Management Pack を再インストールしてください。

VDOUS-00114: インタフェース <名前> に対する IDispatch の取得に失敗しました。

原因: OLE の初期化において問題が発生しました。

処置: Management Pack を再インストールしてください。

VDOUS-00115: インタフェース <名前> に対する DISPID の取得に失敗しました

原因: OLE の初期化において問題が発生しました。

処置: Management Pack を再インストールしてください。

VDR-7000 ~ VDR-7499 のメッセージ

VDR-7000: レジストリへのアクセス中にエラーが発生しました <レジストリ名>

原因: データベース接続が失われたか、無効なトランザクションまたは無効な SQL 操作が発生した可能性があります。エラーの詳細は、例外に含まれています。

処置: 接続が失われた、またはレジストリが停止していた場合であれば、Oracle Management Server を再起動してください。それでも内部エラーが発生する場合には、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡し、メッセージに表示された情報を含む問題レポートを記録しておいてください。

VDR-7001: キー <キー名> を登録できません。

原因: Enterprise Manager Configuration Assistant の実行中に、次のいずれかが発生しました。

- データベース接続の切断
- 無効なトランザクション
- 無効な SQL 操作

処置: Oracle Management Server の構成を再実行してください。

VDU-6000 ~ VDU-6499 のメッセージ

VD-6000: プリンシパルは、アクセスが取り消されたオブジェクトをまだ所有しています。

原因: ユーザーがジョブまたはイベントを所有しているために、ジョブまたはイベント・サブシステム（あるいはその両方）へのアクセスが取り消されています。ジョブまたはイベントは、発行または登録されているだけでなく、対応するライブラリにも常駐しています。

処置: すべてのジョブおよびイベントの所有権を、他のユーザーに割り当ててから、操作を再試行してください。

索引チューニング・ウィザード・ メッセージ

VDKBITW-1000 ~ VDKBITW-1008: メッセージ

VDKBITW-1000: 無効な ORACLE_HOME です。

ORACLE_HOME の現行の値: *string*

原因: ORACLE_HOME に有効な値がありません。

処置: ORACLE_HOME を Oracle Enterprise Manager ホーム・ディレクトリに設定してください。

VDKBITW-1001: 無効なりポジトリ接続情報です。

原因: Oracle Expert またはコマンドラインから受け渡されたりポジトリ接続情報が、失われたか、または無効です。

処置: 有効なりポジトリ接続情報を指定してください。

VDKBITW-1002: Oracle Management Server ドメインの接続情報が無効です。

原因: コンソールまたはコマンドラインから受け渡されたりポジトリ接続情報が、失われたか、または無効です。

処置: 有効な Oracle Management Server 接続情報を指定してください。

VDKBITW-1003: 索引チューニング・ウィザードは Oracle Management Server に接続できませんでした。コンソールを閉じ (または Expert を閉じ)、稼働中の Oracle Management Server に再接続してから、索引チューニング・ウィザードを起動してください。

原因: Oracle Management Server が停止しているか、または再起動の必要があります。

処置: Oracle Management Server を再起動してください。

VDKBITW-1004: Oracle Management Server からのリポジトリ接続情報の取得中にエラーが発生しました。

原因: Oracle Management Server が停止しています。

処置: Oracle Management Server を再起動してください。

VDKBITW-1005: 動的リンク・ライブラリ *string* またはそれに依存している動的リンク・ライブラリの 1 つが見つかりませんでした。

原因: ORACLE_HOME/bin ディレクトリに DLL がありません。

処置: ORACLE_HOME 環境が正しいことを確認するか、再インストールしてください。

VDKBITW-1006: 索引チューニング・ウィザードを起動する前に、有効な優先接続情報リストを持つ Oracle データベースが選択されていることを確認してください。優先接続情報リストを設定するには、コンソールの「構成」メニューから「作業環境 ...」を使用します。

原因: ナビゲータでターゲット・データベースが選択されていなかったか、ナビゲータで選択したデータベースに有効な優先接続情報リストがありませんでした。

処置: コンソールを使用して、ターゲット・データベースの優先接続情報リストが有効であることを確認してください。索引チューニング・ウィザードを起動する前に、ナビゲータでターゲット・データベースが選択されていることも確認してください。

VDKBITW-1007: ターゲット・データベースへの接続に失敗しました。このユーザー名およびパスワードは使用できません。

原因: ターゲットのユーザー名またはパスワード（あるいはその両方）に、NULL 値が含まれています。

処置: コンソールで、ターゲット・データベースに優先接続情報リストを設定するか、またはコマンドラインでユーザー名およびパスワードを渡してください。それでもまだエラーが発生する場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VDKBITW-1008: ターゲット・データベースへの接続が失われました。

原因: ターゲット・データベースに接続しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: 接続を試行したターゲット・データベースが起動していることを確認してください。まだエラーが発生する場合は、TNSNAMES.ORA ファイルにデータベース・エントリがあるかどうか確認してください。それでもまだエラーが発生する場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

10

Oracle TopSessions メッセージ

VMS-00001 ~ VMS-00004: 重要なエラー・メッセージ

VMS-00001: 空ドキュメントの作成に失敗しました。

原因: ドキュメントを作成できませんでした。

処置: パフォーマンス・パックを再インストールしてください。

VMS-00002: OLE の初期化に失敗しました。OLE ライブラリのバージョンを確認してください。

原因: AfxOleInit システム・コールに失敗しました。

処置: OLE ライブラリのバージョンを確認してください。

VMS-00003: パブリック・シノニム <名前> にアクセスできません。これ以上処理できません。「再試行」を押して再接続してください。

原因: 存在していないか、ユーザーにアクセス許可がない可能性があるため、重要なパブリック・シノニムにはアクセスできませんでした。

処置: システム管理者に依頼して、スクリプト CATALOG.SQL を実行してください。

VMS-00004: パブリック・シノニムにアクセスできません。これ以上処理できません。「再試行」を押して再接続してください。

原因: v\$session、v\$sesstat および v\$statname パブリック・シノニムにアクセスできませんでした。シノニムが存在していないか、ユーザーにアクセス許可がない可能性があります。

処置: システム管理者に依頼して、スクリプト CATALOG.SQL を実行してください。

VMS-01000 ~ VMS-01016: 重要でないエラー・メッセージ

VMS-01000: パブリック・シノニム V\$OPEN_CURSOR にアクセスできません。オープン・カーソルを表示できません。

原因: v\$open_cursor は存在しないか、またはユーザーに必要なアクセス許可がありません。

処置: システム管理者に依頼して、スクリプト CATALOG.SQL を実行してください。

VMS-01001: パブリック・シノニム V\$SQLTEXT にアクセスできません。実行計画を表示できません。

原因: v\$sqltext は存在しないか、またはユーザーに必要なアクセス許可がありません。

処置: システム管理者に依頼して、スクリプト CATALOG.SQL を実行してください。

VMS-01002: パブリック・シノニム V\$LOCK にアクセスできません。ロック情報を表示できません。

原因: v\$lock は存在しないか、またはユーザーに必要なアクセス許可がありません。

処置: システム管理者に依頼して、スクリプト CATALOG.SQL を実行してください。

VMS-01003: パブリック・シノニム SYS.DBA_WAITERS にアクセスできません。ブロック化セッションを表示できません。

原因: シノニムが存在しないか、またはユーザーがシノニムへのアクセスに必要な許可を持っていません。

処置: システム管理者に依頼して、スクリプト CATBLOG.SQL を実行してください。そうすれば、ビュー DBA_WAITERS および DBA_LOCKS の列すべての選択権限が付与されます。

VMS-01004: 表 SYS.PLAN_TABLE にアクセスできません。実行計画を表示できません。

原因: sys.plan_table は存在しないか、またはユーザーに必要なアクセス許可がありません。

処置: システム管理者に依頼して、UTLXPLAN.SQL を実行し、この表の列すべてについて SELECT、INSERT および DELETE の権限を自分に付与してください。

VMS-01005: パブリック・シノニム DBA_OBJECTS にアクセスできません。ブロック化セッションを表示できません。

原因: dba_objects は存在しないか、またはユーザーに必要なアクセス許可がありません。

処置: システム管理者に依頼して、スクリプト CATALOG.SQL を実行してください。

VMS-01006: SYS.PLAN_TABLE にアクセスできません。実行計画を表示できません。

原因: sys.plan_table は存在しないか、またはユーザーに必要なアクセス許可がありません。

処置: システム管理者に依頼して、次の操作を実行してください。スクリプト CATALOG.SQL および UTLXPLAN.SQL を実行します。DBA_WAITERS のすべての列について SELECT 権限を付与します。そして、SYS.PLAN_TABLE のすべての列について SELECT、INSERT および DELETE の権限を付与します。

VMS-01007: システムがタイマーの割当てに失敗しました。

原因: タイマーをシステムから取得できませんでした。

処置: タイマーを使用する他のアプリケーションをクローズしてみてください。

VMS-01008: データベースへの接続に失敗しました。

原因: データベース・セッションをオープンできませんでした。

処置: 別のユーザー名、パスワードまたは接続文字列を指定してください。

VMS-01009: ファイル topsess.opt が見つかりません。

原因: オプション・ファイル topsess.opt が見つかりませんでした。

処置: デフォルト・オプションを指定し、続行してください。すでに存在する場合、Oracle TopSessions はこのファイルを再作成します。

VMS-01010: topsess.opt ファイルの読み込みに問題があります。

原因: オプション・ファイル topsess.opt を読み込めません。

処置: デフォルト・オプションを指定し、続行してください。すでに存在する場合、Oracle TopSessions はこのファイルを再作成します。

VMS-01011: topsess.opt ファイルに書き込めませんでした。

原因: オプション・ファイル topsess.opt ファイルに書き込みできません。

処置: このファイルは読取り専用か、またはディスク領域が足りません。

VMS-01012: topsess.opt ファイルに変換できませんでした。

原因: オプション・ファイル topsess.opt に変換できません。

処置: このファイルは読取り専用か、またはディスク領域が足りません。

VMS-01013: これ以上処理できません。「再試行」を押して再接続してください。

原因: データベースに接続できません。

処置: 「再試行」ボタンを押して、再接続してください。

VMS-01014: SYS.DBA_WAITERS および SYS.PLAN_TABLE がアクセス可能かどうか検証できません。アクセス可能と仮定しています。

原因: SYS.DBA_WAITERS および SYS.PLAN_TABLE がアクセス可能かどうかを確認できません。

処置: なし。

VMS-01015: パブリック・シノニム V\$ROLLNAME にアクセスできません。ロック情報を表示できません。

原因: v\$rollname パブリック・シノニムにアクセスできません。存在していないか、アクセス許可がない可能性があります。

処置: システム管理者に依頼して、スクリプト CATALOG.SQL を実行してください。

VMS-01016: パブリック・シノニム AUDIT_ACTIONS にアクセスできません。セッション・コマンドを表示できません。

原因: audit_actions パブリック・シノニムにアクセスできません。存在していないか、アクセス許可がない可能性があります。

処置: システム管理者に依頼して、スクリプト CATALOG.SQL を実行してください。

VMS-02000 ~ VMS-02009: 情報メッセージ

VMS-02000: 問合せによって行は戻されませんでした。

原因: 問合せを実行しても、行が戻されませんでした。

処置: なし。

VMS-02001: 使用可能なデータはありません。

原因: 問合せでデータが戻されませんでした。

処置: なし。

VMS-02002: 「名前」フィールドに入力する必要があります。

原因: 「名前」フィールドの妥当性チェックに失敗しました。

処置: 適切なフィールドに名前を入力してください。

VMS-02003: 「パスワード」フィールドに入力する必要があります。

原因: 「パスワード」フィールドの妥当性チェックに失敗しました。

処置: 適切なフィールドにパスワードを入力してください。

VMS-02004: 非 DML コマンドの場合は、実行計画を実行できません。

原因: Explain plans は、SELECT、UPDATE および DELETE コマンドの場合のみ表示できます。

処置: なし。

VMS-02005: Oracle TopSessions をクローズしますか。

原因: 本当に TopSessions アプリケーションをクローズするのかを確認しています。

処置: 終了するには「はい」を、続行するには「いいえ」を押してください。

VMS-02006: このセッションを切断すると、データは消えてしまいます。データベースを切断しますか。

原因: 本当にデータベース接続を変更するのかを確認しています。

処置: 変更するには「はい」を押してください。

VMS-02007: このセッションを削除しますか?

原因: 本当にこのセッションを中断するのかを確認しています。

処置: 変更するには「はい」を押してください。

VMS-02008: データベースに接続し、操作を再試行してください。

原因: データベースに接続されていません。

処置: データベースに接続し、操作を再試行してください。

VMS-02009: セッション・リフレッシュ間隔を大きくして、適切な間隔にしてください。

原因: 自動セッション・リフレッシュ間隔が短すぎます。

処置: セッション・リフレッシュ間隔を長く設定してください。

Agent ゲートウェイ・メッセージ

VNI-2000 ~ VNI-4999 のメッセージ

VNI-2001: キュー処理機能のエラー

原因: Agent が、ジョブ・キュー・ファイルからのジョブ・データにアクセスできませんでした。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VNI-2002: ファイル操作エラー

原因: Agent が、次のいずれかのファイルにアクセスできませんでした。ジョブ・キュー、ジョブ状態、ジョブ出力、ジョブ入力パラメータ・ファイル、ジョブ・スクリプト・ファイル。

処置: Agent が適切にインストールされていることを確認してください。Agent のインストールを検証する方法については、『Oracle Intelligent Agent ユーザーズ・ガイド』を参照してください。Agent ファイルがどれも編集されておらず、\$ORACLE_HOME/network/agent の下に追加ディレクトリが作成されていないことを検証します。

VNI-2003: メモリー・マネージャ・エラー

原因: Agent は、ジョブの完了に必要なメモリーを割り当てられませんでした。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VNI-2006: ジョブが見つかりません。

原因: Agent は、指定されたジョブ ID を検出できませんでした。Oracle Management Server リポジトリが、Agent のキュー・ファイルと同期していない可能性があります。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VNI-2007: TCL スクリプトが見つかりません。

原因: Agent は、ジョブの実行に必要なスクリプトを検出できませんでした。発行されたジョブが、Agent マシンに常駐している Tcl スクリプトを参照しており、そのスクリプトが使用できない可能性があります。

処置: ターゲット・マシンの Agent が正しくインストールされていることを確認してください。

VNI-2008: 必須入力欠落しています。

原因: ジョブのスクリプト・パラメータが欠落しています。

処置: 必要なパラメータをすべて入力してジョブを発行してください。

VNI-2009: ジョブ・タスク・パラメータの合計が長すぎます。

原因: ジョブ・タスク・パラメータを合計した長さが長すぎます。

処置: 次の制約を満たすように、パラメータを修正してください。

- ユーザー名およびパスワード・パラメータの長さは、半角英数字で 29 文字以下
- ターゲット名の長さは、半角英数字で 79 文字以下。
- スケジュール文字列の長さは、半角英数字で 255 文字以下。
- ジョブ引数の全体の長さは、半角英数字で 1,023 文字以下。

VNI-2010: スケジュール・エラー。ターゲット・ノードで、スケジュールの終了時刻がすでに経過している可能性があります。

原因: ジョブをスケジュールした時刻がすでに過ぎていたか、ジョブ・スケジュール文字列の解析中にエラーが発生したため、ジョブのスケジュールに失敗しました。

処置: 「ジョブ」プロパティ・シート「スケジュール」ページの各パラメータをチェックしてください。

VNI-2011: 最大入力ファイル数を超えています。

原因: ジョブに対する入力ファイルの数が 5 を超えています。

処置: 入力ファイルの数を 5 以下にしてジョブを発行してください。

VNI-2012: そのようなユーザーは存在しません

原因: Agent は、指定されたジョブ ID に対するリポジトリを検出できませんでした。Oracle Management Server リポジトリが、Agent のキュー・ファイルと同期していない可能性があります。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VNI-2013: 未処理の TCL が存在します。割込みはできません。

原因: 実行中のジョブは削除できません。

処置: ジョブの削除は、実行の完了後に行ってください。

VNI-2015: ターゲット・ノードのノード優先接続情報リストが無効または付与されている権限が不十分であるため、操作を完了できません。Windows プラットフォームでは、Windows のターゲットに指定されているノード接続情報は、「バッチ・ジョブとしてログオン」権限を付与されている必要があります。

原因: ターゲット・ノードについて設定された、オペレーティング・システムのユーザー接続情報が正しくありませんでした。Agent は、この情報を検証および使用してジョブを実行します。

処置: 「管理者作業環境」プロパティ・シートの「優先接続情報リスト」ページで、ターゲット・ノードについて、オペレーティング・システムのユーザー接続情報を正しく設定してください。詳細については、『Oracle Enterprise Manager 構成ガイド』を参照してください。

VNI-2016: ジョブのフォークに失敗しました。

原因: Agent は、ジョブの実行に必要なオペレーティング・システム・プロセスを作成できませんでした。

処置: 「管理者作業環境」プロパティ・シートの「優先接続情報リスト」ページで、ターゲット・ノードについて、オペレーティング・システムのユーザー接続情報を正しく設定してください。Agent のマシンで実行中のプロセス数をチェックしてください。オペレーティング・システムによっては、プロセス数が制限されている場合があります。

VNI-2017: ジョブの実行中にエージェントが再起動されました。

原因: ジョブ・プロセスの実行中に Agent が再起動されました。

処置: ジョブを再発行してください。

VNI-2018: ジョブ出力が失われました。

原因: ファイル・エラーのため、ジョブ出力を書き込めませんでした。

処置: Agent のマシンで、使用可能な領域、ディレクトリに対する許可、およびシステム・リソースを確認してください。

VNI-2019: スレッドを再開できませんでした。

原因: 内部エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VNI-2020: システム・リソースが不足しています。

原因: システム・リソース不足のため、何度か試してもジョブ・プロセスを起動できませんでした。

処置: ジョブの数を少なくして、システムの負荷を減らしてください。

VNI-2021: 暗号鍵初期化エラー。

原因: Oracle Management Server と Agent 間で安全な通信チャネルを確立しようとして失敗しました。

処置: Oracle Management Server と Agent が稼働しているかどうかを確認し、ネットワーク接続をチェックしてください。

VNI-2022: 暗号化操作に失敗しました。

原因: 復号化に失敗しました。

処置: 操作を再試行しても問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VNI-3001: 内部エラー: キュー処理機能のエラー

原因: Agent が、イベント登録キュー・ファイルからのイベント・データにアクセスできませんでした。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VNI-3002: エージェント・エラー・メッセージ

原因: Agent は、登録キュー・ファイルまたはイベント状態ファイルにアクセスできませんでした。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VNI-3003: 内部エラー: メモリー・マネージャ

原因: 登録またはイベント通知報告の際に、Agent は必要なメモリーを割り当てられませんでした。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VNI-3004: 内部エラー: TCL エラー

原因: 登録と、その後のスケジュール済評価においてイベント Tcl スクリプトを評価した際に、Agent が Tcl スクリプト・エラーを検出しました。

処置: イベント・テスト・パラメータの設定が正しいこと、Agent が正しくインストールされていることを確認してください。

VNI-3005: イベント・テストは、同じターゲットに対する同じパラメータ値で EM ユーザーによってすでに登録されています。

原因: パラメータ値が等しい同一のイベント・テストを 2 つ持つイベントが登録されているか、または Oracle Management Server リポジトリが Agent のキュー・ファイルと同期していません。

処置: パラメータのセットを変えて、イベントを再登録してください。

VNI-3006: イベントが見つかりません。

原因: Agent は、指定されたイベント ID を検出できませんでした。Oracle Management Server リポジトリが、Agent のキュー・ファイルと同期していない可能性があります。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VNI-3007: TCL スクリプトが見つかりません。

原因: Agent が、イベントのスクリプトを検出できませんでした。Agent マシンに常駐するイベント Tcl スクリプトが、誤って削除された可能性があります。

処置: Intelligent Agent を再インストールし、システム上ですべてのイベント・ファイルが用意されていることを確認してください。インストールできない場合には、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VNI-3008: 必須入力欠落しています。

原因: イベントを識別する所定のパラメータが欠落しています。

処置: 指摘されたパラメータの値を入力してからイベントを登録してください。

VNI-3009: 文字列の最大値を超えています。

原因: 文字列の最大長を超えています。

処置: 次の制約を満たすように、パラメータを修正してください。

- イベント名の長さは、半角英数字で 79 文字以下
- ターゲット名の長さは、半角英数字で 79 文字以下
- イベント引数の全体の長さは、半角英数字で 79 文字以下

VNI-3011: ユーザー表にユーザーが見つかりません。

原因: Oracle Management Server リポジトリが、Agent のキュー・ファイルと同期していません。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VNI-3012: 修正ジョブ登録がすでに存在しています。

原因: 登録された 2 つのイベントには、パラメータ値と頻度が等しく、修正フラグの付いた同一のイベント・テストがあります。このイベントは同一のユーザーによって、または 2 人のユーザーによって登録されました。

処置: ジョブが一意になるように、パラメータ値を微修正してください。

VNI-3013: 修正要求が出されましたが、ジョブはスケジュールされていません。

原因: ジョブとイベント・キューの状態が一致していません。Agent の異常終了が原因かもしれません。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VNI-3014: 間隔が短かすぎます。

原因: イベントの頻度パラメータが、30 秒未満になっています。

処置: 頻度パラメータが 30 秒を超えるように設定してください。

VNI-3015: 接続に失敗しました。

原因: ゲートウェイと Agent の間の RPC 接続が正しくないか、または Agent が停止している可能性があります。

処置: Agent を再起動してください。

VNI-3016: 暗号鍵初期化エラー。

原因: Oracle Management Server と Agent 間で安全な通信チャネルを確立しようとして失敗しました。

処置: Oracle Management Server と Agent が稼働しているかどうかを確認し、ネットワーク接続をチェックしてください。

VNI-3017: 暗号化操作に失敗しました。

原因: 復号化に失敗しました。

処置: 操作を再試行しても問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VNI-4001: ローカル・ホストの IP アドレスを解決できませんでした。

原因: Agent ゲートウェイは、そのマシンの TCP/IP ホスト名を取得できませんでした。

処置: TCP/IP の構成をチェックして、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VNI-4002: 不明ゲートウェイの例外 *string*

原因: なんらかの異常な状態によるエラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。Oracle Management Server のトレース・ファイルが必要になることが想定されます。Oracle Management Server のトレースについての情報は、『Oracle Enterprise Manager 構成ガイド』を参照してください。

VNI-4009: このノードのエージェントに接続できません。エージェントが停止しているか、またはノードに対するネットワーク通信に障害がある可能性があります。

原因: ネットワークの負荷が高い、あるいはノード上のハードウェア / ソフトウェアの問題が生じている可能性があります。

処置: ノードが操作可能であることを確認してください。ノードを ping して、ネットワーク接続を確認してください。ネットワークの問題については、ネットワーク管理者に連絡してください。

VNI-4016: 現在、このイベントに関連付けられた修正ジョブが、ターゲット *string* に対して発行されていません。イベント定義とアクティブ・ジョブ・パネルをチェックし、関連付けられた修正ジョブが有効かどうかを確認してください。

原因: Oracle Management Server リポジトリが、Agent のキュー・ファイルと同期していません。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VNI-4017: 不正な vni コントローラの指示

原因: 発行しようとするジョブまたはイベントのタスク従属構造が無効です。ジョブまたはイベントは壊れている可能性があります。

処置: ジョブまたはイベントを削除し、再度作成してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください

VNI-4018: アダプタへの入力が無効です。

原因: 発行しようとするジョブまたはイベントのタスク従属構造が無効です。ジョブまたはイベントは壊れている可能性があります。

処置: ジョブまたはイベントを削除し、再度作成してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください

VNI-4021: 認識されていないスケジュール詳細クラスがトークンにあります。

原因: ジョブのスケジュール・パラメータが正しくありません。

処置: 「ジョブ」プロパティ・シート「スケジュール」ページの各パラメータをチェックしてください。

VNI-4022: V1 のスケジュール文字列が正しくありません

原因: ジョブのスケジュール・パラメータが正しくありません。

処置: 正しいスケジュール文字列を設定してジョブを発行してください。

VNI-4025: タスクから出力が戻されませんでした。

原因: 発行したジョブは、出力をまったく持たないか、または実行中に壊れた可能性があります。

処置: ジョブに出力がある場合は、ジョブ・スクリプトをチェックしてそれが正しいことを確認し、再発行してください。出力がない場合には、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VNI-4026: 検出が失敗しました : *string*

原因: Oracle Management Server を起動したユーザーが、Oracle Enterprise Manager の一時ディレクトリへの書込み許可を持っていない可能性があります。ゲートウェイでは、検索プロセスで一時ディレクトリを使用します。

処置: Oracle Management Server を起動したユーザーに、Oracle Enterprise Manager の一時ディレクトリへの書込み許可を付与してください。一時ディレクトリは、\$ORACLE_HOME/sysman/temp にあります。

VNI-4027: 同報通信タスクのための受信側パラメータは、このエージェントではサポートされません。

原因: 「受信者」パラメータに非 NULL 値を持つ配布ジョブが、Agent に発行されました。Agent では「受信者」フィールドはサポートされていません。

処置: Agent に対しては、「受信者」フィールドに値を入力せずにジョブを発行してください。

VNI-4028: ゲートウェイ・レジストリへのアクセス中のエラー : *string*

原因: Oracle Management Server のリポジトリへの接続が失われました。

処置: Oracle Management Server のスキーマが格納されているリポジトリの状態をチェックしてください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください

VNI-4029: 無効なタスク名 : *string*

原因: ジョブ・タスクおよびイベント・テストを識別する際に、Oracle Management Server または Agent ゲートウェイで、存在しないタスク名が内部的に使用されました。タスク名が NULL であるか、またはレジストリに保持されている有効タスクのリスト内に見つかりませんでした。Oracle Management Server、Agent ゲートウェイ、またはインストールに問題があるためのエラーです。

処置: Oracle Enterprise Manager が正しくインストールされていることを確認してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VNI-4030: 無効なタスク : *string*

原因: タスクでは必要なインタフェースが実装されません。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VNI-4031: 無効なリスナー名

原因: 発行したリスナー・ジョブまたはリスナー・イベントについて、有効なリスナー名が生成されませんでした。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VNI-4032: エージェントのロック中のエラー : *string*

原因: Oracle Management Server リポジトリ表をロックする際にエラーが発生しました。

処置: Oracle Management Server のスキーマが格納されているリポジトリの状態をチェックしてください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください

VNI-4033: リポジトリへのアクセス中のエラー : *string*

原因: Oracle Management Server リポジトリにアクセスできません。

処置: Oracle Management Server のスキーマが格納されているリポジトリの状態をチェックしてください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください

VNI-4034: 重複したイベント・テストは許可されません。 *string* は重複したイベント・テストです。

原因: 発行されたイベントには、重複する2つのイベント・テストがあります。

処置: イベントを編集して、重複するイベント・テストを削除してください。

VNI-4035: イベント・テスト *string* は、同じターゲットに対する EM ユーザーによってすでに登録されています。

原因: 類似のイベント・テストが、同じターゲットにすでに発行されています。

処置: すでに登録されているイベントを登録解除してから、新規のイベントを登録してください。

VNI-4036: イベント・テスト *string* は、同じターゲットに対する同じパラメータ値で EM ユーザーによってすでに登録されています。

原因: 同じ引数を持つイベント・テストが、このターゲットにすでに発行されています。

処置: すでに登録されているイベントを登録解除してから、新規のイベントを登録してください。

VNI-4038: メモリー不足です。ジョブ出力が大きいことが原因です。

原因: Oracle Management Server では、ジョブ出力の収集に必要なメモリーを割り当てられませんでした。これは、戻されたジョブの出力が大きいことが原因です。

処置: Management Server を実行中のノードで、メモリーを解放してください。

VNI-4039: メモリー不足のため出力が切り捨てられます。ジョブ出力が大きいことが原因です。

原因: 必要なサイズのメモリーが割り当てられなかったため、ジョブ出力が切り捨てられました。これは、ジョブの出力が大きい場合に起こります。

処置: 問題が解決しない場合は、最大ジョブ出力サイズを小さくすることを検討してください。

VNI-4040: Oracle Management Server は、エージェント (*string*) と同期がとれていません。または、エージェント (*string*) へのその通信がハングしています。

原因: Oracle Management Server リポジトリが、Agent のキュー・ファイルと同期していません。次の 3 つのうちの 1 つが原因であると考えられます。

状況 1: 新規 Oracle ホームに新しい Agent をインストールしましたが、旧 Oracle ホームから *.q ファイルをコピーしていませんでした。

処置: Agent を停止後 *.q ファイルをコピーして、Agent のバックアップを取得します。Oracle Enterprise Manager コンソール内からノードをリフレッシュします。

状況 2: Agent キュー・ファイルがユーザーによって誤って削除されました。

処置: Agent を停止します。Oracle Enterprise Manager コンソールのナビゲータからノードを削除します。これにより、既存のジョブ / イベントを削除するように求められます。ジョブおよびイベントを削除した後、コンソールのナビゲータを縮小および拡張して、ツリーをリフレッシュし、ノードが削除されているかどうかを確認します。

状況 3: 2 つ以上の Agent が同じノード上に存在します。ある時点で、ジョブおよびイベントが 1 つの Agent に対して発行されました。対象の Agent が停止され、他の Agent が起動されました。そこで、ジョブおよびイベントが、2 番目の Agent に対して発行されました。

処置: 適切な Agent を起動し、Oracle Enterprise Manager コンソールのナビゲータからノードをリフレッシュします。

状況 4: ネットワークの問題または Agent のマシンがクラッシュしたために、Management Server と Agent 間の通信が停止しました。

処置: Agent マシンの TCP/IP ping を行います。次に Management Server マシンから Agent マシンに ping を行って、ネットワークの接続をチェックします。これに成功したら、次の Oracle Net tnsping コマンドを入力して Agent が稼動していることを検証します。

```
tnsping (address=(protocol=tcp) (host=agent-hostname) (port=1748))
tnsping (address=(protocol=tcp) (host=agent-hostname) (port=1754))
```

これが ORA-12541 エラーで失敗した場合は、Agent が稼動しておらず、再起動が必要であることを意味しています。

VNI-4041: エージェントのバージョンを取り出せません: *string*

原因: Oracle Management Server を起動したユーザーが、Oracle Enterprise Manager の一時ディレクトリへの書込み許可を持っていない可能性があります。ゲートウェイでは、検索プロセスで一時ディレクトリを使用します。

処置: Oracle Management Server を起動したユーザーに、Oracle Enterprise Manager の一時ディレクトリへの書込み許可を付与してください。一時ディレクトリは、\$ORACLE_HOME/sysman/temp にあります。

VNI-4042: エージェントとの安全な通信に失敗しました。OMS は保護モードで動作しています。OMS を非保護モードで実行するか、安全な通信をサポートするバージョンにエージェントをアップグレードしてください。

原因: Agent と Oracle Management Server 間の通信に問題があります。このエラーは、ジョブ発行、イベント登録、ノード・リフレッシュの最中に発生する可能性があります。このエラーは通常、Agent と Management Server とがファイアウォールによって切り離されているときに、適切なポートがオープンされていない場合に発生します。

処置: ファイアウォールによって Management Server と Agent が切り離されている場合、ファイアウォールには次のセキュリティ・ルールが構成されている必要があります。

- TCP のポート 1748、1754: Management Server は新規のターゲットを検出するために Agent と通信します。
- TCP のポート 7772: Agent が Management Server と通信します。
- TCP のポート 7773: Agent が SSL を使用して Management Server と通信します。

VNI-4044: エージェントに接続できません。ノードが停止している、またはネットワークが停止しているか遅い可能性があります。

原因: ノードへのアクセスに問題があります。

処置: ノードが起動し、実行中であることを確認してください。ノードの物理的ネットワーク接続を確認してください。ping を試行し、ノードが応答することを確認してください。ネットワークの問題がある場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。

VNI-4045: エージェントに接続できません。ノードのエージェントが稼働していません。

原因: ノードへのアクセスは可能ですが、Agent が稼働していません。

処置: Agent を起動してください。Microsoft Windows NT クライアント上で実行中の場合、コントロールパネルの「サービス」ダイアログ・ボックスから Agent サービスを起動してください。UNIX ベースのクライアント上で実行中の場合は、コマンド `lsnrctl dbsnmp_start` を使用してください。

VNI-4048: エージェント内部エラー (たとえば、メモリー不足、オペレーティング・システム・エラーなど)

原因: 内部エラーです。

処置: Agent が適切にインストールされていることを確認してください。Agent のインストールを検証する方法については、『Oracle Intelligent Agent ユーザーズ・ガイド』を参照してください。Agent ファイルがどれも編集されておらず、`$ORACLE_HOME/network/agent` の下に追加ディレクトリが作成されていないことを検証します。

VNI-4049: エージェント・ゲートウェイ内部エラー *string*

原因: これは通常、一時的なエラーです。

処置: Oracle Management Server と Agent ノード間のネットワーク接続を確認してください。

VNI-4050: エージェントは稼働していますが、バージョンに互換性がありません

原因: Oracle Management Server と、それよりもバージョンの新しい Agent との間で通信を行うと発生します。Management Server でサポートされる最新バージョンの Agent は、Management Server に同梱されて出荷されます。

処置: Management Server と互換性のある Agent を使用していることを確認してください。互換性のあるバージョンについては、『Oracle Enterprise Manager 構成ガイド』を参照してください。

VNI-4052: ターゲットまたはターゲット・タイプが無効です

原因: このエラーは Agent が認識しないターゲットに対してジョブやイベントが発行された場合に発生します。これは以前に検出済のターゲットが削除された、または Agent ホストの構成に問題がある場合に起こります。

処置: ターゲットが本当に削除されている場合には、その情報も Enterprise Manager コンソールから削除される必要があります。最初にそのターゲットに対して存在しているすべての既存のジョブとイベントを削除します。次にコンソールのナビゲータ・ツリーからターゲットを削除します。

VNI-4053: イベント・テスト *string* の登録は、*string* エージェントに対してサポートされていません。エージェントをバージョン *string* 以上にアップグレードしてください

原因: このバージョンの Agent では、このイベント・テストの登録はサポートされていません。

処置: このイベント・テストがサポートされているバージョン以降の Agent にアップグレードしてください。

VNI-4054: Oracle Management Server は、エージェント (*string*) と同期がとれていません。

原因: これはノードのリフレッシュ中に発生する可能性があります。このエラーは、Oracle Management Server が Agent のキュー・ファイルと同期していないために発生します。次の3つのうちの1つが原因であると考えられます。

状況 1: 新規 Oracle ホームに新しい Agent をインストールしましたが、旧 Oracle ホームから *.q ファイルをコピーしていませんでした。

処置: Agent を停止後 *.q ファイルをコピーして、Agent のバックアップを取得します。Oracle Enterprise Manager コンソール内からノードをリフレッシュします。

状況 2: Agent キュー・ファイルがユーザーによって誤って削除されました。

処置: Agent を停止します。Oracle Enterprise Manager コンソールのナビゲータからノードを削除します。これにより、既存のジョブ / イベントを削除するように求められます。ジョブおよびイベントを削除した後、コンソールのナビゲータを縮小および拡張して、ツリーをリフレッシュし、ノードが削除されているかどうかを確認します。

状況 3: 2 つ以上の Agent が同じノード上に存在します。ある時点で、ジョブおよびイベントが 1 つの Agent に対して発行されました。対象の Agent が停止され、他の Agent が起動されました。そこで、ジョブおよびイベントが、2 番目の Agent に対して発行されました。

処置: 適切な Agent を起動し、Oracle Enterprise Manager コンソールのナビゲータからノードをリフレッシュします。

12

コンソール・メッセージ

この章では、次の接頭辞が付いたメッセージについて、考えられる原因とお薦めする解決方法を説明します。

メッセージ	参照ページ
VTC-1000 ~ VTC-1127: 一般的なコンソールのメッセージ	12-2
VTCE-1232 ~ VTCE-1237: イベント管理メッセージ	12-5
VTCV-1344: ユーザー管理コンポーネント・メッセージ	12-6
VTCX-1337 ~ VTCX-1350: ジョブおよびイベント管理メッセージ	12-6
VTCDW-1000 ~ VTCDW-5999 のメッセージ	12-8

VTC-1000 ~ VTC-1127: 一般的なコンソールのメッセージ

VTC-1000: 管理者 *string* を編集する際にエラーが発生しました。

原因: 管理者が存在しなくなったか、または Oracle Management Server が使用できなくなりました。

処置: 「管理者の管理」ダイアログ・ボックスを閉じてから、再度オープンしてください。Oracle Management Server が停止している場合は、再起動して、Oracle Management Server (またはリポジトリを共有する別のサーバー) に再度ログインしてください。

VTC-1001: この操作に必要なアクセス権限がありません。

原因: 実行しようとしたタスクに関しては、適切な権限を付与されていません。

処置: このタスクを実行するには、すべての権限を付与されて操作の所有者となるか、またはスーパー管理者となる必要があります。

VTC-1002: 有効なユーザー名を入力してください。ユーザー名が空の場合や、先頭または末尾に空白が入ったユーザー名は無効です。

原因: ユーザー名が無効か、または入力されていません。

処置: 有効なユーザー名を入力してください。

VTC-1003: 有効なパスワードを入力してください。パスワードが空の場合や、先頭または末尾に空白が入ったパスワードは無効です。

原因: パスワードが無効か、または入力されていません。

処置: 有効なパスワードを入力してください。

VTC-1004: パスワード確認に失敗しました

原因: 「パスワードの確認」フィールドのパスワードが、パスワードと異なります。

処置: 両方に同じパスワードを入力してください。

VTC-1005: "*string*" という名前の管理者はすでに存在します。一意の名前を選択してください。

原因: 指定した管理者名は、他の管理者によって使用されています。

処置: 管理者に別の名前を指定してください。

VTC-1006: 管理者作成中のエラー

原因: たとえば、Oracle Management Server の停止など、コンソールの範囲を超えた例外が発生しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTC-1007: この管理者は、現在、Oracle Enterprise Manager にログインしています。アクティブな管理者は削除できません。

原因: まだシステムにログインしている管理者を削除しようとしたため。

処置: 削除を試行する前に、削除する管理者がシステムからログアウトしたことを確認してください。

VTC-1009: 行った変更はすべて失われます。続行しますか。

原因: 作成中のジョブまたはイベントの宛先を変更しました。宛先を変更すると、行った変更がすべて失われます。

処置: 始めから変更しなおすには「OK」を、作業内容を保持するには「取消」をクリックしてください。

VTC-1011: ターゲットを削除する際にエラーが発生しました。問題をすべて検証し、解決してから、ターゲット削除を再試行してください。

原因: Oracle Enterprise Manager コンソールから、データベース、リスナー、ノード、または検出されたその他のサービスを削除する際に、エラーが発生しました。エラーの詳細は、このメッセージに付記されています。

処置: サービスの削除を再試行するなど、修正処理を行ってください。

VTC-1016: ジョブまたはイベント・サブシステムへのアクセスを取り消せません

原因: ジョブまたはイベント・サブシステムへのアクセスの取消しに失敗しました。

処置: 失敗の詳細を検証して、修正処理を行ってください。

VTC-1017: イベント・サブシステムへのアクセスは *string* によって取り消されました。

原因: このユーザーによるイベント・サブシステムへのアクセスを、スーパーユーザーが取り消しました。イベントの登録および表示の権限が取り消されています。

処置: 適切と思われる場合、アクセスを取り消した管理者、または他のスーパー・ユーザーは、再度アクセス権を付与できます。必要であれば、これらのユーザーに問い合わせで取消しを修正してください。

VTC-1018: ジョブ・サブシステムへのアクセスは *string* によって取り消されました。

原因: このユーザーによるジョブ・サブシステムへのアクセスを、スーパーユーザーが取り消しました。ジョブの発行および表示の権限が取り消されています。

処置: 適切と思われる場合、アクセスを取り消した管理者、または他のスーパーユーザーは、再度アクセス権を付与できます。必要であれば、これらのユーザーに問い合わせで取消しを修正してください。

VTC-1118: 何も選択されていません。ツリーからオブジェクトを選択し、コマンドを起動してください。

原因: 画面でリフレッシュが発生し、それ以前の選択はリフレッシュ・データのために失われました。

処置: データを再選択してください。

VTC-1119: 適切な項目を選択してからコマンドを起動してください。

原因: 現在の選択内容が、選択したメニュー・オプションと対応していません。

処置: 項目を選び直してから、再度メニューを選択してください。

VTC-1120: このコマンドでは複数の項目を選択できません。項目を1つのみ選択してください。

原因: 1項目に対してのみ適用可能なコマンドです。

処置: このコマンドは、1項目のみを選択してから適用してください。

VTC-1123: グループ *string* を初期化できませんでした。

原因: コンソールで、表示するグループの初期化が試行されました。Oracle Management Server またはネットワークが停止しています。

処置: 操作を再試行し、グループ・ウィンドウをクローズしてから、再度オープンしてください。

VTC-1124: グループ *string* を削除できませんでした。

原因: 削除できないグループを削除しようとしてしました。

処置: オブジェクトを削除する適切な権限がありません。このタスクを実行するには、すべての権限が必要です。また、削除しようとしたグループが存在しない可能性もあります。

VTC-1125: ノードを拡張できません。データベースが起動中の場合のみ、データベース管理オブジェクトを表示するためにデータベース・ノードを拡張できます。

原因: ノード上のデータベースが停止しています。ノードには1つのデータベースしかないため、ノードを拡張してデータベース管理オブジェクトを表示することはできません。

処置: データベースが起動していることを確認してから、操作を実行してください。

VTC-1127: 権限が不十分なため、この操作を実行できません。

原因: オブジェクト削除の権限を含む「すべて」の権限を持たずに、操作を実行しようとしてしました。

処置: このタスクを実行するためには、「すべて」の権限を取得してください。

VTCE-1232 ~ VTCE-1237: イベント管理メッセージ

VTCE-1232: 「一般」 ページ: イベント名が未指定です。

原因: 名前を割り当てずにイベントを発行しようとしてしました。

処置: 名前を指定してからイベントを発行してください。

VTCE-1233: 「一般」 ページ: イベントにはターゲット・リストが必要です。

原因: イベントが登録される先のターゲットを指定せずに、イベントを発行しようとしてしました。

処置: 1 つ以上のターゲットをイベントに指定するか、またはイベントをイベント履歴に保存してください。

VTCE-1234: 権限が不適切なため、要求された操作は実行できません。

原因: 実行しようとした操作に関して、適切な権限を付与されていません。

処置: コマンドに対する適切な権限を付与されていることを確認してください。

VTCE-1235: この名前によるライブラリ・イベントはすでに存在します。

原因: 既存のオブジェクトと同じ名前でオブジェクトを登録しようとしてしました。Oracle Enterprise Manager では、複数のオブジェクトが同じ名前を持つことはできません。

処置: 登録しようとするオブジェクトに、別の名前を指定してください。

VTCE-1236: イベント頻度が 60 秒未満です。60 秒以上に指定してください。

原因: 作成しようとするイベントの頻度（システムがイベントの発生をテストする回数）が、60 秒未満です。

処置: イベントの頻度は 60 秒以上に指定してください。

VTCE-1237: このイベントに関連付けられた修正ジョブは、無効になりました。その修正ジョブが存在しないか、またはその修正ジョブに関連付けられたターゲットが変更されています。デフォルトを「なし」に設定してください。

原因: 修正ジョブが無効なライブラリ・イベントを編集しようとしてしました。修正ジョブが削除された（自分または他のユーザーによって）か、または修正ジョブを発行した先のターゲットが変更されたために、修正ジョブは無効になっています。

処置: 修正ジョブを変更してイベントを編集してください。

VTCV-1344: ユーザー管理コンポーネント・メッセージ

VTCV-1344: 管理者 *string* が見つかりません

原因: Oracle Management Server が停止しているか、または管理者が削除されました。

処置: 操作を再試行してください。

VTCX-1337 ~ VTCX-1350: ジョブおよびイベント管理メッセージ

VTCX-1337: 発行操作は、空のターゲット・リストや不完全なパラメータでは実行できません。かわりにライブラリに保存してください。

原因: 発行しようとするイベントは、宛先が指定されていないか、または必要なパラメータが指定されていません。

処置: 宛先と、必要なすべてのパラメータが指定されているかどうか確認してください。

VTCX-1338: 発行されたオブジェクトが不完全です。編集しますか。

原因: ライブラリから、不完全な操作を発行しようとした。

処置: ジョブまたはイベントに、必要項目をすべて指定してから発行してください。

VTCX-1340: 操作に失敗しました。オブジェクトが使用不可か、破損しています。

原因: ジョブまたはイベントを編集または表示している際に、コンソールで再構成しようとしたジョブ・タスクまたはイベント・テストのデータが壊れています。

処置: インストールを確認してください。

VTCX-1341: Oracle Management Server は使用不可です。使用可能な Oracle Management Server に接続してアプリケーションを再起動し、操作を再試行してください。

原因: Oracle Management Server が停止しているか、または Oracle Management Server とアプリケーションの間の接続に失敗しました。

処置: Oracle Management Server およびネットワークの状態を確認してください。

VTCX-1342: ターゲット・タイプが無効です。

原因: 現在のジョブ / イベントまたはテスト / タスクに、無効なターゲット・タイプが指定されました。

処置: 特定のジョブ / イベントまたはテスト / タスクは、特定タイプのターゲットにしかな行できないため、適切なターゲット・タイプを選択する必要があります。

VTCX-1346: 発行操作は、空のターゲット・リストでは実行できません。かわりにライブラリに保存してください。

原因: 実行しようとした発行操作が不完全です。

処置: 発行操作に完全な詳細を指定するか、またはライブラリに保存してください。

VTCX-1347: 発行操作は、不完全なタスクのパラメータでは実行できません。かわりにライブラリに保存してください。

原因: 発行しようとしたタスクが不完全です。

処置: タスクに完全な詳細を指定するか、またはライブラリに保存してください。

VTCX-1348: メモリー不足エラー: 現在のテキスト領域に出力を表示できません。出力が大きすぎます。

原因: ジョブによって、出力が大きくなっています。コンソールのメモリー状態のために、ジョブ出力はテキスト領域にロードできませんでした。

処置: なし。

VTCX-1349: 次のタスクは、記述子にエラーがあるために使用不可です:

原因: タスク記述子が正しく書かれていないため、Oracle Enterprise Manager はタスク記述子をロードできませんでした。

処置: タスク記述子を正しく書きなおしてください。

VTC-1350: 最後の項目にアクセス中にリカバリ不能なエラーが発生しました。このダイアログ・ボックスを取り消して操作を再試行することをお勧めします。

原因: ジョブ / イベントの「パラメータ」ページでのタスク / テストの選択は変更されましたが、現選択内容がありません。

処置: ダイアログ・ボックスを閉じて、操作を再試行してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターにご報告ください。

VTCX-1351: タスク *:string:* がインストールされていない可能性があります。現行の操作を続行できません。

原因: タスクが見つかりませんでした。おそらく、このタスクが Oracle Enterprise Manager レジストリには登録されていても、Enterprise Manager のインストール時に一緒にインストールされなかったためです。

処置: タスクを Enterprise Manager インストールに統合してください。

VTCX-1353: サブシステムごとに最低 1 つ以上の通知条件を指定してください。

原因: 電子メール / ポケットベル通知チェックボックスをチェックしましたが、通知条件が選択されていませんでした。

処置: 通知チェックボックスをチェックする場合は、通知条件を少なくとも 1 つチェックしてください。

VTCX-1354: オブジェクトが見つかりません。ビューをリフレッシュしてください。

原因: 履歴ビューをリフレッシュする前に、別のユーザーがジョブ / イベント履歴からオブジェクトを削除しました。

処置: 「履歴のリフレッシュ」ボタンを使用して、履歴ビューをリフレッシュしてください。

VTCTX-1355: 安全な通信チャネルを確立できません。

原因: クライアントでは、サーバーへの安全な通信チャネルを確立できません。

処置: Oracle Management Server が実行中であることを確認し、操作を再試行してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。Oracle Enterprise Manager のトレース・ファイルを提出していただいても構いません。

VTCDW-1000 ~ VTCDW-5999 のメッセージ

VTCDW-1010: 検出 / リフレッシュ・ウィザードはすでに実行されています。

原因: 1 インスタンスを超える検出 / リフレッシュ・ウィザードを実行しようとした。

処置: 別の検出 / リフレッシュ操作を実行する前に、検出 / リフレッシュ・ウィザードの最初のインスタンスをクローズしてください。

VTCDW-1011: アドレス <string> の <string> のポート番号をデコードできません。

原因: アドレスを正しく解析できませんでした。ポート番号をデコードできませんでした。この状態は内部エラーです。

処置: 構成済のノードからデータベースを削除し、ノード構成情報を再入力して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに問題を報告してください。

VTCDW-1012: ノード<ノード名>の構成データを取得できません。

原因: データの取得中に Oracle Management Server からエラーが戻されました。これは、通常は発生しない内部エラーです。

処置: 構成済のノードを削除し、ノードの情報を再入力して、オラクル社カスタマ・サポート・センターに問題を報告してください。

VTCDW-1013: ノード<ノード名>は以前に検出されており、構成できません。

原因: ノードは以前に検出されています。この状態はまれに、ノードのリフレッシュを行わなかった場合や、「進行」ページの完了後に別のユーザーがノードを検出した場合に起こることがあります。

処置: このノードを構成しようとししないでください。

VTCDW-1015: ノード<ノード名>には構成がありません。構成しないままの場合、このノードは管理対象ノードのリストに追加されません。

原因: このノードに対してデータベースを入力しませんでした。新たに構成したノードをナビゲータに表示するには、そのノードに対してデータベースを構成する必要があります。

処置: このノードを管理対象ノードのリストに含める場合、少なくとも1つのデータベース構成をノードに追加してください。

VTCDW-1016: 次のノードには構成がありません :< ノード名 > 構成しないままの場合、これらのノードは管理対象ノードのリストに追加されません。

原因: リストされたノードに対してデータベースを入力しませんでした。新たに構成したノードをナビゲータに表示するには、そのノードに対してデータベースを構成する必要があります。

処置: 管理対象ノードのリストに追加するノードに対して、少なくとも1つのデータベース構成をそれぞれ追加してください。

VTCDW-1021: ノード< ノード名 > の構成が不完全です。処理を続行するには、構成を完全にするか、削除してください。

原因: ノードのデータベース構成の一部が、部分的に入力されていました。

処置: 構成を完成させるか、削除してください。

VTCDW-1022: 次のノードには不完全な構成があります。完成させてから先に進んでください。

原因: 一部のノードのデータベース構成が、部分的に入力されていました。

処置: 構成を完成させるか、削除してください。

VTCDW-1035: ファイルのインポート:< ファイル名 > が見つかりません。

原因: ユーザーが指定したファイルをインポート中にエラーが発生しました。

処置: ファイルが存在し、判読可能であり、テキスト・ファイルであることを確認してください。

VTCDW-1041: 次のノードは手動で構成されています:< ノード名 > これらのノードで Intelligent Agent が検出された場合は、作業環境を含むすべての構成データが消失します。これらのノードを自動検出しますか？

原因: 現在手動で構成されているノードのリフレッシュを選択しました。

処置: これらのファイルをリフレッシュすることも、リフレッシュを中止することもできます。詳細は、Oracle Enterprise Manager のオンライン・ヘルプを参照してください。

VTCDW-1051: Oracle Management Sever と通信中にエラーが発生しました。

原因: Oracle Management Server が停止しているか、応答していない可能性があります。

処置: Oracle Management Server から切断し、再試行してください。

VTCDW-1052: 不明なエラーが発生しました。

原因: エラーは不明ですが、おそらく論理エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTCDW-1061: いくつかのノードで、自動検出に失敗しました。もう一度検出するか、Oracle Intelligent Agent が定義されていないノードを手動で構成するには、「次へ」をクリックしてください。

原因: 「進行」 ページでエラーが報告されました。

処置: 「次へ」 をクリックして別のオプションを選択するか、「取消」 をクリックして終了してください。

VTCDW-1063: ノードの処理中に検出を取り消しても、このノードに対する検出は自動的に停止しません。ノードが検出される、または検出に失敗するまで処理は続行します。コンソール・ナビゲータには、検出、またはリフレッシュされたノードのみが表示されます。取り消すには「はい」 をクリックしてください。

原因: ノードの検出中にウィザードを取り消そうとしました。

処置: 「はい」 をクリックしてウィザードを終了するか、「いいえ」 をクリックしてウィザードを継続するか、あるいは「ヘルプ」 をクリックして詳細を参照してください。

Oracle Data Collection Service メッセージ (クライアント層)

VTD-0001 ~ VTD-0114 のメッセージ

VTD-0001: トレース情報をファイルへ書き込む際に、Data Gatherer クライアントでエラーが発生しました。エラー・メッセージ番号を書きとめ、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

原因: トレース情報をファイルに書き込もうとした際に、Data Gatherer クライアントでエラーが発生しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTD-0002: トレース中のエラー: *string* トレース出力の生成中に Data Gatherer クライアントでエラーが発生しました。発生した例外はエラーとともにレポートされます。エラー・メッセージ番号を書きとめ、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

原因: トレース出力を生成しようとした際に、Data Gatherer クライアントでエラーが発生しました。発生した例外は、エラー・メッセージとあわせて表示されます。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTD-0003: ローカル・ホスト取得中のエラー: *string* ローカル・ホスト名の識別中に、Data Gatherer クライアントで表示されたエラーが発生しました。エラー・メッセージ番号を書きとめ、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

原因: ローカル・ホスト名を識別しようとした際に、Data Gatherer クライアントで指定のエラーが発生しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTD-0005: Data Gatherer クライアントが Data Gatherer サーバーへの接続に失敗しました。通常、このエラーは、接続障害の理由を示す追加エラーとともにレポートされます。追加エラーを確認してください。追加エラーがレポートされていない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

原因: Data Gatherer クライアントが、Data Gatherer サーバーへの接続に失敗しました。このエラーにはふつう、接続失敗の原因を示す補足のエラーが伴います。

処置: 補足のエラーを確認してください。補足エラーの表示がない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTD-0028: 接続できません。Data Gatherer サーバーは他のクライアントにより使用されています。

原因: Data Gatherer サーバーへの接続を試行しましたが、サーバーは現在、1 クライアントからの要求のみ処理しています。これは通常、Capacity Planner クライアントが接続を試行している場合に限られます。

処置: 現在接続しているクライアントが接続を切断するまで待つてから、操作を再試行してください。

VTD-0030: Data Gatherer に通信エラーがあります。

原因: Data Gatherer サーバーへ要求を送信しようとした際に、エラーが発生しました。このエラーにはふつう、失敗の原因を示す補足のエラーが伴います。

処置: 補足のエラーを確認してください。補足エラーの表示がない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTD-0039: 指定したスキーマは、履歴データベースではありません。

原因: Capacity Planner データベースへの接続を試行し、データベース接続には成功しました。しかし接続したスキーマには、Capacity Planner データベースと特定できる表がありません。これらの表は、収集されたデータの最初のロード時に、Data Gatherer サーバーによってダイナミックに作成されます。

処置: Loader オプションで、指定したスキーマが履歴データベースのリポジトリであると識別された場合は、Loader が初めて実行されるのを待ってから、このデータにアクセスを試行してください。

VTD-0044: 接続情報取得中のエラー: *string*

原因: Oracle Enterprise Manager コンソールから、選択したターゲットのログイン接続情報を取得しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: 詳細は、補足エラーを確認してください。

VTD-0046: 記録開始中のエラー: *string*

原因: 現在のグラフの記録を開始しようとしてエラーが発生しました。このエラーは通常、関連する他のエラーを伴って表示されます。

処置: 関連エラーを確認してください。関連エラーが表示されない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTD-0048: プレイバックにファイルが指定されていません

原因: 記録されたグラフをプレイバックしようとした際に、その記録のバイナリ・データを含むファイルが見つかりませんでした。

処置: この記録は再生できません。

VTD-0049: プレイバック初期化中のエラー: *string*

原因: グラフの記録をプレイバックしようとして、エラーが発生しました。このエラーには通常、関連する他のエラーが伴います。

処置: 関連エラーを確認してください。他のエラー表示がない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTD-0052: プレイバック・ファイル *string* をリセットできませんでした

原因: プレイバック・ファイルのリセット操作が失敗しました。

処置: 操作を再試行してください。

VTD-0053: ヘルプを表示できません。ヘルプ・システムが初期化されていないか、ヘルプ・ブック *string* が見つかりませんでした

原因: このアプリケーションのオンライン・ヘルプ・ファイルにアクセスしようとして、エラーが発生しました。このエラーには、関連する他のエラーが伴います。

処置: 関連エラーを確認してください。他のエラー表示がない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTD-0054: ヘルプ取得中のエラー

原因: オンライン・ヘルプを検索しようとしてエラーが発生しました。このエラーには、関連する他のエラーが伴います。

処置: 関連エラーを確認してください。他のエラー表示がない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTD-0055: ヘルプを使用できません。ヘルプ・サブシステムを初期化できません

原因: ヘルプのサブシステムを初期化しようとしてエラーが発生しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTD-0057: リポジトリ接続中のエラー。 *string*

原因: Oracle Enterprise Manager リポジトリまたは Oracle Management Server (あるいは、その両方) への接続を試行した際に、エラーが発生しました。このエラーには、関連する他のエラーが伴います。

処置: 関連エラーを確認してください。他のエラー表示がない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTD-0058: リポジトリ・ベースの操作は使用不可です。

原因: Oracle Enterprise Manager リポジトリまたは Oracle Management Server (あるいは、その両方) への接続を確立せずに、アプリケーションを起動しようとしてしまいました。このモードの操作はサポートされていますが、リポジトリ・ベースの操作はできません。これには、ユーザー定義グラフや記録を保存する操作などがあります。

処置: なし。

VTD-0059: リポジトリの妥当性チェックができません。

原因: ユーザーが接続したリポジトリが、有効な Oracle Enterprise Manager リポジトリであること、およびアプリケーションのバージョンと互換性のあるバージョンであることを検証しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTD-0061: エラー: ログオンに対する接続情報が指定されていません

原因: リポジトリ・ログインのダイアログ・ボックスに、接続情報が何も指定されていません。

処置: 接続情報を指定してください。

VTD-0073: サービス・タイプ取得中のエラー : *string*

原因: Oracle Management Server からサービスのリストを取得しようとして、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置: 他のエラーを確認してください。他のエラー表示がない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTD-0074: Data Gatherer 接続の待機中タイムアウトです。指定したタイムアウト期間中に、Data Gatherer サーバーへの接続を確立できませんでした。Data Gatherer が起動されていることを確認し、操作を再試行してください。

原因: 指定されたタイムアウト時間内に、Data Gatherer サーバーへの接続を確立できませんでした。

処置: Data Gatherer が起動していることを確認して、操作を再試行してください。

VTD-0075: サービス *string* の Capacity Planner 接続は、ホスト *string* ではすでにクライアント・ホスト *string* によって使用されています

原因: Data Gatherer サーバーへの接続を試行しましたが、他のクライアントがすでに、履歴収集を設定するために Data Gatherer への接続を確立しています。

処置: 他のクライアントが接続を切断するまで待つから、接続を再試行してください。

VTD-0076: サービス *string* の Data Gatherer と通信できません。Data Gatherer に接続されていません *string*

原因: Data Gatherer サーバーに要求を送信しようとしたが、Data Gatherer サーバーとの初期接続が失われています。

処置: 操作を再試行してください。この場合、ターゲットとの接続を切断してから、再接続する必要がある場合があります。

VTD-0077: サービス *string* の Data Gatherer 要求の処理中にエラーが発生しました

原因: 特定の Data Gatherer 要求で、エラーが発生しました。このエラーには通常、関連する他のエラーが伴います。

処置: 関連エラーを確認してください。他のエラー表示がない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTD-0078: サービス・ノード取得中のエラー : *string*

原因: Oracle Management Server から、サービスが配置されるホストを取得しようとした際に、エラーが発生しました。このエラーには通常、関連する他のエラーが伴います。

処置: 関連エラーを確認してください。他のエラー表示がない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTD-0079: Data Gatherer からの読み込み中にタイムアウトが発生しました。サービス *string* への接続が失われました

原因: 要求に対して、タイムアウト時間内に応答がありませんでした。Data Gatherer クライアントでは、Data Gatherer が応答しないと判断して、そのサービスを切断します。

処置: Data Gatherer が起動、実行していることを検証してから、そのサービスの Data Gatherer に再接続して、操作を再試行してください。

VTD-0080: Data Gatherer からの応答読み込み中にエラーが発生しました。サービス *string* への接続が失われました

原因: Data Gatherer からデータの読み込みを試行中に、エラーが発生しました。Data Gatherer クライアントは、そのサービスの Data Gatherer との接続を切断します。

処置: Data Gatherer が起動、実行していることを検証してから、そのサービスの Data Gatherer に再接続して、操作を再試行してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください

VTD-0082: サービス取得中のエラー: *string*

原因: サービスのリストを取り出そうとしてエラーが発生しました。このエラーには通常、関連する他のエラーが伴います。

処置: 関連エラーを確認してください。他のエラー表示がない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTD-0084: 項目 *string* のヘルプは使用できません

原因: 現在選択している項目には、使用できるオンライン・ヘルプがありません。

処置: なし。

VTD-0090: サービス接続情報のクラス *string* をロードできません

原因: 選択したサービスのログイン接続情報を取得する際に使用されるコードを検索しようとして、エラーが発生しました。このエラーには通常、関連する他のエラーが伴います。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTD-0091: ターゲット・アイコンとラベル表示のクラス *string* をロードできません

原因: 選択したサービスのアイコンとラベルを取得する際に使用されるコードを検索しようとして、エラーが発生しました。このエラーには通常、関連する他のエラーが伴います。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTD-0093: 無効な Management Server 接続情報です

原因: Oracle Management Server へのログイン時に指定されたログイン接続情報が無効なため、ログインを完了できませんでした。

処置: Oracle Management Server が起動しているかどうか、接続情報が正しいかどうかを検証してください。

VTD-0094: クライアント・プロパティ・ファイルからのキー *string* の読み込み中にエラーが発生しました

原因: クライアントのプロパティ・ファイル (`vtdclient.properties`) から読み込みを試行した際に、エラーが発生しました。このファイルは、ユーザーによって変更または削除できません。

処置: プロパティ・ファイルがアクセス可能であり、変更されていないことを確認してください。

VTD-0095: 時間の文字列 *string* の解析中にエラーが発生しました

原因: 履歴データベースから取り出された日付データのフォーマットが正しくないため、日付として解析できません。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTD-0096: オブジェクト・ヘルプは分析ビューでは使用できません。

原因: 分析ビューの参照中は、特定のサービスで使用可能なデータ項目のポップアップ・オブジェクト・ヘルプを Oracle Capacity Planner で表示できません。

処置: Oracle Capacity Planner の収集ビューに戻り、特定のサービスで使用可能なデータ項目のポップアップ・ヘルプを参照してください。

VTD-0097: *string* の Data Gatherer が再起動され、*string* の収集リカバリが進行中です。リカバリの完了を待って接続を再試行してください。

原因: Agent データ収集サービスの再起動中に、サービスに接続しようとしてしました。

処置: データ収集サービスが再起動した後、リカバリ操作を完了してから、サービスに接続してください。

VTD-0098: スクリプト・コマンド評価中のエラー。Oracle Capacity Planner で、ユーザー定義収集クラスの SQL 文によって作成された列を評価中に、エラーが発生しました。エラー・メッセージ内の詳細に従って、スクリプトのエラーを修正し、「評価」を再度クリックしてください。

原因: ユーザー定義収集クラスの SQL 文によって作成された列の評価中に、Oracle Capacity Planner でエラーが発生しました。エラーの詳細は、エラー・メッセージのサブテキストに表示されます。

処置: エラー・メッセージ内の詳細に従ってスクリプト内のエラーを修正し、再度「評価」をクリックしてください。

VTD-0099: `vtdclient.properties` ファイルからのプロパティ / オプション / *string* 取得中のエラー。

原因: アプリケーションがプロパティ・ファイル (`vtdclient.properties`) からオプションを読み込もうとして、エラーが発生しました。前のセッションで保存されたオプションは使用できない可能性があります。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTD-0100: ツール *string* に指定した Java クラスが見つかりません。

原因: 指定したツールの初期化中に、Oracle Performance Manager でエラーが発生しました。ツールは通常、Performance Manager の「表示 グラフ」ウィンドウの「ツール」メニューから使用できます。このエラーが発生するツールは、正しくインストールされていない可能性があります。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTD-0101: ツール *string* に指定した Java クラスにアクセスできません。

原因: 指定したツールの初期化中に、Oracle Performance Manager でエラーが発生しました。ツールは通常、Performance Manager の「表示 グラフ」ウィンドウの「ツール」メニューから使用できます。このエラーが発生するツールは、正しくインストールされていない可能性があります。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTD-0102: ツール *string* に指定した Java クラスのインスタンスを作成できません。

原因: 指定したツールの初期化中に、Oracle Performance Manager でエラーが発生しました。ツールは通常、Performance Manager の「表示 グラフ」ウィンドウの「ツール」メニューから使用できます。このエラーが発生するツールは、正しくインストールされていない可能性があります。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTD-0103: ツール *string* に指定した Java クラスは有効なツール・クラスではありません。

原因: 指定したツールの初期化中に、Oracle Performance Manager でエラーが発生しました。ツールは通常、Performance Manager の「表示 グラフ」ウィンドウの「ツール」メニューから使用できます。このエラーが発生するツールは、正しくインストールされていない可能性があります。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTD-0104: ツール *string* に指定した ID は未定義のツールです。

原因: 指定したツールの初期化中に、Oracle Performance Manager でエラーが発生しました。ツールは通常、Performance Manager の「表示 グラフ」ウィンドウの「ツール」メニューから使用できます。このエラーが発生するツールは、正しくインストールされていない可能性があります。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTD-0105: このクライアント・バージョン *string* は、接続されたエージェント *string* をサポートしていません。

原因: クライアントでサポートされていないバージョンの Agent データ収集サービスを使用して、サービスに接続しようとしてしました。旧バージョンのクライアント・アプリケーションでは、新しいバージョンの Agent データ収集サービスと通信できません。

処置: 別の場所にある Data Gatherer の使用をサポートするサービスの場合は、サービスを選択し (Capacity Planner を使用している場合、収集ビューを参照している必要があります)、マウスの右ボタンをクリックしてください。ポップアップ・メニューから、「サービスに接続」を選択し、「データベースのログオン」ダイアログボックスで「接続詳細」を選択します。表示されるダイアログ・ボックスで、クライアント・アプリケーションの現行バージョンと互換性のあるバージョンのデータ収集ソフトウェアが稼働しているホストを選択します。クライアント・ソフトウェアをアップグレードすることもできます。

VTD-0106: 暗号化サービスを初期化しようとしてエラーが発生しました。

原因: サービスのログイン接続情報を暗号化中に、アプリケーションでエラーが発生しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTD-0107: 接続情報データを暗号化しようとしてエラーが発生しました。

原因: サービスのログイン接続情報を暗号化中に、アプリケーションでエラーが発生しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTD-0108: 接続情報データを復号化しようとしてエラーが発生しました。

原因: ログイン接続情報の暗号化および復号化のためにセキュア通信を確立しようとした際に、アプリケーションでエラーが発生しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTD-0109: グラフ印刷中のエラー。

原因: グラフを印刷しようとして失敗しました。詳細は、メッセージのサブテキストを参照してください。

処置: エラー・メッセージの情報に従ってもエラーが解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTD-0110: 使用できるリポジトリ接続情報がありません。アプリケーションがリポジトリに接続されていません。

原因: Oracle Management Server に接続していません。そのため、リポジトリ接続情報を使用してデフォルトの履歴データベースに接続することができません。

処置: アプリケーションを再起動して、Oracle Management Server に接続してください。

VTD-0111: このサービスに定義されている統計クラスはありません。

原因: サービスに定義されている統計クラスがありません。そのため、統計データが使用できません。

処置: なし。

VTD-0112: vtdclient.properties ファイル内のプロパティ / オプション / string 設定中のエラー。

原因: 指定したユーザー・オプションをオプション・ファイル (vtdclient.properties) に保存できませんでした。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTD-0113: ユーザー定義グラフのデータ項目を変更または追加するには、バージョン 8.1.6 以上の Data Gatherer を実行している必要があります。

原因: バージョン 8.1.6 以前の Agent データ収集サービスを使用して、ユーザー定義のデータ項目を追加または変更することはできません。

処置: Agent ソフトウェアをアップグレードしてください。

VTD-0114: このツールに URL が指定されていません。

原因: ブラウザが起動されましたが、対応する URL がないため表示できません。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

Oracle Management Server メッセージ (クライアント層)

VTK-1000 ~ VTK3027 のメッセージ

VTK-1000: Management Server *string* に接続できません。Oracle Management Server の正しいホスト名およびステータスを入力したかどうかを検証してください。

原因: 前述の Oracle Management Server への接続に失敗しました。

処置: 入力したホスト名が正しいことを確認し、Oracle Management Server の状態を検証してください。

VTK-1001: Management Server のホスト名が正しくありません。正しいホスト名を入力したかどうかを検証してください。

原因: Management Server のホスト名が正しく入力されていません。

処置: Management Server のホスト名を正しく入力したかどうかを確認してください。

VTK-1002: 接続先の Oracle Management Server は、まだ初期化処理中です。完全に起動するまで待つてから、再度ログインを試行してください。

原因: Oracle Management Server の初期化が完了していないため、ログインに失敗しました。

処置: Oracle Management Server が完全に起動するまで待つてから、再度ログインを試行してください。

VTK-1004: クライアント・レジストリ読み込み中の致命的なエラー。異常終了します。

原因: ClientConfig. プロパティ・ファイルが壊れています。

処置: ファイルを改名してから、ログイン・ダイアログ・ボックスを再起動してください。

VTK-3027: *string* の起動に失敗しました。詳細情報を得るためのトレース機能を使用可能にしてください。

原因: アプリケーションの起動失敗には、いくつか基本的な理由があります。

1. 選択したデータベースが、手動で検出されました (ユーザーは、コンソールで手動で Host:Port:SID 情報を入力しました。Agent での検出は失敗しました。)。Agent を使用した検出を試行し、Host:Port:SID を手動で入力しないでください。
2. 選択したデータベースに、有効な優先接続情報リストが設定されていません。コンソールで「システム」→「作業環境」を選択し、「優先接続情報リスト」タブを選択します。「データベース」サービス・タイプを検索し、検索結果から起動するデータベースを選択します。データベースの優先接続情報リストを設定します。コンソールのナビゲータ・ツリーからデータベースをオープンして検証します。
3. 選択したデータベースのノードに、有効な優先接続情報リストがありません。コンソールで「システム」→「作業環境」を選択し、「優先接続情報リスト」タブを選択します。「ノード」サービス・タイプを検索し、データベースが常駐するノードを選択します。ノードの優先接続情報リストを設定します。

処置: 前述の考えられる原因および処置を検討してください。それでも問題が解決しない場合は、トレースを実行してエラー箇所を特定してください。トレース情報で問題を修正できない場合、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

Oracle Performance Manager メッセージ

VTM-0001 ~ VTM-6903 のメッセージ

VTM-0001: 警告: 接続した Data Gatherer は不安定なバージョン *string* です。最新のバージョンにアップグレードする必要があります。続行しますか。

原因: 接続されているデータ収集システムは、プリリリース・バージョンなので、使用しないでください。

処置: Data Gatherer をアップグレードしてください。

VTM-0002: グラフ表示中のエラー

原因: 現行のグラフを表示しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: 同時に表示されるエラー・テキストに、エラーの詳細が表示されます。

VTM-0003: *string* のデータ項目が多すぎます。表示されたデータは完全ではありません。収集データ項目数を減らすか、データの損失を防ぐために、グラフ・タイプを切り替えてください。

原因: 表示用に選択したデータ項目の数が、グラフ作成パッケージでサポートされている数よりも多くなっています。

処置: グラフに組み込むデータ項目の選択数を減らしてください。

VTM-0004: ログイン接続情報取得中のエラー

原因: Oracle Enterprise Manager コンソールからデータベース・ログイン接続情報を取得しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTM-0005: サーバー接続中のエラー

原因: 選択したターゲットの Data Gatherer への接続を試行中に、エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTM-0006: この名前のサービスはすでに存在します

原因: ナビゲータで新規のサービスを作成しようとしたしましたが、選択したターゲット・タイプには、指定したサービス名がすでに存在しています。

処置: 既存のサービスを使用するか、または一意の名前になるように新規のサービス名を変更してください。

VTM-0007: このサービス・タイプの収集カートリッジは使用できません

原因: 選択したターゲットの収集データ・モジュールのリストを取得しようとしたが、ターゲット・サーバー上の Data Gatherer には、そのタイプ用に登録されたモジュールがありません。

処置: なし。ターゲット・サーバー上では、このターゲット・タイプのデータ収集はサポートされていません。

VTM-0008: Oracle Performance Manager の致命的なエラー

原因: 致命的でリカバリ不能なエラーが発生しました。エラー・テキストに、問題の詳細が示されています。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTM-0019: ナビゲータ・ノード拡張中のエラー

原因: ナビゲータ内のフォルダの内容を取得しようとして、エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer が起動され、アクセス可能であることを確認してから、操作を再試行してください。再び操作に失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTM-0021: 通常のプレイバックの再開中のエラー

原因: プレイバックを再開し、記録ファイルからデータの読み込みを続行した際に、エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTM-0023: ユーザー定義グラフ定義中のエラー

原因: ユーザー定義グラフの定義をリポジトリに保存しようとして、エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTM-0028: オブジェクト詳細の取得中のエラー

原因: ナビゲータ内のオブジェクトの定義を、Data Gather から取得しようとして、エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer が起動され、アクセス可能であることを確認してから、操作を再試行してください。再び操作に失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTM-0032: グラフ記録中のエラー

原因: 記録されているデータを、記録用のバイナリ・ファイルに書き込もうとして、エラーが発生しました。記録は、このエラーが原因で壊れている可能性があります。

処置: 記録の再生を試行できますが、削除しなければならない可能性があります。

VTM-0033: 記録停止中のエラー

原因: Data Gatherer と通信して、アクティブな記録処理を停止しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer への接続が失われている場合、記録は終了しているので処置は不要です。

VTM-0035: グラフ選択中のエラー

原因: 選択したグラフの定義を Data Gatherer から取り出そうとして、エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer が起動され、アクセス可能であることを確認してから、操作を再試行してください。再び操作に失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTM-0036: データ型 *string* が未定義です

原因: ユーザー定義スクリプト・コマンドの列のリストを取得中に、不明またはサポートされないデータ型の列が検出されました。Oracle Performance Manager でサポートされているのは、数値、日付および VARCHAR 列タイプのみです。

処置: なし。

VTM-0038: プレイバックのリセット中のエラー

原因: 記録されたファイルのプレイバックを、ファイルの先頭にリセットしようとして、エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTM-0042: マウス・イベント処理中の内部エラー

原因: エラー・テキストに、問題の詳細が示されています。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTM-0043: 表サイズ変更中の内部エラー

原因: エラー・テキストに、問題の詳細が示されています。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTM-0044: 内部エラー - NULL データ行を受信しました

原因: 収集カートリッジから、無効なデータが戻されました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTM-0045: リポジトリ記録削除中のエラー

原因: この記録のリポジトリ内のエントリを削除しようとして、エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTM-0046: リポジトリからの記録取得中のエラー

原因: リポジトリから、記録されているグラフのヘッダーを読み込もうとして、エラーが発生しました。リポジトリが使用不可か、または壊れている可能性があります。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTM-0047: リポジトリからの記録クラス取得中のエラー

原因: リポジトリから、記録されているグラフのヘッダーを読み込もうとして、エラーが発生しました。リポジトリが使用不可か、または壊れている可能性があります。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTM-0048: データ収集開始中のエラー

原因: Data Gatherer と通信して、要求されたデータの収集を開始しようとした際にエラーが発生しました。Data Gatherer がダウンしているか、または Data Gatherer のホストへのネットワーク・パスがない可能性があります。

処置: Data Gatherer が起動され、アクセス可能であることを確認してから、操作を再試行してください。

VTM-0049: 収集間隔設定中のエラー

原因: 既存の収集間隔を変更しようとしてエラーが発生しました。これは、Data Gatherer がダウンしているか、またはアクセス不可の場合に発生する可能性があります。

処置: Data Gatherer が起動され、アクセス可能であることを確認してから、操作を再試行してください。

VTM-0050: ドリルダウン・グラフ表示中のエラー

原因: 現行のグラフから、選択したドリルダウンに変更しようとしてエラーが発生しました。これは、グラフ定義を取得しようとした、または Data Gatherer で収集を開始しようとした際のエラーが原因である可能性があります。

処置: Data Gatherer が起動され、アクセス可能であることを確認してから、操作を再試行してください。

VTM-0051: 新規データ処理中のエラー

原因: Data Gatherer から受け取ったデータを処理中に、エラーが発生しました。データが壊れているか、または解釈できません。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTM-0052: *string* の不正データを受信しました *string-string =string*

原因: Data Gatherer から受け取ったデータを処理中に、エラーが発生しました。データが壊れているか、または解釈できません。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTM-0053: エラー: 列 *string* のソートが不正

原因: 収集カートリッジにより、ソートに使用する列が指定されましたが、この列は現行の収集クラスで既知のデータ項目を参照しません。これは、収集カートリッジに関連した内部エラーです。

処置: カートリッジのプロバイダにエラーを報告してください。

VTM-0055: ヘルプ取得中のエラー

原因: Data Gatherer サーバーから項目の詳細説明を取り出そうとして、エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer が起動され、アクセス可能であることを確認してから、操作を再試行してください。再び操作に失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTM-0056: プレイバックのエラー

原因: 記録ファイルからバイナリ・プレイバック・データを読み込もうとして、エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTM-0058: 数値以外のデータに関数は適用できません

原因: 数値以外の列に、数学関数を適用しようとしてしました。

処置: この関数を適用しないか、または数値列を選択してください。

VTM-0059: 数値以外のデータに演算は適用できません

原因: 数値以外の列に、算術演算子を適用しようとしてしました。

処置: この演算子を適用しないか、または数値列を選択してください。

VTM-0060: グラフ・フォント *string*、サイズ *string* の作成中にエラーが発生しました

原因: 指定したフォントをグラフ作成パッケージにロードしようとして、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTM-0061: 統計クラス *string* には関連付けられたデータ項目がありません

原因: 表示用に選択した収集クラスは、対応付けられた収集カートリッジ内にデータ項目を保持するように定義されていません。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTM-0062: グラフ *string* には関連付けられたデータ項目がありません

原因: 表示用に選択したグラフは、対応付けられた収集カートリッジ内にデータ項目を保持するように定義されていません。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTM-0063: Data Gatherer への接続が失われました。サービス *string* に再接続してください

原因: Data Gatherer サービスが停止した可能性があります。

処置: 必要があれば Data Gatherer サービスを再起動して、サービスに再接続してください。

VTM-0066: ユーザー定義グラフ削除中のエラー

原因: リポジトリからユーザー定義グラフを削除しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください

VTM-0067: コマンド実行中のエラー

原因: ターゲット・サービスに対して、Kill Session などグラフ固有のコマンドの実行を要求したときにエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください

VTM-0068: コマンドが正常に終了しました *string*

原因: Kill Session など、グラフ固有のコマンドが正常に完了しました。

処置: なし。

VTM-0069: コマンドが次のステータスで終了しました :string

原因: Kill Session など、グラフ固有のコマンドが完了しました。詳細は、補足の状態テキストで示されます。

処置: コマンドが正常に終了せず、ターゲット・サービスで問題点の修正が必要であるということが、付随する状態テキストに表示された場合は、必要な修正を行ったうえで、コマンドを再実行してください。

VTM-0070: サーバー・コマンド取得中のエラー

原因: ターゲット・サービスから、Kill Session などグラフ固有のコマンドのリストを要求した際に、エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer が実行中であることを確認し、必要であれば再接続してください。出力がない場合には、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTM-0077: グラフ・タイトル作成のエラー

原因: Performance Manager では、現在表示されているグラフのタイトル・コンポーネントをペイントできませんでした。

処置: エラーが発生したグラフを再表示してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください

VTM-0078: ポップアップ情報作成中のエラー

原因: Performance Manager では、選択したデータ・ポイントの詳細を示す情報ボックスを作成できませんでした。

処置: エラーが発生したグラフを再表示してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください

VTM-0079: Performance Overview チャートは、このタイプのターゲットには使用できません。

原因: システム・パフォーマンスの概要として表示するグラフが収集カートリッジで指定されていません。

処置: 処置は必要ありません。Performance Manager ナビゲータからグラフを選択して、システム・パフォーマンスを表示してください。

VTM-0080: グラフ・オプションを保存できません string

原因: Performance Manager でグラフ・オプションまたはカスタム・グラフをリポジトリに保存しようとした際に、エラーが発生しました。エラーの詳細は、メッセージのサブテキストに表示されます。

処置: 何も処置を取らないと、グラフはリポジトリに保存されません。グラフ・オプションを保存するには、Oracle Management Server に再接続して、操作を再試行してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください

VTM-0081: 保存されている *string* のグラフ・オプションを無視 *string*

原因: Performance Manager で保存されているグラフ・オプションをリポジトリから読み込もうとした際に、エラーが発生しました。保存されている状態は、収集カートリッジで指定されたグラフには適さなくなっている、または、リポジトリへの接続が失われている可能性があります。エラーの詳細は、メッセージのサブテキストに表示されます。

処置: グラフは、収集カートリッジで定義されたデフォルトの状態に表示されます。リポジトリへの接続が失われている場合、Performance Manager を終了してから再起動してください。または、グラフの状態を再度保存してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください

VTM-0082: 履歴データの表示エラー

原因: Performance Manager では、履歴ドリルダウン・グラフを表示できませんでした。エラーの詳細は、メッセージのサブテキストに表示されます。

処置: エラーの詳細に示された問題を解決できない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください

VTM-0083: 保存されているグラフ取得中のエラー

原因: Performance Manager では、カスタム・グラフのリストをリポジトリから読み込めませんでした。カスタム・グラフは使用できません。

処置: エラーの詳細に示された問題を解決できない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください

VTM-0084: 接続情報 *string* をオプション・ファイルへ保存する際のエラー

原因: Performance Manager でユーザー接続情報をプロパティ・ファイルに保存しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTM-0085: グラフ *string* 削除中のエラー

原因: Performance Manager で、カスタム・グラフ、または定義済グラフに対して保存されたオプションをリポジトリから削除しようとした際に、エラーが発生しました。エラーの詳細は、メッセージのサブテキストに表示されます。

処置: エラーの詳細に示された問題を解決できない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください

VTM-0086: このグラフはあらかじめ定義されているため、削除できません。

原因: 収集カートリッジで定義されたグラフは削除できません。削除できるのは、カスタム・グラフと、保存済オプションを持つグラフのみです。

処置: 処置は必要ありません。

VTM-0087: ターゲット・データベースが選択されていないため、Lock Monitor チャートを起動できません。Lock Monitor チャートを起動する前に、ナビゲータ・ツリーでターゲット・データベースを選択してください。

原因: Lock Monitor グラフは、Oracle データベースのターゲットが選択されている場合のみ使用できます。

処置: Lock Monitor グラフを表示する前に、Oracle データベースのターゲットを選択してください。

VTM-0088: 現在接続されている Data Gatherer は、バージョン *string* です。Lock Monitor チャートは、Data Gatherer バージョン *string* 以上を使用する場合のみ利用できます。

原因: 選択したデータベースのデータを収集中の Data Gatherer のバージョンでは、Lock Monitor グラフの表示に必要なデータは収集されません。

処置: このグラフを表示できるように、システム管理者に Data Gatherer のアップグレードを依頼してください。

VTM-0089: Lock Monitor グラフを起動しようとしてエラーが発生しました。

原因: Lock Monitor グラフの表示中に、Performance Manager でエラーが発生しました。エラーの詳細は、メッセージのサブテキストに表示されます。

処置: エラーの詳細に示された問題を解決できない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください

VTM-0090: Performance Overview グラフを起動しようとしてエラーが発生しました。

原因: Performance Overview グラフの表示中に、Performance Manager でエラーが発生しました。エラーの詳細は、メッセージのサブテキストに表示されます。

処置: エラーの詳細に示された問題を解決できない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください

VTM-0091: カスタム・グラフ保存中のエラー

原因: Performance Manager でカスタム・グラフをリポジトリに保存しようとした際に、エラーが発生しました。エラーの詳細は、メッセージのサブテキストに表示されません。カスタム・グラフは使用できません。

処置: エラーの詳細に示された問題を解決できない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください

VTM-0094: グラフ・ラベルの表示中にエラーが発生しました。

原因: Performance Manager で棒グラフ・ラベルを更新中に、予期しないエラーが発生しました。

処置: グラフを閉じてから再表示してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください

VTM-0095: グラフ *string* の詳細ページ更新中にエラーが発生しました。

原因: 指定したグラフのグラフ設定を保存した後、予期しないエラーが発生しました。このグラフを再度表示したときに、保存した設定が反映されない可能性があります。

処置: グラフを閉じてから再表示してください。それでも問題が解決しない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください

VTM-0096: 選択したデータ項目は変更されているため、データ・ソースとして使用できません。

原因: 関数または演算が適用されたデータ項目が選択されました。変更されたデータ項目は、グラフのデータ・ソースとして使用できません。

処置: グラフのデータ・ソースとして未変更のデータ項目を選択するか、「追加」ボタンを使用して、データ項目の未変更のコピーをグラフに追加してください。その後、新しい未変更のデータ項目をデータ・ソースとして使用できます。

VTM-0097: 選択したデータ項目は唯一のデータ項目であるため、変更できません。「追加」ボタンを使用してデータ項目を追加し、操作を再試行してください。

原因: グラフ内の唯一のデータ項目を変更しようとしてしました。このデータ項目はデフォルトでグラフのデータ・ソースであるため、変更できません。

処置: グラフ生成スクリプトを変更して他のデータ項目を使用可能にするか、「追加」ボタンを使用して、グラフにデータ項目のコピーを追加してください。その後、データ項目のコピーを変更できます。

VTM-0098: 選択したデータ項目は、現在グラフのデータ・ソースとして指定されているため、変更できません。データ・ソースとして別のデータ項目を指定し、操作を再試行してください。

原因: グラフのデータ・ソースに指定されているデータ項目を変更しようとしてしました。

処置: グラフのデータ・ソースとして別のデータ項目を選択し、操作を再試行してください。「追加」ボタンを使用して、データ項目のコピーをグラフに追加することもできます。その後、グラフのコピーを変更できます。

VTM-0099: 入力した値はこのグラフの許容最小値を下回っています。かわりに最小値 *string* が使用されます。

原因: 「オプション」プロパティ・ページの「次に対する制限」フィールドに入力した値は、このグラフに定義された有効範囲内にありません。

処置: このグラフの範囲内の値を入力してください。値を入力しない場合は、グラフの最小値に設定された行制限を使用して、グラフが表示されます。

VTM-0100: 入力した値はこのグラフの許容最大値を上回っています。かわりに最大値 *string* が使用されます。

原因: 「オプション」プロパティ・ページの「次に対する制限」フィールドに入力した値は、このグラフに定義された有効範囲内にありません。

処置: このグラフの範囲内の値を入力してください。値を入力しない場合は、グラフの最大値に設定された行制限を使用して、グラフが表示されます。

VTM-2000: *string* コマンドはタイムアウト間隔内で完了しませんでした。コマンドのステータスが予測不能です。ステータスの詳細情報は、使用可能になると表示されます。

原因: ターゲット・サービスに対して、Kill Session などグラフ固有のコマンドの実行が要求されました。指定したタイムアウト時間内にコマンドが完了しなかったため、コマンドが正常に終了したかどうかは不明です。コマンドの状態に関する追加の情報は、取得されるつど表示されます。

処置: なし。

VTM-2001: このグラフは表としてのみ表示できます。数値以外のデータが含まれていたり、1つのデータ項目しかない場合もあります。

原因: 現在表示されているグラフは、データが数値でないか、またはデータ項目を1つしか持たないユーザー定義グラフであるため、表としてしか表示できません。

処置: グラフとして表示する必要がある場合、数字でない項目があればグラフ定義から数字以外のデータを削除してください。データ項目を1つしか持たないユーザー定義グラフの場合は、データ項目を追加してください。

VTM-2002: この名前はすでに使用されています。一意の名前を指定してください。

原因: カスタム・グラフに、既存のカスタム・グラフの名前を付けようとした。カスタム・グラフ名は一意である必要があります。

処置: 新しい一意のカスタム・グラフ名を選択し、操作を再実行してください。

VTM-2003: グラフにデータ・サンプルが入るまで、レポートは生成できません。グラフにデータが入るまでお待ちください。

原因: グラフのレポートを生成しようとした。しかし、現在グラフにはデータが表示されていません。

処置: グラフにデータが表示されるまで待つてから、レポートを生成してください。

VTM-2004: レポートを生成する前に、グラフのプレイバックを開始してください。

原因: 記録されたグラフのレポートを生成しようとした。しかし、グラフのプレイバックが開始されていないため、現在グラフにはデータが表示されていません。

処置: レポートを生成する前に、「プレイバック」ボタンをクリックしてグラフのプレイバックを開始してください。

VTM-6903: グラフのリフレッシュ率が多すぎます *string*。リフレッシュ間隔を空けてください。

原因: 現行のリフレッシュ間隔が維持できないため、広げられました。要求した頻度では、収集サーバーがデータを収集できない可能性があります。

処置: なし。新しいリフレッシュ頻度でデータを表示するか、リフレッシュ頻度を以前の値にリセットしてください。ただし、収集サーバーの負荷はまだ高いため、再度リフレッシュ間隔が自動的に広げられる可能性があります。

16

Oracle Capacity Planner メッセージ

VTP-0001 ~ VTP-0154 のメッセージ

VTP-0001: アプリケーション初期化中のエラー : *string*

原因: Oracle Capacity Planner アプリケーションを正常に起動できませんでした。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0002: 分析名 "*string*" はすでに使用されています。一意の名前を指定してください。

原因: すでに使用中の名前で分析を保存しようとしてしました。

処置: 一意の新しい名前を入力してください。

VTP-0003: 分析名チェック中のエラー : *string*

原因: 分析名が一意かどうかを確認しているときに、Oracle Capacity Planner によって、障害が検出されました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0004: グラフ名を空白にすることはできません。

原因: 名前を指定しないで分析グラフを保存しようとしてしました。

処置: 有効な一意の分析名を入力してください。

VTP-0006: このサービスとクラスのデータは、すでにこのグラフに存在しています。この選択を上書きしますか。

原因: 分析に追加するデータが選択されましたが、選択したクラスのデータはすでにその分析に含まれています。

処置: 既存の選択内容を置換するには「はい」を、そのままにしておく場合は「いいえ」をクリックしてください。

VTP-0007: グラフ更新中のエラー : *string*

原因: 履歴データベース内にある分析定義をアップデートしようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0008: 警告、このグラフには、データ・ポイントが欠落しているか、またはグラフィカル・フォームで表示できない数値以外のデータ項目を含むサンプルが含まれています。

原因: 分析グラフを表示しようとした際に、折れ線グラフでは表示できないデータ (NULL または文字列データ) が検出されました。

処置: なし。

VTP-0009: 傾向分析が再計算されました。

原因: データになんらかの変更があったため、外挿が再計算されたことを示す情報メッセージです。

処置: なし。

VTP-0010: グラフ作成中のエラー :string

原因: 履歴データベースに分析定義を挿入しようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0011: 現在、50 以上のデータ・セットがあります。グラフを表示する選択条件を少なくしてください。

原因: 分析に組み込むデータを選択しているときに、データ・セットの合計数または分析グラフの行がグラフ作成パッケージの制限の 50 を超えました。

処置: 選択したデータ項目またはデータ・ソースの数を減らしてください。

VTP-0012: このデータ・ソースと項目には除外はありません。

原因: 行のデータ・ポイントの除外を表示しようとしていましたが、存在しませんでした。

処置: なし。

VTP-0014: Data Gatherer 接続中のエラー

原因: パフォーマンス・データの収集を管理する Data Gatherer に接続しようとして、エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0016: このグラフは内部制限のため表示できません (JDBC では、SQL 文は 1 文が 960 文字までです)。選択項目を減らすか、または全項目を選択することで、選択基準を変更してください。

原因: 分析グラフのデータを選択するために作成する SQL 文は、全体の長さが最大で 960 文字までです。

処置: SQL 文の全体のサイズが小さくなるように、データ項目またはデータ・ソースの数を減らしてください。

VTP-0017: データ選択中のエラー :string

原因: 履歴データベースのデータを選択しようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0021: 分析をコピー中に内部エラーが発生しました。

原因: 履歴データベース内の定義済分析をコピーしようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0022: 分析作成中のエラー : *string*

原因: 履歴データベースに分析定義を挿入しようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0024: 分析クラスのコピー中に内部エラーが発生しました。

原因: 履歴データベース内の定義済分析をコピーしようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0026: 分析取得中のエラー : *string*

原因: 履歴データベースから分析定義をロードしようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0027: 分析ロード中のエラー : *string*

原因: 履歴データベースから分析定義をロードしようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0028: 分析作成中のエラー : *string*

原因: 履歴データベースに分析定義を挿入しようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0029: 分析挿入中のエラー : *string*

原因: 履歴データベースに分析定義を挿入しようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0031: 分析名の変更中のエラー : *string*

原因: 履歴データベース内の分析定義の名前を変更しようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0032: 分析の削除中のエラー : *string*

原因: 履歴データベースから分析定義を削除しようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0035: クラスのデータが存在するかどうかを決定できません : *string*

原因: 履歴データベースにアクセスして、指定した統計クラスのデータを分析にロードしようとした際に、エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0036: 定義済分析の解釈中のエラー : *string*

原因: 履歴データベースから定義済分析を取り出し、ロードしようとした際に、エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0039: クラス取得中のエラー : *string*

原因: Data Gatherer から収集クラス・リストを取り出そうとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0041: データ件数取得中のエラー : *string*

原因: 現行の収集クラスのデータ行数を指定しようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0043: インスタンス取得中のエラー : *string*

原因: Data Gatherer から、現行の収集クラスのデータ・ソース・リストを取り出そうとして、エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0044: データ項目ロード中のエラー : *string*

原因: 現行の収集クラスに対し、Data Gatherer から取り出したデータ項目リストを表示しようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0045: リソース取得中のエラー : *string*

原因: Data Gatherer から、現行の収集クラスのデータ項目リストを取り出そうとして、エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0046: クラス *string* 取得中のエラー

原因: Data Gatherer から現行の収集クラスの定義を取り出そうとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0047: このクラスには親コンテキスト [*string,string*] が必要です。収集は現在サポートされていません。

原因: 収集のために選択したクラスには、親データ・ソースを指定する必要があり、この構成は現在 Oracle Capacity Planner ではサポートされていません。

処置: なし。このクラスのデータ収集はできません。

VTP-0048: 収集オプションまたはロード・オプションが設定されていません。サービスを選択してから、これらのオプションを設定してください。

原因: 収集またはロード・オプションが未指定です。履歴データベースの場所が指定されていません。

処置: ナビゲータでターゲット・サービスを選択して、履歴データベースの場所を指定してください。

VTP-0059: 収集の終了中にエラーが発生しました。

原因: Data Gatherer と通信して、現行クラスの収集を停止しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0060: 収集の開始中にエラーが発生しました。

原因: Data Gatherer と通信して、現行クラスの収集を開始しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0061: 履歴データベースに接続中のエラー : *string*

原因: 履歴データベースに接続しようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0064: データの傾向分析の結果が 0 を下回るエラーが発生しました。

原因: 外挿のターゲット値が、UNIX がリリースされた 1970 年 1 月 1 日以前の日付になったため、表示できません。

処置: 過去の日付にならないように別のターゲットを指定してください。

VTP-0065: *string string* の時間へ外挿中にエラーが発生しました。傾きが 0 です。

原因: 現在の線に対して線形外挿を実行しようとしたますが、算出された傾きが 0 です。そのため、この線は外挿の目的に使用できません。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0071: サーバー時間取得中のエラー:

原因: Data Gatherer を実行中のホストからシステム時間を読み取ろうとして、エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0074: オプション送信中のエラー

原因: Data Gatherer に収集およびロード・オプションを送信しようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0089: ロード・オプションの取得中にエラーが発生しました。

原因: Data Gatherer からロード・オプションを読み取ろうとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0090: 収集オプションの取得中にエラーが発生しました。

原因: Data Gatherer から収集オプションを読み取ろうとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0091: 収集設定の取得中にエラーが発生しました。

原因: Data Gatherer から収集設定を読み取ろうとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0093: 収集カートリッジ取得中のエラー: *string*

原因: Data Gatherer から、現行のターゲットの収集カートリッジ・リストを取得しようとして、エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0094: クラス取得中のエラー: *string*

原因: Data Gatherer から現行のターゲットの収集クラス・リストを取得しようとして、エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0096: *string* に接続中にエラーが発生しました。サーバー・ノードで Data Gatherer が実行中であることを確認し、再接続してください。

原因: Data Gatherer を実行中のホストに接続しようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0104: データ集計にデータ・ソースとして使用されるデータ項目を選択する必要があります。

原因: ユーザー定義クラスを作成しようとしたが、データ収集で使用するキー列が選択されていません。履歴データベースでデータを集計する際には、キー列がデータ・ソースとして使用されます。

処置: キー列として使用する列をクリックしてください。

VTP-0105: コマンドは正常に終了していません。

原因: メニューまたはツールバーから関数を起動しようとしてエラーが発生しました。このエラーは通常、関連するエラーと同時に表示されます。

処置: 関連エラーを確認してください。関連エラーがない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0106: ツリー・ノード *string* の内容のロード中のエラー: *string*

原因: ナビゲータ (ツリー) のエントリを拡張して、選択項目の属性をロードしようとした際に、エラーが発生しました。このエラーは通常、関連するエラーと同時に表示されます。

処置: 関連エラーを確認してください。関連エラーがない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0107: 入力したラベルが長すぎます。 *string* 文字未満のラベルを入力してください

原因: ユーザー定義スクリプトで定義された列に入力したラベルが、許容される最大長を超えています。

処置: 許容最大長以下でラベルを入力してください。

VTP-0108: 入力したラベルはすでに別のデータ項目で使用されています。一意のラベルを入力してください

原因: ユーザー定義スクリプトで定義された列に入力したラベルは、クラスの既存の列ですでに使用されています。

処置: 一意のラベルを入力してください。

VTP-0109: データ項目が多すぎます。許可されている最大値 (*string*) を超えました。

原因: ユーザー定義スクリプト・クラスに、新規のデータ項目が追加されたため、クラス内のデータ項目の総数が、Data Gatherer ロードラーのサポートする数を超えています。

処置: データ項目を削除するか、またはスクリプト・コマンド (問合せ) を変更して列の数を少なくしてください。

VTP-0110: 履歴データの収集には、1 つ以上のデータ項目 (データ・ソース以外) を選択する必要があります。

原因: 1 列しか持たないクラスで、ユーザー定義クラスを作成しようとしてしました。この列がキー列として使用されるため、結果的に、クラス内にはデータ項目がまったくないこととなります。

処置: 収集するクラスに、他のデータ項目を少なくとも 1 つ追加してください。

VTP-0111: ラベル "*string*" は、Capacity Planner 用に確保されています。別のラベルを入力してください。

原因: エラー・メッセージに表示されたラベルは、Capacity Planner リポジトリ表内の列名と競合しています。

処置: 別のラベル名を入力して、操作を再試行してください。

VTP-0112: 傾向分析には、2 つのデータ・ポイントの最小値が必要です。傾向分析を表示できません。

原因: 選択した線にはデータ・ポイントが 1 つしかありません。

処置: 傾向分析を試行する前に、2 つ以上のデータ・ポイントを持つ線を選択してください。選択した線に 2 つ以上のデータ・ポイントが含まれているにもかかわらず、エラー・メッセージが表示される場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0113: 指定した数が大きすぎます。string より小さい数を指定してください。

原因: 入力した数は、現行の操作で処理するには大きすぎます。おそらく、分析グラフの日付範囲の入力中に、Capacity Planner で処理できる数を超える数の年を入力しました。

処置: エラー・メッセージに表示された数未満の数を試してください。

VTP-0114: 分析が開いています。名前を変更する前に分析を閉じてください。

原因: 分析グラフが画面に表示されている間は、分析グラフの名前を変更できません。

処置: 名前を変更する前に、分析を閉じてください。

VTP-0115: 内部のバージョン番号を取得できません。

原因: オブジェクトの内部バージョン番号を取得しようとした際に、Data Gatherer クライアント・ソフトウェアでエラーが発生しました。

処置: 問題の特定に役立つ補足エラーがあれば確認してください。補足エラーの表示がない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0116: 履歴データベースにデータが見つかりません。

原因: 履歴データベース内でグラフのデータを検索しようとした際に、Data Gatherer クライアント・ソフトウェアでエラーが発生しました。

処置: 問題の特定に役立つ補足エラーがあれば確認してください。補足エラーの表示がない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0117: 履歴グラフ *string* を初期化できません。

原因: Data Gatherer クライアント・ソフトウェアでは、履歴データベースからグラフ・データを取得できませんでした。

処置: 必要な履歴データが収集され、履歴データベースにロードされていることを確認してください。

VTP-0118: Capacity Planner の履歴データベース内のどの集計レベルにもデータがありません。

原因: Data Gatherer クライアント・ソフトウェアでは、どの集計レベルでもグラフ・データを取得できませんでした。

処置: この分析に使用する履歴データが収集され、データベースにロードされていることを確認してください。

VTP-0119: 履歴データへのグラフの保存中にエラーが発生しました。

原因: 履歴データベースにアクセスできません。

処置: Data Gatherer クライアント・ソフトウェアから履歴データベースにアクセスできることを確認してください。

VTP-0120: 履歴データベースにデータ項目が見つかりません。

原因: Data Gatherer クライアント・ソフトウェアでは、履歴データベースからデータ項目を取得できません。

処置: Data Gatherer クライアント・ソフトウェアから履歴データベースにアクセスできることを確認してください。

VTP-0121: 収集オプションは変更されていません。

原因: 「収集の詳細」 ページで、特定の収集クラスに対して「適用」をクリックしましたが、表示されているデータ項目およびデータ・ソースが変更されていません。

処置: 変更を確認して、操作を再試行してください。

VTP-0122: この分析の時間集計、データ・ソースおよびデータ項目は変更されていません。

原因: 「項目の選択」ダイアログ・ボックスで「適用」をクリックしましたが、選択した分析の集計、データ・ソースおよびデータ項目は変更されていません。

処置: 変更を確認して、操作を再試行してください。

VTP-0127: 次のデータ・ソースは履歴収集には使用できません:

原因: Data Gatherer クライアントでは、Capacity Planner 収集に使用するデータ・ソースの一部が見つかりませんでした。

処置: 補足のエラーを確認してください。補足エラーの表示がない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0128: 次のデータ項目は履歴収集には使用できません:

原因: Data Gatherer クライアントでは、Capacity Planner 収集に使用するデータ項目の一部が見つかりませんでした。

処置: 補足のエラーを確認してください。補足エラーの表示がない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0131: 内部エラー: データ収集の停止中にエラーが発生しました。

原因: Data Gatherer にアクセスできません。

処置: 補足のエラーを確認してください。補足エラーの表示がない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0132: レポート・ファイル *string* 作成中のエラー

原因: Capacity Planner では、メッセージに表示された収集レポートを作成できませんでした。

処置: ファイル・システムが書込み可能であること、およびディスクの空き容量が十分であることを確認してください。

VTP-0133: 参照可能な範囲を使用するために選択日を変更すると、このクラスの統計のデータは再選択されます。参照可能な範囲外のデータは使用できなくなります。

原因: 選択日を変更すると、参照可能なデータが変更されるという警告を受けています。

処置: 続行して日付範囲を変更するか、操作を取り消してください。

VTP-0134: ソース・ターゲットに対する収集設定の取得中のエラー

原因: ソース・ターゲットがアクセス不可になったため、Capacity Planner では収集設定をコピーできませんでした。

処置: 補足のエラーを確認してください。補足エラーの表示がない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0137: エラー: 処理が中断しました

原因: ユーザーが処理を中断したため、要求は完了しませんでした。

処置: 操作を取り消すか再試行してください。

VTP-0138: エラー: ターゲットのバージョンに互換性がありません

原因: コピー操作に使用されるソースと宛先に互換性がありません。

処置: コピー操作は、互換性のあるサービス間で行ってください。

VTP-0140: Agent Data Gatherer を問合せできません

原因: Data Gatherer にアクセスできません。

処置: 補足のエラーを確認してください。補足エラーの表示がない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0141: Agent Data Gatherer が停止中です

原因: クライアントが Data Gatherer と通信できません。

処置: 補足のエラーを確認してください。補足エラーの表示がない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0142: Agent Data Gatherer *string* が停止中です

原因: クライアントがエラー・メッセージに表示された Agent Data Gatherer と通信できません。

処置: 補足のエラーを確認してください。補足エラーの表示がない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0147: 記憶域オプションを *string* に設定できません

原因: 収集設定のコピー中に、コピー操作によって宛先ターゲットでの記憶域オプションを更新することができませんでした。

処置: 補足のエラーを確認してください。補足エラーの表示がない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0148: *string* へのコピーに失敗しました

原因: コピー操作に失敗しました。

処置: ターゲットの補足エラーを確認し、互換性のないバージョンを特定してください。補足エラーの表示がない場合は、オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTP-0149: 警告: このターゲットの収集設定は、別のユーザーによって最後に変更されています。

原因: 履歴データの格納先となるリポジトリは、別の Capacity Planner ユーザーによって最後に設定されました。

処置: 収集したデータの所有者を確認してください。

VTP-0151: Data Gatherer のホスト名が無効です。

原因: Data Gatherer クライアント・ソフトウェアが Data Gatherer と通信できません。

処置: Data Gatherer がアクセス可能であり、正しく構成されていることを確認してください。

VTP-0152: コピー操作は実行できません。ソース *string* は収集中ではありません。

原因: 履歴データを収集できるように設定されていないサービスから収集設定をコピーしようとしていました。そのため、コピーする収集設定がありません。

処置: 収集設定コピー・ウィザードを使用して、実際に履歴データを収集しているサービスから設定をコピーしてください。

VTP-0153: 警告 : *string* 個のデータ・ソース中、*string* 個のみ宛先で設定されていました。

原因: 収集設定コピー・ウィザードを使用して、サービス間で収集設定をコピーしました。しかし、ソース・サービス内の 1 つ以上の収集クラスに、宛先サービスに存在しないデータ・ソースが含まれていました。たとえば、ノード・サービスの収集クラスで、特定のディスク・ドライブ（ドライブ L: など）がデータ・ソースとして使用されているとします。そのような収集設定を別のノードにコピーした場合、宛先ノードでは、対応するディスク・ドライブがそのドライブ名に割り当てられていない可能性があります。

処置: なし。Capacity Planner では、2 つのサービス間で互換性のある収集設定がコピーされます。宛先サービスで使用できないデータ・ソースを参照している設定はコピーされません。

VTP-0154: 履歴データを表示できません。グラフに表示された統計クラスの履歴収集はサポートされていません。

原因: Performance Manager で使用可能な統計が、すべて Capacity Planner 内で履歴データとして保存できるわけではありません。

処置: パフォーマンス・モニターを使用して、Capacity Planner 履歴データベースに保存できるデータ・クラスを選択し、操作を再試行してください。

Change Management Pack コマンドライン・ インタフェース・メッセージ

VTZCLI-0000 ~ VTZCLI-2022 のメッセージ

VTZCLI-0000: 成功

原因: 操作は正常に完了しました。

処置: なし。

VTZCLI-0001: コマンドライン構文エラー

原因: コマンドラインに構文エラーがありました。

処置: コマンドラインのエラーを修正してください。

VTZCLI-0002: 指定されたリポジトリが見つかりません。

原因: 指定されたリポジトリに接続できません。

処置: リポジトリが存在し、Oracle Management Server が稼働していることを確認してください。

VTZCLI-0003: 接続情報での Oracle Management Server へのログインに失敗しました

原因: Oracle Management Server にログインできませんでした。

処置: Oracle Management Server が稼働していること、リポジトリ名が正しいこと、およびユーザー名とパスワードが正しいことを確認してください。

VTZCLI-0004: 処理エラーが発生しました。

原因: 一般的な処理エラーが発生しました。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTZCLI-0005: リポジトリにベースライン *string* は存在しません。

原因: リポジトリ内に存在しないベースライン名を伴って、capture コマンドが指定されました。

処置: 存在するベースラインを指定してください。

VTZCLI-0006: リポジトリに比較 *string* は存在しません。

原因: リポジトリ内に存在しない比較名を伴って、compare コマンドが指定されました。

処置: 存在する比較を指定してください。

VTZCLI-0007: リポジトリに変更計画 *string* は存在しません。

原因: リポジトリ内に存在しない計画名を伴って、変更計画コマンド (generate または execute) が指定されました。

処置: 存在する計画を指定してください。

VTZCLI-0008: 現在、スクリプトを実行中です ... 異常終了します

原因: この計画バージョンに対して、すでにスクリプトを実行中です。

処置: Oracle Change Manager GUI で実行履歴ログを確認してください。

VTZCLI-0009: 実行に失敗しました

原因: スクリプトの実行に失敗しました。

処置: Oracle Change Manager GUI で実行ログと実行履歴を確認してください。

VTZCLI-0010: 生成は警告付きで完了しました。

原因: スクリプトの生成が完了しましたが、警告が発生しています。

処置: Oracle Change Manager GUI で影響レポートを確認してください。

VTZCLI-0011: 生成はエラー付きで完了しました。

原因: スクリプトの生成が完了しましたが、エラーが発生しています。

処置: Oracle Change Manager GUI で影響レポートを確認し、指摘された問題を解決してください。

VTZCLI-0012: 生成に失敗しました

原因: スクリプトの生成が完了しませんでした。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTZCLI-0013: 指定されたターゲット・データベース *string* で問題が発生しました。

原因: 指定したデータベースで問題が発生しました。

処置: エラーの原因を確認し、問題を解決してください。

VTZCLI-0014: 優先接続情報リストがターゲット・データベース *string* に定義されていません。

原因: 指定したデータベースの優先接続情報リストが見つかりませんでした。

処置: コンソールを使用して、指定したデータベースが検出されるかどうか、データベースに接続情報が定義されているかどうかを確認してください。

VTZCLI-0015: Management Server へのログイン接続情報が設定されていません。 > ocm login username/password@management_server_node

原因: Oracle Management Server にログインできませんでした。

処置: Oracle Management Server が稼働していること、リポジトリ名が正しいこと、およびユーザー名とパスワードが正しいことを確認してください。

VTZCLI-2002: スクリプト実行エラー ...

原因: スクリプトの実行中にエラーが発生しました。

処置: Oracle Change Manager GUI で実行履歴ログを確認してください。

VTZCLI-2003: クリーンアップ実行時のエラー

原因: クリーンアップ・スクリプトの実行中にエラーが発生しました。

処置: Oracle Change Manager GUI で実行履歴ログを確認してください。

VTZCLI-2004: 実行取消し時のエラー

原因: 取消しスクリプトの実行中にエラーが発生しました。

処置: Oracle Change Manager GUI で実行履歴ログを確認してください。

VTZCLI-2005: クリーンアップに成功しました

原因: クリーンアップ・スクリプトの実行に成功しました。

処置: 処置は必要ありません。

VTZCLI-2006: 取消しに成功しました

原因: 取消しスクリプトの実行に成功しました。

処置: 処置は必要ありません。

VTZCLI-2007: スクリプト実行に成功しました ...

原因: スクリプトの実行に成功しました。

処置: 処置は必要ありません。

VTZCLI-2008: クリーンアップの実行中

原因: スクリプトの実行に成功したため、クリーンアップ・スクリプトを実行中です。

処置: 処置は必要ありません。

VTZCLI-2009: 取消しの実行中

原因: スクリプト実行時にエラーが発生したため、取消しスクリプトを実行中です。

処置: 処置は必要ありません。

VTZCLI-2011: 例外: *string*

原因: 例外が発生しました。内部エラーです。

処置: オラクル社カスタマ・サポート・センターに連絡してください。

VTZCLI-2012: エラー: *string*

原因: エラー状態レポートです。

処置: 処置は必要ありません。

VTZCLI-2014: 実行終了ステータス: *string*

原因: 実行プロセスの終了状態がレポートされました。

処置: 処置は必要ありません。

VTZCLI-2016: 実行に成功しました

原因: スクリプトの実行に成功しました。

処置: 処置は必要ありません。

VTZCLI-2019: 生成は正常に終了しました。

原因: スクリプトの生成は、エラーなしで完了しました。

処置: 処置は必要ありません。

VTZCLI-2020: 操作 (*string*) が正常に終了しました。

原因: 操作が正常に終了しています。

処置: なし。

VTZCLI-2022: 識別情報 *string* が見つかりません ...

原因: このコマンドでは、`-id` 引数を使用して有効な識別情報を指定する必要があります。

処置: 識別情報の文字列を正しく入力したかどうかを確認してください。`-id` 引数を使用した有効な識別情報の指定に関する詳細は、『Oracle Enterprise Manager Oracle Change Management Pack スタート・ガイド』の付録 A 「コマンドライン・インタフェース」を参照してください。

Oracle Management Server メッセージ

VXA-1000 ~ VXA-2999 のメッセージ

VXA-1000: OMS 起動中にエラーが発生しました。omsconfig.properties ファイルのブート・ホスト名を確認してください。

原因: ホストが見つかりません。

処置: omsconfig.properties ファイル内の oem.BootHost 属性は、値が localhost となっている必要があります。値を指定してから、Oracle Management Server を再起動してください。

VXA-1002: Oracle Management Server のリポジトリの構成が不完全です。

原因: 指定されたリポジトリに、必要な表が含まれていません。

処置: Enterprise Manager Configuration Assistant 経由で指定されたリポジトリが有効であることを確認してください。リポジトリが無効な場合は、Enterprise Manager Configuration Assistant に戻り、構成を編集して有効な Oracle Management Server リポジトリを指定し、現行のリポジトリを削除してから再作成するか、リポジトリを作成してください。

VXA-1003: 管理者ログイン接続情報が無効です。

原因: ユーザーが、自分自身を Oracle Management Server に認証するために指定した接続情報が、正しくありませんでした。

処置: 正しいユーザー名とパスワードを使用して、再度ログインしてください。

VXA-1004: Oracle Management Server との通信中に、通信障害が検出されました。Oracle Management Server は停止した可能性があります。

原因: Oracle Management Server に対する操作の実行中に、CORBA 通信障害が検出されました。

処置: Oracle Management Server を再起動し、操作を再試行してください。

VXA-2016: リポジトリ接続情報が未指定です。

原因: OMSCONFIG.PROPERTIES ファイルの接続情報が不適切、あるいは欠落しています。

処置: OMSCONFIG.PROPERTIES ファイルの内容を検証してください。内容が破損している場合、Enterprise Manager Configuration Assistant の「構成パラメータの編集」を使用して、構成パラメータを再設定します。

VXA-2018: OMS レジストリ・サービスに接続できません。

原因: Oracle Management Server では、実行対象として構成されているリポジトリに接続できません。

処置: Oracle Enterprise Manager Configuration Assistant で指定したリポジトリ・サービス情報が正しいことを確認してください。

VXA-2023: Oracle Management Server はすでにこのマシンで起動されています。異常終了します。

原因: Oracle Management Server はすでに実行中です。

処置: Oracle Management Server が実行中かどうかを調べ、また Oracle Management Server BootPort (omsconfig.properties ファイルで指定) を他のアプリケーションで使用しているかどうか確認してください。

Oracle Management Server ネーミング・サービス・メッセージ

VXN-1000 ~ VXN-1999 のメッセージ

VXN-1000: oem.BootHost は、ブートストラップ・ホストの IP アドレスである必要があります。

原因: Oracle Management Server を実行中のホスト名が無効のようです。

処置: Enterprise Manager Configuration Assistant を実行して、Oracle Management Server の構成情報が有効であることを確認してください。

VXN-1001: oem.BootPort は、有効な数値である必要があります。

原因: Oracle Management Server に接続しているポート番号が無効のようです。

処置: Enterprise Manager Configuration Assistant を実行して、Oracle Management Server の構成情報が有効であることを確認してください。

VXN-1002: ブート・サービスをポート *string* にバインドできませんでした。ソケットがふさがっている可能性があります。

原因: おそらく他のアプリケーション（またはこのアプリケーションの他のインスタンス）が、そのソケットで実行中のため、ブート・サービスはブートストラップ・ソケットにバインドできませんでした。

処置: Task Manager を実行して、このアプリケーションの他のインスタンスが実行中でないことを確認してください。

VXN-1003: サーバー・ソケットが作成できません。

原因: サーバー側ソケットを作成できませんでした。

処置: Task Manager を実行して、このアプリケーションの他のインスタンスが実行中でないことを確認してください。

VXN-1004: oem.BootHost プロパティが欠落しています。

原因: 必要な構成エントリが足りません。

処置: Enterprise Manager Configuration Assistant を実行して、Oracle Management Server が正しく構成されていることを確認してください。

VXN-1005: oem.BootPort プロパティが欠落しています。

原因: 必要な構成エントリが足りません。

処置: Enterprise Manager Configuration Assistant を実行して、Oracle Management Server が正しく構成されていることを確認してください。

VXN-1006: プロパティ `oem.BootHost` アクセス中に、セキュリティ例外が発生しました。そのようなアプレット・パラメータは見つかりませんでした。

原因: セキュリティ違反が発生しました。アプレットからシステム属性にアクセスしようとしています。(Web サーバー上の CGI スクリプトが壊れていないかぎり、このエラーは発生しません。)

処置: Oracle Enterprise Manager を Thin クライアントで (ブラウザから) 実行している場合は、システム管理者に問い合わせてください。それ以外の場合は、Enterprise Manager Configuration Assistant を実行して、Oracle Management Server が正しく構成されていることを確認してください。

VXN-1007: ネーミング・サービスが見つかりませんでした。

原因: Oracle Management Server が見つかりません。

処置: Oracle Management Server が実行中であることを確認してください。

VXN-1008: ネーム・サービスの永続ファイルの読み込み中に、リカバリ不能のエラーが発生しました。

原因: ネーミング・サービスの永続ファイルの読み込み中に、エラーが発生しました。

処置: 次の手順を実行してください。

1. Oracle Enterprise Manager のすべてのアプリケーションを停止します。
2. Oracle Management Server をシャットダウンします。
3. `$ORACLE_HOME/sysman/system/CosNaming.store` のファイルを削除します。
4. Oracle Management Server を再起動してください。

索引

A

Agent ゲートウェイ・メッセージ, 11-1
Agent メッセージ, 4-1

C

Capacity Planner メッセージ, 16-2
Change Management Pack コマンドライン・インタ
フェース・メッセージ, 17-1

E

EmSDK-1000 ~ EmSDK-1999 のメッセージ, 2-2
EPC-00020 ~ EPC-00352 のメッセージ, 3-2
EPCW-00001 ~ EPCW-01022 のクライアント・メッ
セージ, 3-9

N

NMC メッセージ, 1-3
NMO メッセージ, 1-3
NMP メッセージ, 1-3
NMR メッセージ, 1-3
NMS-00000 ~ NMS-00050
Agent の構成および起動, 4-2
NMS-00051 ~ NMS-00055
Agent ログイン・メッセージ, 4-6
NMS-00200 ~ NMS-00250
データベース・サブエージェント, 4-7
NMS-00250 ~ NMS-00275
サブエージェント・ログイン・メッセージ, 4-9
NMS-00301 ~ NMS-00350
Agent 操作メッセージ, 4-10

NMS-00351 ~ NMS-00360
Agent ファイルの暗号化, 4-12
NMS-00361 ~ NMS-00370
任意形の実行可能イベント, 4-13
NMS-00600 ~ NMS-00799
ジョブおよびイベント, 4-14
NMS-00900 ~ NMS-00999
Agent ログイン・メッセージ, 4-14
NMS-01000 ~ NMS-01099
Agent エラー・メッセージ, 4-16
NMS-01200 ~ NMS-01999
内部 Agent エラー・メッセージ, 4-20
NMS-05000 ~ NMS-05999
コンソールの Agent エラー, 4-20
NNC メッセージ, 1-3
NNL メッセージ, 1-3
NNO メッセージ, 1-3
NPL メッセージ, 1-3

O

ODG-05001 ~ ODG-05843 のメッセージ, 6-2
OMO-1000 ~ OMO-1999 のメッセージ, 5-2
Oracle Data Collection Service メッセージ (クライアン
ト層), 13-1
Oracle Data Collection Service メッセージ (第 2 層),
6-1
Oracle Enterprise Manager フレームワーク・メッセー
ジ, 8-1
Oracle Management Object メッセージ, 5-1
Oracle Management Server ネーミング・サービス・
メッセージ, 19-1
Oracle Management Server メッセージ, 18-1
Oracle Management Server メッセージ (クライアント
層), 14-1

Oracle Performance Manager メッセージ, 15-1
Oracle TopSessions メッセージ, 10-1
Oracle Trace メッセージ, 3-1
ORA メッセージ, 1-3

S

SDK (Software Developer Kit) メッセージ, 2-1
Software Developer Kit (SDK) メッセージ, 2-1
Spatial Index Adviser メッセージ, 7-1

T

TNS メッセージ, 1-3
Trace メッセージ, 3-1

V

VDE-1000 ~ VDE-1999 のメッセージ, 8-2
VDI-0000 ~ VDI-0499 のメッセージ, 8-3
VDKBITW-1000 ~ VDKBITW-1008
メッセージ, 9-2
VDN-4500 ~ VDN-4999 のメッセージ, 8-3
VDOUS-00101 ~ VDOUS-00115 のメッセージ, 8-3
VDR-7000 ~ VDR-7499 のメッセージ, 8-5
VDU-6000 ~ VDU-6499 のメッセージ, 8-6
VMS-00001 ~ VMS-00004
重要なエラー・メッセージ, 10-2
VMS-01000 ~ VMS-01016
重要でないエラー・メッセージ, 10-2
VMS-02000 ~ VMS-02009
情報メッセージ, 10-4
VNI-2000 ~ VNI-4999 のメッセージ, 11-2
VTC-1000 ~ VTC-1127
一般的なコンソールのメッセージ, 12-2
VTCDW-1000 ~ VTCDW-5999 のメッセージ, 12-8
VTCE-1232 ~ VTCE-1237
イベント管理メッセージ, 12-5
VTCV-1344
ユーザー管理コンポーネント・メッセージ, 12-6
VTCX-1337 ~ VTCX-1350
ジョブおよびイベント管理メッセージ, 12-6
VTD-0001 ~ VTD-0114 のメッセージ, 13-2
VTK-1000 ~ VTK-3027 のメッセージ, 14-2
VTM-0001 ~ VTM-6903 のメッセージ, 15-2
VTP-0001 ~ VTP-0154 のメッセージ, 16-2
VTZCLI-0000 ~ VTZCLI-2019 のメッセージ, 17-2

VXA-1000 ~ VXA-2999 のメッセージ, 18-2
VXN-1000 ~ VXN-1999 のメッセージ, 19-2

お

オラクル社カスタマ・サポート・センター
Oracle Trace メッセージについての問合せ, 3-1
すべてのメッセージについての問合せ, 1-4

け

索引チューニング・ウィザード・メッセージ, 9-1

こ

コンソール・メッセージ, 12-1

せ

接頭辞
定義, 1-2

も

問題の重大度, 1-4